

令和3年度

足立区立元洲江公園・生物園 指定管理業務

年度業務報告書

指定管理者

体験型いきものパークマネジメント

東京都立川市錦町2-1-22

代表 株式会社自然教育研究センター

代表取締役 税所 功一 印

令和3年度 元渚江公園・生物園  
指定管理業務 報告書

目次

第一章 目標・計画

I 長期的展望と令和3年度の計画	
1.長期的展望（指定管理期間（5年間）を踏まえて）	1
2.令和3年度の計画	3
（1）重点的取り組み	
（2）数値目標	
（3）管理運営実施計画	
（4）事業予定	

第二章 利用促進・教育普及業務

I 利用促進・サービス向上	
1.受付窓口	9
（1）年間入園者数の月別推移とその傾向	
（2）入園料収入	
（3）インフォメーションの対応実績	
（4）来園者の声	
2.ミュージアムショップ	16
（1）利用状況	
（2）売り上げ状況	
（3）売上の内訳	
（4）キャッシュレス導入状況	
（5）オンラインショップ	
（6）商品展開	
（7）年間売上ランキング	
3.サービス向上の取り組み	28
（1）インターネットの活用	
（2）無料招待券等の配布	
（3）園内サイン・展示改修	
（4）つくばエクスプレス各駅へのニュースレター設置	
（5）新型コロナウイルス感染症拡大防止対策	
II 展示解説業務	
1.展示解説実施および対応実績	31
2.夜間特別開園の実施	36
3.参加型プログラムの実施	36
（1）特別イベント	
（2）ふれあいプログラム	
（3）導入型プログラム	
（4）発展型プログラム	

4. ボランティア活動	40
(1) 昆虫飼育ボランティア	
(2) 公園花壇ボランティア	
(3) プレーリーダー	
5. 団体対応	42
(1) 団体プログラム	
(2) 出張授業	
(3) 教職員向け講座	
(4) 実習対応	
6. 展示による解説	45
(1) 園内表示	
(2) 常設展	
(3) 特別展・企画展	
7. 印刷物による解説	48
(1) セルフガイド	
(2) ニュースレター	
8. 元洲江公園における「ぼうけんあそび」事業	49

### Ⅲ 広報活動

1. メディア対応と掲載・放映の実績	51
(1) メディアへの情報配信	
(2) 掲載・放映実績	
2. インターネットによる情報発信	53
(1) ホームページのアクセス数	
(2) SNS の運用	
3. ポスター・チラシ等による情報発信	56
(1) ポスター	
(2) ニュースレター	
(3) チラシ	
(4) 中吊り広告	
4. その他の情報発信	58
(1) 幼稚園・保育園・その他児童施設や介護施設への FAX 配信	

## 第三章 生物飼育業務

### I 生物飼育業務

1. 令和 3 年度の飼育状況	59
(1) 昆虫類	
(2) 両生・爬虫類	
(3) 水族	
(4) 鳥類・哺乳類	
2. 各飼育区分の飼育種および活用実績リスト	60
(1) チョウ類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト	
(2) 水生昆虫類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト	

- (3) 陸生昆虫類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト
- (4) 両生・爬虫類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト
- (5) 水族の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト
- (6) 鳥類・哺乳類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト

3. 昆虫飼育展示の主な取り組み実績	68
(1) チョウ類の月別放蝶実績	
(2) ツシマウラボシシジミの生息域外保全	
(3) ホタルの飼育展示実績	
(4) フサヒゲルリカミキリの生息域外保全モデル事業	
4. 両生爬虫類飼育展示の主な取り組み実績	70
(1) ニホンイシガメの生息域外保全	
(2) ミンダナオミズオオトカゲ飼育場整備	
(3) 樹上性トカゲ飼育場整備	
5. 水族飼育展示の主な取り組み実績	71
(1) アマモの生長調査	
6. 鳥類・哺乳類飼育展示の主な取り組み実績	71
(1) オオカンガルー・パルマワラビーの繁殖	
(2) アマミトゲネズミの生息域外保全	
(3) ワライカワセミの展示	

## II 公益社団法人 日本動物園水族館協会

1. 第69回 日本動物園水族館協会 動物園技術者研究会の開催	73
---------------------------------	----

## 第四章 連携業務

### I 利用促進・教育普及に関わる連携

1. 区民協働活動の推進・支援	75
(1) 元淵江公園・生物園利用促進協議会	
(2) 地元企業との連携	
2. 区内施設・イベントとの連携	79
(1) 足立区主催イベントとの連携	
(2) 区内施設との連携	
(3) 区内商業施設との連携	
(4) 「あだち自然の遊び場」連携	
(5) 各スタンプラリーとの連携	
3. 区外施設・イベントとの連携	80

### II 大学等との共同研究

1. 三つのプロジェクトに応じた共同研究	80
2. 共同研究の進捗状況	81
(1) 子どもの居場所づくりプロジェクトに関する研究	
(2) ふれあい動物プロジェクトに関する研究	
(3) 絶滅危惧種を救うプロジェクトに関する研究	

## 第五章 施設維持管理業務

### I 元湊江公園の維持管理業務

1. 公園管理上の留意事項 . . . . . 83
2. 公園維持管理業務の主な内容 . . . . . 83
3. 令和3年度施設維持管理業務実施報告（元湊江公園） . . . . . 85
4. 公園維持管理作業の様子 . . . . . 86

### II 生物園の維持管理業務

1. 生物園維持管理業務の主な内容 . . . . . 94
2. 令和3年度施設維持管理業務実施報告（生物園） . . . . . 95
3. 生物園維持管理作業の様子 . . . . . 96

# 第一章 目標・計画

## I 長期的展望と令和3年度の計画

### 1. 長期的展望（指定管理期間（5年間）を踏まえて

#### (1) 『体験型いきものパーク』実現に向けての4つの機能

本共同体は、第一期指定管理業務期間（平成26年度～平成30年度）に続いて、元洲江公園および、生物園に『レクリエーションの場としての機能』、『環境学習の拠点としての機能』、『自然科学博物館としての機能』、『生物多様性保全の拠点としての機能』を位置づけ、『体験型いきものパーク』の実現を目指していきます。



#### (2) 3つの「活動の柱」

第一期（H26年度～H30年度）の指定管理業務におきましては、11年ぶりに「ホタルのタペ」を復活させたり、「わんフェス」や「さくらフェスタ」などの大型イベントを新規に立ち上げる等、生物園や元洲江公園の活性化に大きく前進できたと考えています。また、「おみやげ研究会」や「教育利用研究会」、「地域連携研究会」の活動を通し、区民協働・協創の実現に向けて大きな役割を果たしてきたと自負しております。

このような実績を踏まえて、第二期は以下の3つのプロジェクトを「活動の柱」として取り組んでいきたいと考えています。

なお、各プロジェクトの一環として取り組んだ活動については、以下のアイコンをそれぞれ報告書内に付けて示しています。ご参照ください。

### ① 足立区生物園型「ふれあい動物」プロジェクト

「ふれあい動物」は、どこの動物園や水族館でも実施されており、特に小さな子どもたちにとって人気のアクティビティとなっています。一方で、単に動物に触るだけの活動になってしまい、そこに動物介在教育や動物福祉の視点が十分に配慮されたものは、ほとんどないのが現状です。そこで地域密着型の生物園だからこそ実現できる「ふれあい動物」の構築を目指していきます。第二期指定管理では、「プランニング」「飼育設備の整備」「展示」「モニタリング（大学との共同研究）」「プロモーション」を戦略的に進めていきたいと考えています。



### ② 絶滅危惧種を救う！プロジェクト

「種の保存」「生物多様性の保全」についての活動を通して、「区民の誇り」になる生物園を目指していきます。現在、環境省によって国内希少野生動植物として395種が指定されています。緊急に対策を行わなければ絶滅してしまう生物も多く含まれています。生物園では、可能な限りそれらの生物の生息域外保全に取り組み、「〇〇の絶滅を防いだ生物園」として足立区民が誇りに思えるような施設にしていきたいと考えています。

例：ツシマウラボシシジミ、フサヒゲルリカミキリ等いずれも国内希少野生動植物種



### ③ 子どもの居場所づくりプロジェクト

元漕江公園は住宅に囲まれている公園でありながら、広い草地、雑木林、釣り池など様々な環境があります。それらの豊富な環境や素材を使った外遊びを通して、子どもの中の様々な側面に光を当てることで自己肯定感を高め、家庭・学校以外の居場所となることを目指します。また、ひとり親家庭や貧困家庭の子どもたちの居場所となるよう生物園の利用に関するサービスの向上に努めます。具体的な取り組み案は以下のとおりです。

- 子どもたちの自主性と地域のつながりを育む公園遊びプログラムの充実
- ひとり親家庭の子どもに対するプログラム参加機会の公平化
- 貧困家庭の子どもに対する年間パスポートの無償提供



## 2. 令和3年度の計画

### (1) 重点的取り組み

新型コロナウイルスの終息が見えない中、With コロナを前提とした元湊江公園・生物園の事業実施を目指します。また引き続き、生物園の3つの活動の柱として掲げた「子どもの居場所づくりプロジェクト」、「足立区生物園型『ふれあい動物』プロジェクト」、「絶滅危惧種を救う！プロジェクト」に取り組みます。

#### ① 自主事業の拡充・新企画



- 「ホタルの夕べ」の開催（継続）（6/3～6/6開催予定）

区民の皆さまから高い評価をいただいた「ホタルの夕べ」ですが、令和2年度は残念ながら新型コロナウイルスの影響により中止せざるを得ませんでした。令和3年度は徹底的に感染防止策を講じた上で、開催したいと考えています。

#### ホタルの夕べにおける新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 事前申込および時間帯による入替制
- ・ 園内の開放はしない。見学は昆虫ドームのみで一方通行。
- ・ 飲食を伴う活動を取り止め
- ・ 原則、マスク着用の義務付け
- ・ 手指消毒の徹底

- 冒険あそびの充実（拡充）



前年度に引き続き、毎週水曜日と第2・第4土曜日に実施することとします。これにより、年間最大74日開催できる見込みです。できる限り開催日数を増やし、また定期に開催することで、地域子どもたちにとって「居場所」になりやすい条件を整えていきたいと考えています。ただし、新型コロナウイルス感染症の対策は万全にし、参加者とスタッフの安全を優先して実施していきたいと考えています。

また、この活動に協力してもらうボランティア（プレーリーダー）の募集を秋ごろに予定しています。まずは必要なスキルを身に付けてもらうため、東京未来大学の横畑先生の協力を得て、年4回程度の講習会を行っていきます。

#### 冒険あそびにおける新型コロナウイルス感染症対策

- ・ 1回の参加条件を20分ごと5人ずつとする
- ・ 不特定多数への道具の貸し出しを中止
- ・ 飲食を伴う活動を取り止め
- ・ 原則、マスク着用の義務付け
- ・ 手指消毒の徹底



- 冒険あそびボランティアの立ち上げ（新規）



冒険あそびは、参加する子どもたちとの緊密なコミュニケーションによる信頼関係の構築が必要不可欠であると考えます。現在は、毎回スタッフ5人に加え、足立に冒険あそび場をつくる会から5人ほどの協力を得て実施していますが、今後はより多くの人的資源が必要になると考えます。そこで、令和3年度は、新たに冒険あそびボランティアを立ち上げ、プログラムのサポートと同時に本ボランティア活動に必要なスキルを身に付けてもらうため、東京未来大学の横畑先生の協力を得て、年4回の説明会および講習会を開催していく予定です。

- ② 絶滅危惧種を救う！プロジェクトの拡充



- アマミトゲネズミの生息域外保全（新規）

環境省と日本動物園水族館協会（JAZA）が連携して取り組んでいる国の天然記念物「アマミトゲネズミ」の生息域外保全活動に参画します。現在飼育に取り組んでいる動物園は全国で4園のみで、累代飼育を継続するためにはより多くの動物園が協力する必要があります。生物園では6月ごろを目途に井の頭自然文化園から3頭が移動されてくる予定です。

- ③ プロモーションの強化

- SNSの活用強化（継続）

Withコロナを前提として、生物園や生きものに興味、関心を持ってもらう手段としてSNSは非常に効果的であると言えます。令和2年度の実績でも、コンテンツの工夫や投稿頻度を上げることでTwitterのフォロワー数を2000人から4000人に倍増させることができました。令和3年度も引き続き、SNSを活用した教育活動およびPR活動に力を入れていきたいと考えています。

- ミュージアムショップのオンライン化（新規）

生物園で得た新たな発見や感動を更に心の中に定着させ、生命への関心を高めるために、ミュージアムショップの商品は大切な役割を果たしています。しかしながら、コロナの影響が長引く中、来園者のみへのアプローチだけでは十分な効果が発揮できないと実感しました。そこでオンラインショップを開設し、SNSでの生物園体験と連動して自然や生きものへの興味、関心を引き出すことを目指します。取り扱う商品は、主として「おみやげ研究会」を通して区内業者と共同開発してきたオリジナル商品とし、生物園や足立区の知名度向上にも努めていきたいと考えています。

- ④ 公社 日本動物園水族館協会（JAZA）の活動

- 全国動物園技術者研究会の開催（新規）

令和3年度 JAZA 全国動物園技術者研究会の開催園として生物園が選出されました。全国の動物園91園から120名程の参加者が集い、飼育技術に関する研究発表会を行うもので、関係部署や機関と連携して準備を進めていきます。

## (2) 数値目標

### ① 目標入園者数：216,000人

提案書でお示した年間目標入園者数 216,000 人を目指したいと考えています。ただし、未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、休園や入園制限などの措置を取らざるを得ない状況も想定されます。よって、今後の状況次第では目標値の下方修正も念頭に置き、必要に応じて見直しを行います

### ② 生物園目標収入額：42,178,000円

指定管理料および、預り金を除く収入額の目標を42,178千円とします。収入の内訳は以下のとおりです。ただし、年間目標入園者数と同様に新型コロナウイルス感染症の影響により減収は避けられないと考えます。よって予算書上は大幅な縮減をしています。

(単位：千円)

収支区分	内容	目標収入額	予算上の収入額
収入 (指定管理料 ・預り金を除く)	入園料	26,974	15,653
	ミュージアムショップ	10,393	5,893
	アニマルベンダー(生物のエサ販売等)	1,220	626
	有料プログラム	1,584	683
	有料対応(出張生物園等)	1,087	131
	補助金・助成金	715	1,679
	雑収入	205	75
	合計	42,178	24,740

### ③ ミュージアムショップ目標収入額：10,393,000円

ミュージアムショップは安定的な生物園の運営を実現するために重要な収入源です。利用者ニーズを汲み取り、魅力的かつ、生物園らしい環境教育に資する商品を充実させることに取り組みます。また、来園者だけでなく自宅からでもミュージアムショップにアクセスできるようにオンラインショップを展開し、収入目標額の達成を目指します。

### ④ 目標年間対応率：200%以上

来園される全ての方に生物園の魅力を伝え、生物や生命の尊さに気付いてもらうため、解説員や飼育員などによる対応をできるかぎり行えるよう努力していきたいと考えています。そこで、総入園者数に対する延べ対応者数の割合が200%を超えることを目標とします。なお、対応者数としてカウントするのは下記の通りです。

インフォメーション: 受付での「見どころ紹介」「イベント案内」「展示案内」など

レンジャートーク: 解説員による「生物解説」「質問対応」「展示解説」など

プログラム: 対象者のレベルに応じて「ふれあい」「導入型」「発展型」など

### ⑤ 発展型プログラムの目標応募率：120%以上

発展型プログラムは、あらかじめそのテーマに関心を持った方を対象に、より高度な内容で実施するため、募集形式を事前申込にしています。そのため応募状況がそのプロ

グラムの人気（ニーズ）のひとつの目安となります。そこで、定員に対する応募者数の割合を応募率とし、それが120%を超えるよう、タイトルや内容、広報などを工夫していきます。

◎ 導入型プログラムの目標参加率：100%

気軽に参加でき、生物や生命に関心を持つきっかけとなるよう、導入型プログラムは当日申込の形式をとっています。休日には、このプログラムの参加を目的に来園される方も多くいます。

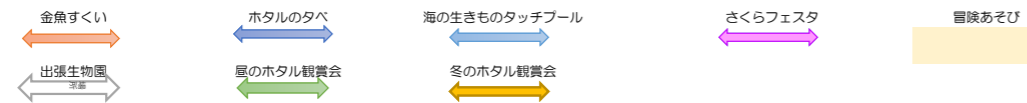
天候などに影響を受けることもありますが、プログラムのニーズの目安として、定員に対する参加者数の割合を参加率とし、それが100%に達するよう努力します。

(3) 管理運営実施計画

月	管理運営	受付業務		窓口解説 (シン シアートウク)	体験型啓発事業					区民協働活動		団体対応 出張授業	展示	セルフ ガイド	広報活動				飼育業務				施設管理				再委託業務										
	事務室	1階	ミナツル アピア		指定夜間特 別営業	特別イベン ト	ふれあい プログラム	導入型 プログラム	発展型 プログラム	連携事業	公園 プログラム				健康増 進ボランティア	環境改善 ボランティア	公園整理 ボランティア	ニュース レター	看板、ポス ター、 チラシなど	ホーム ページ	SNS	このほか 取材対応な ど	チョウ飼育	水生昆虫飼 育	陸生昆虫飼 育	魚類飼育	爬虫・両生類 飼育	哺乳類・ 鳥類飼育	館内清掃	電気機械設 置	公園維持管 理	病害虫防除工 事 保守事業	自動ドア保 守	機械設備管 理	雑糞処理 ビット清掃	産物販売 イベント	エリハ ター ビ
4月	■	■	■	■		■	■	■	■		■	■																								セラム(雨)■	
5月	■	■	■	■		■	■	■	■			■																									
6月	■	■	■	■	■ ホテルのたけ																																
7月	■	■	■	■	■ dreaon nighthat																																
8月	■	■	■	■	■ 園遊性																																
9月	■	■	■	■	■ リフォレスト																																
10月	■	■	■	■																																	
11月	■	■	■	■	■ スミウサロ																																
12月	■	■	■	■	■ 光の美術展夜間特別開 閉																																
1月	■	■	■	■																																	
2月	■	■	■	■																																	
3月	■	■	■	■	■ ウサビロ																																

(4) 事業予定

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	木	土 ま～し～園長のガイドツアー	火	1 木	日 生きものガイド セミ羽化	水 ちびっこプログラム	1 金 東京都民の日	月 休園日	水 ちびっこプログラム	1 土 年末年始休暇	火	火
2	金	日 生きものガイド	水 ちびっこプログラム	2 金	月	木	2 土 ま～し～園長のガイドツアー	火	木	2 日 生きものガイド	水 ちびっこプログラム	水 ちびっこプログラム
3	土	月 憲法記念日 はじめての飼育ダンゴムシ	木	3 土 ま～し～園長のガイドツアー	火	金	3 日 生きものガイド	水 文化の日 わんフェス	金	3 月	木	木
4	日	火 みどりの日 ヒツジの毛刈り	金	4 日 生きものガイド	水	土 ま～し～園長のガイドツアー 鳴く虫night	4 月 休園日	木	土 ま～し～園長のガイドツアー	4 火	金	金
5	月	水 子どもの日	土 ま～し～園長のガイドツアー	5 月 休園日	木	日 生きものガイド	5 火	金	日 生きものガイド	5 水	土 ま～し～園長のガイドツアー	土 ま～し～園長のガイドツアー
6	火	木 休園日	日 生きものガイド	6 火	金	月 休園日	6 水 ちびっこプログラム	土 ま～し～園長のガイドツアー	月 休園日	6 木	日 生きものガイド	日 生きものガイド
7	水	金	月 休園日	7 水 ちびっこプログラム	土 ま～し～園長のガイドツアー レイアウトをつくろう	火	7 木	日 生きものガイド	火	7 金	月 休園日	月 休園日
8	木	土 ほ乳類のショー	火	8 木	日 山の日 うらがわ探検ツアー チョウの雛を育てみよう	水 ちびっこプログラム	8 金	月 休園日	水 ちびっこプログラム	8 土 ほ乳類のショー	火	火
9	金	日 うらがわ探検ツアー 家族で釣り教室	水 ちびっこプログラム	9 金	月 山の日 昆虫休日 昆虫標本づくり (カブト)	木	9 土 ほ乳類のショー	火	木	9 日 うらがわ探検ツアー	水 ちびっこプログラム	水 ちびっこプログラム
10	土	月 休園日	木	10 土 ほ乳類のショー	火	金	10 日 うらがわ探検ツアー	水 ちびっこプログラム	金	10 月 成人の日 発掘生きもの博士	木	木
11	日	火	金	11 日 バードショー うらがわ探検ツアー	水	土 ほ乳類のショー	11 月 休園日	木	土 ほ乳類のショー	11 火 休園日	金 建国記念の日 アルパカとゆかいな仲間たち	金
12	月	水 ちびっこプログラム	土 ほ乳類のショー	12 月 休園日	木	日 うらがわ探検ツアー はじめての飼育ダンゴムシ	12 火	金	日 うらがわ探検ツアー	12 水 ちびっこプログラム	土 ほ乳類のショー	土 ほ乳類のショー
13	火	木	日 うらがわ探検ツアー	13 火	金	月 休園日	13 水 ちびっこプログラム	土 ほ乳類のショー	月 休園日	13 木	日 うらがわ探検ツアー	日 うらがわ探検ツアー ポニー乗馬 (馬車)
14	水	金	月 休園日	14 水 ちびっこプログラム	土 ほ乳類のショー 標本づくり (セミ)	火	14 木	日 埼玉県民の日 うらがわ探検ツアー	火	14 金	月 休園日	月 休園日
15	木	土 無料開園日	火	15 木	日 チョウの飼育体験 生きものガイド	水 ちびっこプログラム	15 金	月 休園日	水 ちびっこプログラム	15 土 無料開園日	火	火
16	金	日 チョウの飼育体験 生きものガイド	水 ちびっこプログラム	16 金	月	木	16 土 無料開園日	火	木	16 日 チョウの飼育体験 生きものガイド	水 ちびっこプログラム	水 ちびっこプログラム
17	土	月 休園日	木	17 土 無料開園日	火	金	17 日 チョウの飼育体験 生きものガイド	水 ちびっこプログラム	金	17 月 休園日	木	木
18	日	火	金	18 日 チョウの飼育体験 生きものガイド	水	土 無料開園日	18 月 休園日	木	土 無料開園日 クリスマスプレゼント	18 火	金	金
19	月	水 ちびっこプログラム	土 無料開園日 生涯学習センター	19 月 休園日 (都) 標本づくりに挑戦	木	日 チョウの飼育体験 生きものガイド	19 火	金	日 チョウの飼育体験 生きものガイド	19 水 ちびっこプログラム	土 無料開園日	土 無料開園日
20	火	木	日 チョウの飼育体験 生きものガイド	20 火	金	月 敬老の日 一日飼育員	20 水 ちびっこプログラム	土 無料開園日	月 休園日	20 木	日 チョウの飼育体験 生きものガイド	日 チョウの飼育体験 生きものガイド
21	水	金	月 休園日	21 水	土 無料開園日 夜のカエル観察会	火 休園日	21 木	日 チョウの飼育体験 生きものガイド	火	21 金	月 休園日	月 春分の日 イカ (カエル) の解剖
22	木	土 ほ乳類のショー	火	22 木 海の日 カブトムシを飼おう	日 昆虫ドームの見どころ	水 ちびっこプログラム	22 金	月 休園日	水 ちびっこプログラム	22 土 ほ乳類のショー	火	火 休園日
23	金	日 バタフライガーデンの見どころ	水 ちびっこプログラム	23 金 スポーツの日	月	土 秋分の日 発展型顕微鏡	23 土 ほ乳類のショー	火 助産感謝の日 カメラで生きものを撮ろう	木	23 日 生きもの探検し 家族で釣り教室	水 天皇誕生日 ポニー乗馬 (馬車)	水 ちびっこプログラム
24	土	月 休園日	木	24 土 ほ乳類のショー Dream night at 生物園	火	金	24 日 生きもの探検し 家族で釣り教室	水 ちびっこプログラム	金	24 月 休園日	木	木
25	日	火	金	25 日 生きもの探検し カブトムシを飼おう	水	土 ほ乳類のショー	25 月 休園日	木	土 ほ乳類のショー	25 火	金	金
26	月	水 ちびっこプログラム	土 ほ乳類のショー	26 月	木	日 バタフライガーデンの見どころ 体験デー??	26 火	金	日 バタフライガーデンの見どころ 骨格標本づくり	26 水 ちびっこプログラム	土 ほ乳類のショー	土 ほ乳類のショー
27	火	木	日 昆虫ドームの見どころ	27 火	金	月 休園日	27 水 ちびっこプログラム	土 ほ乳類のショー	月	27 木	日 昆虫ドームの見どころ 魚の解剖	日 バタフライガーデンの見どころ 大人の飼育体験
28	水 ちびっこプログラム	金	月 休園日	28 水	土 ほ乳類のショー	火	28 木	日 昆虫ドームの見どころ	火	28 金	月 休園日	月
29	木	土 昭和の日 カマキリを飼おう	火	29 木	日 導入型顕微鏡	水 ちびっこプログラム	29 金	月 休園日	水 年末年始休暇	29 土 ポニー乗馬 (馬車)	火	火
30	金	日	水 ちびっこプログラム	30 金	月	木	30 土	火	木 年末年始休暇	30 日	水	水
		月 休園日		31 土 セミ羽化	火		31 日		金 年末年始休暇	31 月 休園日		木



## 第二章 利用促進・教育普及業務

### I 利用促進・サービス向上

#### 1. 受付窓口

##### (1) 年間入園者数の月別推移とその傾向

令和3年度の年間目標来園者数は 216,000 人としていました。しかし、新型コロナウイルス感染拡大防止策として実施した臨時休園や入場制限などの影響を鑑み、7月に年間目標来園者数を 110,000 人に下方修正しました。なお、感染症対策として取った臨時休園および、入場制限措置の期間は以下の通りです。

- ・臨時休園：4月1日～5月31日、12月26日～28日、1月12日～3月21日
- ・入場制限：6月 1日～6月11日 50人  
6月12日～6月20日 100人  
6月22日～9月18日 150人  
その他の期間 300人

入場制限が100人以下の場合、屋外での待ち時間が長くなり、多くの入園希望者から苦情をいただく結果となりました。苦情の内容や館内の混雑状況などは、都度、公園管理課に報告し、規制緩和に向けた相談をしてきました。来園者に対しては、1時間程度の利用（滞在）をお願いするなどして回転率を高める工夫も行いました。入場制限が150人になってからは、長時間お待ちいただくことは少なくなり、苦情もなくなりました。

結果、令和3年度の年間来園者数は112,459人となりました。当初目標値との比較では52.1%でしたが、修正目標値比では102.2%を達成しています。

令和3年度 生物園入園状況一覧表

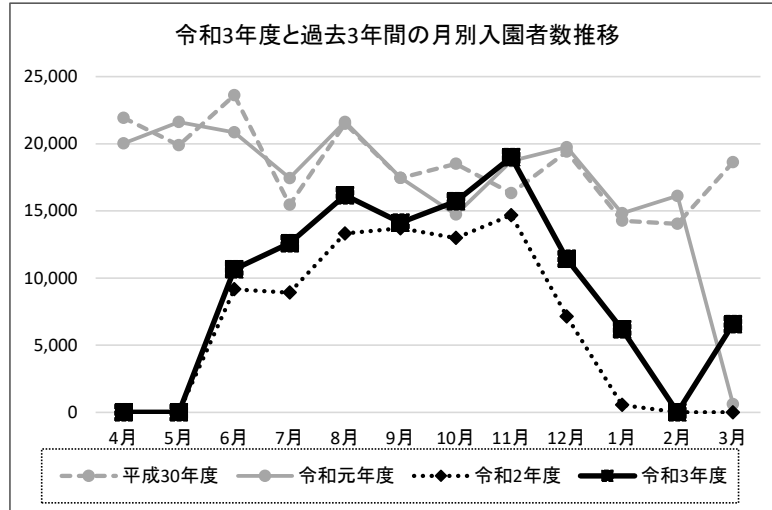
(単位：人)

月	有料入園										無料入園										総入園者数 (A+B)				
	一般料金				団体料金		人数合計 (A)				入園料免除					パスポート入園								人数合計 (B)	
	一日券		パスポート購入		大人	小人	大人	小人	大人	小人	合計	申請書		幼児 高齢		身障		パスポート入園		大人	小人	合計	大人	小人	合計
	大人	小人	大人	小人	大人	小人	大人	小人	合計	大人	小人	幼児	高齢	大人	小人	大人	小人	大人	小人	大人	小人	合計	大人	小人	合計
4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6	4,426	952	191	39	0	0	4,617	991	5,608	146	39	3,554	184	193	54	805	77	1,328	3,724	5,052	5,945	4,715	10,660		
7	5,205	1,634	137	51	0	0	5,342	1,685	7,027	242	82	3,786	124	264	72	861	139	1,491	4,079	5,570	6,833	5,764	12,597		
8	6,657	2,397	141	33	0	0	6,798	2,430	9,228	247	70	4,822	138	338	160	994	169	1,717	5,221	6,938	8,515	7,651	16,166		
9	5,890	1,446	147	24	0	0	6,037	1,470	7,507	85	19	4,738	219	250	107	1,075	131	1,629	4,995	6,624	7,666	6,465	14,131		
10	6,615	1,612	154	35	0	0	6,769	1,647	8,416	380	72	5,017	261	335	85	1,008	137	1,984	5,311	7,295	8,753	6,958	15,711		
11	8,239	1,857	171	33	0	0	8,410	1,890	10,300	496	132	5,965	464	424	108	1,017	103	2,401	6,308	8,709	10,811	8,198	19,009		
12	4,459	1,075	112	21	0	0	4,571	1,096	5,667	299	84	3,773	273	325	74	840	102	1,737	4,033	5,770	6,308	5,129	11,437		
1	2,746	781	69	13	0	0	2,815	794	3,609	8	0	1,869	96	132	47	362	56	598	1,972	2,570	3,413	2,766	6,179		
2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
3	2,459	881	63	15	0	0	2,522	896	3,418	17	1	2,154	165	138	43	552	81	872	2,279	3,151	3,394	3,175	6,569		
計	46,696	12,635	1,185	264	0	0	47,881	12,899	60,780	1,920	499	35,678	1,924	2,399	750	7,514	995	13,757	37,922	51,679	61,638	50,821	112,459		

令和3年度と過去3年間の月別入園者数推移の比較

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
平成30年度	21,944	19,902	23,623	15,464	21,503	17,464	18,518	16,331	19,421	14,278	14,042	18,633	
(30年度累計)	21,944	41,846	65,469	80,933	102,436	119,900	138,418	154,749	174,170	188,448	202,490	221,123	221,123
令和元年度	20,037	21,628	20,859	17,451	21,631	17,467	14,730	18,715	19,751	14,834	16,127	612	203,842
(元年度累計)	20,037	41,665	62,524	79,975	101,606	119,073	133,803	152,518	172,269	187,103	203,230	203,842	203,842
令和2年度	0	0	9,172	8,914	13,328	13,708	12,992	14,683	7,144	550	0	0	80,491
(2年度累計)	0	0	9,172	18,086	31,414	45,122	58,114	72,797	79,941	80,491	80,491	80,491	80,491
令和3年度	0	0	10,660	12,597	16,166	14,131	15,711	19,009	11,437	6,179	0	6,569	112,459
(3年度累計)	0	0	10,660	23,257	39,423	53,554	69,265	88,274	99,711	105,890	105,890	112,459	112,459
前年同月比%	#DIV/0!	#DIV/0!	116.2	141.3	121.2	103.0	120.9	129.4	160.0	1,123.4	#DIV/0!	#DIV/0!	
前年同月累計比%	#DIV/0!	#DIV/0!	116.2	128.5	125.4	118.6	119.1	121.2	124.7	131.5	131.5	139.7	



(2) 入園料収入

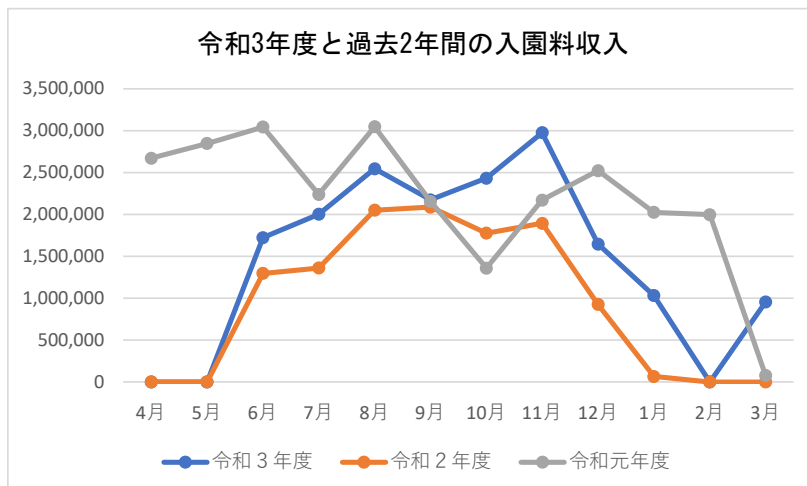
今年度の生物園の入園料収入は 17,484,450 円でした。

当初の目標額からは-9,490,000 円でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響を考慮して立てた予算額と比較すると+1,831,450 円、昨年度比では+6,030,450 円 (152.6%) となりました。

令和3年度と令和元年度の入園料収入の比較

(単位：円)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
令和3年度	0	0	1,723,200	2,001,600	2,545,650	2,174,700	2,432,100	2,975,250	1,645,950	1,031,550	0	954,450	17,484,450
令和2年度	0	0	1,296,150	1,359,450	2,049,600	2,087,700	1,776,750	1,894,200	924,300	65,850	0	0	11,454,000
令和元年度	2,671,600	2,847,000	3,043,100	2,238,450	3,046,500	2,154,350	1,358,450	2,171,650	2,522,150	2,024,350	1,997,050	78,150	26,152,800



### (3) インフォメーションの対応実績

受付では入園券の受け取りや年間パスポート作成の他に、来園者に対して、利用やイベント、展示情報などニーズに合わせた適切な情報提供も行っています。今年度受付で対応したインフォメーションの実績は、年間 74,512 回、74,413 人になりました。

生物園の入り口に位置する受付は、来園者にとって最も生物園の印象を受けやすい場のひとつとなります。そのため「元気に笑顔で…」をモットーに積極的な接客対応を心がけました。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、園内における感染対策についての説明、中止プログラムのご案内なども行いました。

#### 令和3年度インフォメーション対応実績

(単位:回・人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
回数	0	0	7,069	8,554	10,467	9,290	10,685	12,756	7,666	3,831	0	4,194	74,512
大人	0	0	5,212	6,259	7,528	7,230	8,280	8,509	5,457	3,147	0	2,816	54,438
子ども	0	0	1,835	2,252	2,924	2,055	2,400	4,247	2,206	684	0	1,372	19,975
対応人数	0	0	7,047	8,511	10,452	9,285	10,680	12,756	7,663	3,831	0	4,188	74,413

### (4) 来園者の声

ご来園下さるみなさまが満足していただけるように、寄せられた要望は真摯に受け止め、よりよいサービスを提供できるように心がけた対応を行なっています。

月例会議にてこれらの声を、区へ報告・提案し、改善へつなげることで、来園者へのサービス向上に努めました。会議で取り上げた1年間のお客様の声を以下の表にまとめました。

#### ● ポジティブなご意見

	来園者の声	年齢	性別	対応	結果
4月	長く休園されているということで、わずかでも応援ができればと思います。頑張ってください(オンラインショップ)				済
	解除になったらまた遊びに行きたいと毎日子供が話しています。頑張ってください！(オンラインショップ)				済
	今は東京に行くには少し心配なので、応援するためにグッズをどんどん増やしていただきたいです。(オンラインショップ)				済
	臨時休業が延長されてしまい残念ですね。開園されるのを楽しみに待っています！(オンラインショップ)				済
5月	株式会社サンベルゴの宮下です。 関根園長 ネット販売いいですね！ 弊社も数か月以内に始めますのでリンク貼っていただけると助かります。Tシャツ着て娘とFacebookに載せますので見てください！	40代	男性		済
	コロナ禍で厳しい状況が続いているかとは思いますが、頑張ってください。 少しでも生き物たちのご飯代などになればと思います。 コロナが落ち着きましたら子どもを連れて遊びに行かせて頂きます。	20代	女性		済



6月	久しぶりに来て嬉しいです。	多数			済
	年パス延長嬉しい。	多数			済
	プログラムが再開して嬉しい。	多数			済
7月	素敵な展示です。足立区の財産ですね。	50代	女性		済
	いつもYouTube楽しんで見えています	20代	女性		済
	ホタルがすばらしかった。	多数	多数		済
8月	ひまわり綺麗ですね	多数	多数		済
	年間パスポートの延長嬉しいです	多数	多数		済
	虫捕りをやっているのが嬉しかった		女性		済
	ワライカワセミが鳴いているのを聞いて嬉しいです。	60代	女性		済
9月	普段図鑑でしか見られない、里山の生き物に出会い、感動しました。熱帯園の蝶が凄いです！羽化の飼育室もみどですね。カブトガニ凄いなあ。花螻蛄の抜け殻を記念に購入。また伺います！応援してます。	不明	不明		済
	金魚すくい楽しかったです。	多数	多数		済
	1時間じゃ見切れないほど見どころがある	不明	男性		済
	年間パスポートが素敵です	30代	女性		済
10月	TVを見て来ました。足立区にこんな施設があるのを知りませんでした。	60代	女性		済
	大温室で通年チョウが見れてうれしいです。	不明	不明		済
	入口の案内イラストのチンチラがかわいい！	小学生	女性		済
11月	ミュージアムショップのオリジナルグッズが面白い	30代	女性		済
	新聞で見たゴキブリを見に来ました	70代	女性		済
12月	生き物が全体的に元気そうで嬉しかった。また来たいです。	シニア	女性		済
	カメ、イモリのことを教えていただきありがとうございました。	34歳	男性		済
	普段、潜在概念からかゴキブリをつぶしていたが、命の平等に扱われる姿から、命について考えさせられた。ゴキブリ鳴くのびっくり！	19歳	女性		済
	ホタルがきれいだった。生きものはかくれるのがうまかった。	9歳	女性		済
1月	昆虫すごいぜに出ていましたね！嬉しかったです。	親子			済
	魚がたくさんいてすごかった。ありがとう。	9歳	女性		済
	来るたびにいろんな企画や新しい発見があり楽しいです。これからもがんばってください。	47歳	男性		済
3月	久しぶりに来て良かった	多数	多数		済
	年パス延長してくれるのはとても嬉しいです	多数	多数		済
	骨の展示が面白かった	多数	多数		済

● 要望・課題

	来園者の声	年齢	性別	対応	結果
4月	<p>度重なる緊急事態宣言や、解除後の蔓延防止措置などコロナの感染を食い止めたのも理解してありますが、子育てする中で子供に「外で遊びたい」「〇〇で遊びたい」と言われるのを毎回「今はダメなんだよ」と言い続けるのも、我慢させ続けるのも、もう限界です。</p> <p>子供が生物園に行きたがり、「今はコロナの影響でお休みしてる」と言っても泣き叫ばれ続ける。遊園地や動物園は大きくて広いので致し方無いとも思うのですが、せめて生物園は開園しても良いようにしてくれませんか？</p> <p>前の様に入場制限付けても構いません。足立区民だけの入場で身分証提示するとか、電話やネット予約が必要ならそれでも構いません。</p> <p>コロナ禍で大変なのは皆同じでしょう。その環境下で子供の好きなもの、好きな場所まで奪わないでください。</p> <p>大人のコロナ鬱を気にかける様に、子供に対しても同じように気にしてください。</p> <p>これから大きくなり、働き1人で何人分もの税金を払っていきことを思えば今、これからの子供達に対して何でもかんでもダメ・閉園・休園・取り上げるのは良くないです。長くなりましたが、足立区生物園の開園を希望します。</p>	不明	不明	<p>この度は、生物園に関する貴重なご意見、誠にありがとうございます。</p> <p>生物園を大好きでいてくれるお子様の気持ちを考えると、申し訳ない思いでいっぱいです。</p> <p>しかしながら、区内の感染者数の増加に歯止めがかからず、引き続き区民のみなさまのご協力が必要であることも事実です。</p> <p>国が東京都に対して緊急事態宣言を発出したのを受けて、現在、区内の屋内施設についてはおおむね利用禁止となっています。</p> <p>多くの遊園地や動物園は屋外施設ですが、生物園はメインが屋内施設ですので、できる限りの対策を講じてもリスクが高いと考えています。</p> <p>1年前の緊急事態宣言時には元洲江公園の遊具等も使用禁止としていましたが、子どもたちの運動不足やストレス解消の機会を確保することも大切であると考え、公園については開放しています。子どもたちの心身の健康と公園の状況等をよく確認したうえで公園をご利用いただければと思います。</p> <p>生物園の再開を望む声は多くの方々から届いており、私どもも何とか開園できないかと様々な対応策を検討しています。この休園中にはカンガルーやワラビーの赤ちゃんも誕生しており、その可愛い姿をみなさまに愛でていただけるのを心待ちにしています。何卒ご理解とご協力の程、お願い申し上げます。</p> <p>足立区生物園 園長 関根雅史</p>	済
5月	<p>皆さん、お元気ですか？</p> <p>ハンショウのグッズを作って欲しいです！</p> <p>あと、生物園の写真絵本(2～3歳向け)があったらいいな～。</p> <p>生物園の開園、待ってます！！</p>	30代	女性	<p>オンラインショップのご利用ありがとうございます。</p> <p>商品のご要望に関しましては、今後の商品開発の参考にさせていただきます。</p>	済
7月	<p>寄生虫の展示をしてほしいです、ハリガネムシが見たいです。</p>	50代	男性	<p>ご意見ありがとうございます。ハリガネムシは過去に展示を行ったことがあります。今年度は予定がないのですが、今後「虫」をテーマにした展示を行う際は計画の参考にさせていただきます。</p>	済
8月	<p>夜になると中国人がセミの幼虫を大量に盗んでいます。</p> <p>セミだけではなく、それ以外の虫も食害にあっていると思います。</p> <p>何らかの対策はないのでしょうか？</p>			<p>足立区の条例で、公園にて生きものを捕獲及び殺傷することは認められていません。</p> <p>ただし当園では子どもや家族連れが昆虫採集を楽しむ分には容認しております。</p> <p>管理者が常駐している時間帯に大量捕獲等を見かけた際は、注意してやめてもらうよう努めています。</p> <p>生物園の開園後は管理者が常駐していないため、巡回監視は実施しておりません。</p> <p>区が委託契約している防犯パトロールにおいて、発見した際は注意していただくよう、指示してもらうことになりました。</p> <p>もし見かけた際は利用者同士のトラブルを避けるためにも、管理者である生物園へご連絡ください。</p> <p>常駐している時間は午前8時30分から午後6時までとなります。</p> <p>貴重なご意見をありがとうございました。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p>	済
10月	<p>タイコウチが見たい</p>	幼児		<p>(バックヤードでご覧いただきました)</p>	済
1月	<p>お世話になります。</p> <p>以前インドシナウォータードラゴンという種類のトカゲちゃんがいたと思うのですが、先日伺った際にはいなくなっていたのですが、どこにいたのでしょうか？</p> <p>受け付けの方にも聞いたのですが、そのトカゲがいた事自体わからないと言われたので気になっています。</p> <p>パンデミック前はこのトカゲちゃんが見たくて年間パスポートを購入していたほどでしたので、どうしてか知りたいです。</p> <p>ご返信いただければ幸いです。</p>			<p>〇〇様</p> <p>お問い合わせありがとうございます。</p> <p>インドシナウォータードラゴンは現在バックヤードで元気にしております。</p> <p>気にかけていただきありがとうございます。</p> <p>また、スタッフの案内不足でご心配をおかけしてしまい申し訳ありませんでした。</p> <p>どうぞよろしく願いいたします。</p> <p>足立区生物園</p>	済

● ネガティブなご意見

	来園者の声	年齢	性別	対応	結果
6月	待ち時間が長すぎる。時間を決めて入れ替え制にした方が良くはないか？	多数		※その都度、滞在時間1時間をお願いしている点、平均して1時間以内の滞在のお客様が多い点、結果的に入れ替え制より多くの方が入園できている点を説明。定員を150人にして以降は、待ち時間が長くても1時間程度になっているため、このようなご意見はほとんど聞かれなくなっています。	済

区との定例会議の中でお客様から頂いた、褒詞を 37 点、改善すべき意見・要望・課題を 6 点、ネガティブな意見・課題を 1 点、取り上げました。区との協議を経て、それぞれの意見に真摯に向き合い、44 点、全てのご意見に対して当園の取り組みや方針を示させて頂きました。

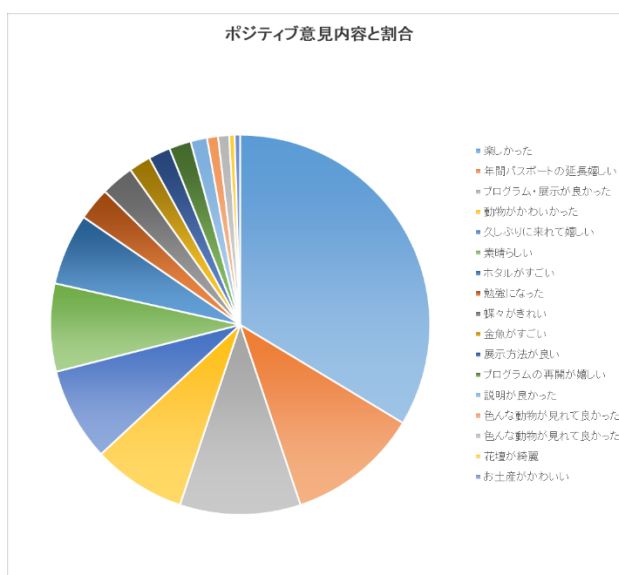
ネガティブな意見に対しても、コロナ禍による感染症対策の制限を行うにあたり、来園者に対しては対策内容と必要性についての説明を丁寧に行い、最終的には皆様ご理解をいただいています。

なお、令和 3 年度に関しては感染症拡大防止のための休園期間があったため、お客様からの声を収集できていない時期があります。休園期間に関しては、ネットショップをご利用いただいたお客様からのメッセージや、励ましのお手紙などを「来園者の声」として取り上げている月があります。

また、開園していた期間についても、筆記用具などによる接触感染や密を避けるため、アンケート BOX の設置を 12 月までは行っていませんでした。そのため、スタッフがお客様から直接いただいた声や、メールでお寄せいただいたご意見などを拾い上げて構成しています。

ポジティブな意見についての内訳が以下の通りです。直接いただいた声については、受付で開園日ごとに多く寄せられたご意見や印象に残るご意見を原則 1 日 1 件日報に記録しているものを集計しています。「来園者の声」の中の「多数」と記入しているご意見はここから抽出しています。

ポジティブ意見の内容	件数	割合
楽しかった	72	33.6%
年間パスポートの延長嬉しい	24	11.2%
プログラム・展示が良かった	22	10.3%
動物がかわいかった	17	7.9%
久しぶりに来れて嬉しい	17	7.9%
素晴らしい	16	7.5%
ホテルがすごい	13	6.1%
勉強になった	6	2.8%
蝶々がきれい	6	2.8%
金魚がすごい	4	1.9%
展示方法が良い	4	1.9%
プログラムの再開が嬉しい	4	1.9%
説明が良かった	3	1.4%
色んな動物が見れて良かった	2	0.9%
色んな動物が見れて良かった	2	0.9%
花壇が綺麗	1	0.5%
お土産がかわいい	1	0.5%



総数 214 件のうち特徴的なものとして、「年間パスポートの延長嬉しい」「久しぶりに来て嬉しい」「プログラムの再開が嬉しい」という、コロナ禍による休園期間後の再開園についての褒詞が合計で約 20%見られました。その中でも、年間パスポートの延長に関するご意見が半数以上を占めており、休園という不測の事態が起こった場合でも真摯に対応することにより、安心して期間終了後に再度年間パスポートの購入を動機づけられることにつながるのではないかと考えています。

また、生きものに関する褒詞の中ではホテルに関するものが最多で、生物園のホテルに対するご期待が多いものと推測されます。次年度以降につきましては、感染症対策を行いながら一人でも多くの方にホテルの光をお届けできるように努める必要があると考えます。

最後に、サンプル数は少ないのですが、12月以降については従来通りのアンケートを収集できましたので、属性についての結果を以下の表にまとめてあります。

2021年度アンケート集計(属性)

		12月	1月	3月	合計
性別	女性	9	9	8	26
	男性	4	9	6	19
年齢	4歳	0	0	0	0
	5歳	0	0	1	1
	6歳	0	1	0	1
	7歳	4	1	3	8
	8歳	1	1	0	2
	9歳	1	6	3	10
	10歳	3	0	1	4
	11歳	0	1	0	1
	12歳	0	0	0	0
	13歳	0	0	0	0
	14歳	1	1	0	2
	15歳	0	0	1	1
	16歳	0	0	1	1
	17歳	0	0	0	0
	18歳	0	1	0	1
	19歳	1	0	0	1
	20代	0	1	2	3
	30代	1	0	0	1
	40代	0	3	1	4
	50代	0	2	0	2
60代	1	0	1	2	
70代	0	0	0	0	
80代	0	0	0	0	
住まい	区内	5	4	6	15
	区外	8	14	9	31
来園回数	はじめて	2	8	5	15
	2~4回	5	4	1	10
	5回以上	6	6	9	21
知ったきっかけ	以前から	6	7	6	19
	あたち広報	0	1	1	2
	ニュースレター	0	1	0	1
	ちらし	0	0	0	0
	フェイスブック	0	0	0	0
	中吊り広告	0	0	0	0
	HP	0	0	0	0
	テレビ	0	1	0	1
	その他	0	1	3	4
交通手段	自転車	4	2	5	11
	自動車	7	7	7	21
	電車	1	4	2	7
	路線バス	0	0	0	0
	徒歩	1	4	1	6
	その他	0	0	0	0
どなたと	家族	11	14	10	35
	友人	2	0	2	4
	ひとり	0	3	2	5
	その他	0	0	1	1
来園目的	生きもの	12	14	12	38
	イベント	1	2	0	3
	その他	0	1	0	1
	生きものとイベント	0	0	2	2
気付きや学びはありましたか	はい	12	17	14	43
	いいえ	1	0	1	2
自然を大切にしようと思いましたか	はい	13	17	15	45
	いいえ	0	0	0	0
生物多様性について理解が深まりましたか	はい	12	17	13	42
	いいえ	1	0	2	3

## 2. ミュージアムショップ

### (1) 利用状況

令和3年度(2021年度)のミュージアムショップ(以下ショップ)利用者数は26,480人、商品購入者数は16,919人で、どちらも過去最高の多さとなりました。ここでのショップ利用者数とは、ショップ内に立ち入り、商品を眺める、触れる、商品についてスタッフに尋ねるといった行動をした人数を表します。

月ごとの購入者数をみると、全期間で前年度より多く、7月は前年度の3.8倍にも上りました(図1)。これはコロナ禍であっても、緊急事態宣言明けには感染拡大が落ち着いた時期があったこと、近場で観光する人出が多く、さらに長い外出自粛期間明けで購買意欲が高まったこと等が理由の一つだと考えられます。

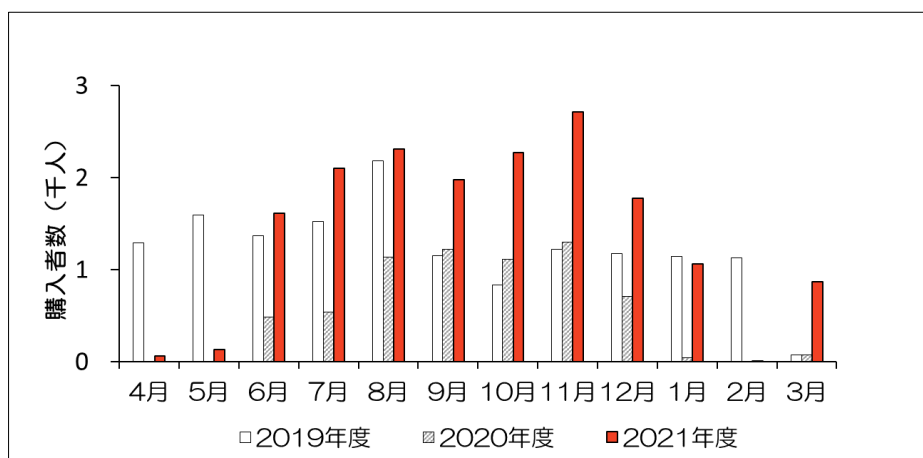


図1. 月別ショップ購入者数の推移

また、2021年度の購入者数はコロナ禍以前の2019年度と比較しても、開園している全期間において多かったです。これは、本年度より紙パック飲料を店舗にて販売開始したため、今までとは違う利用者層がショップ購入者数に含まれるようになったことが一つの要因だと考えられます。

また、本年度における入園者数に対する購入者数の割合は約15%と過去最高値でした(図2)。これも紙パックジュースを含む継続的な新規商品の追加やPOPの充実が、来園者の購買意欲の増加・ショップへの導線強化につながった結果だと考えられます。

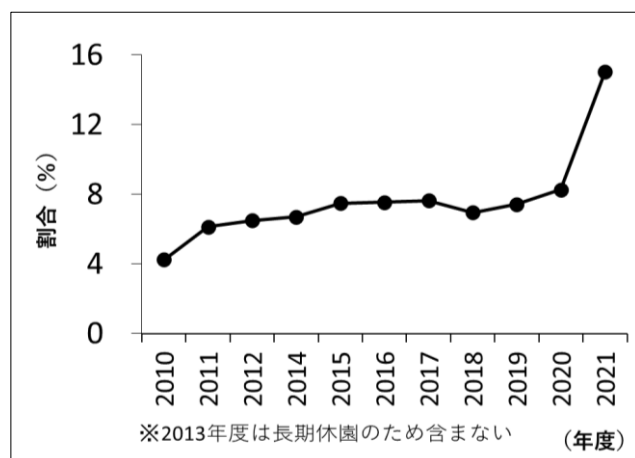


図2. 各年度における入園者数に対する購入者数の割合

## (2) 売り上げ状況

本年度の売り上げは、13,831,862 円で、前年度の約 2 倍にも上りました（図 3）。開園期間は前年度と同等の約 7.5 か月でしたが、ショップ開設以来過去最大の売り上げとなりました。月平均でみると、前年度、前々年度は 1 か月あたり約 90 万円の売上であったのに対し、今年度は約 180 万円の約 2 倍とコロナ以前と比べても大幅に売り上げが伸びたことが分かります。

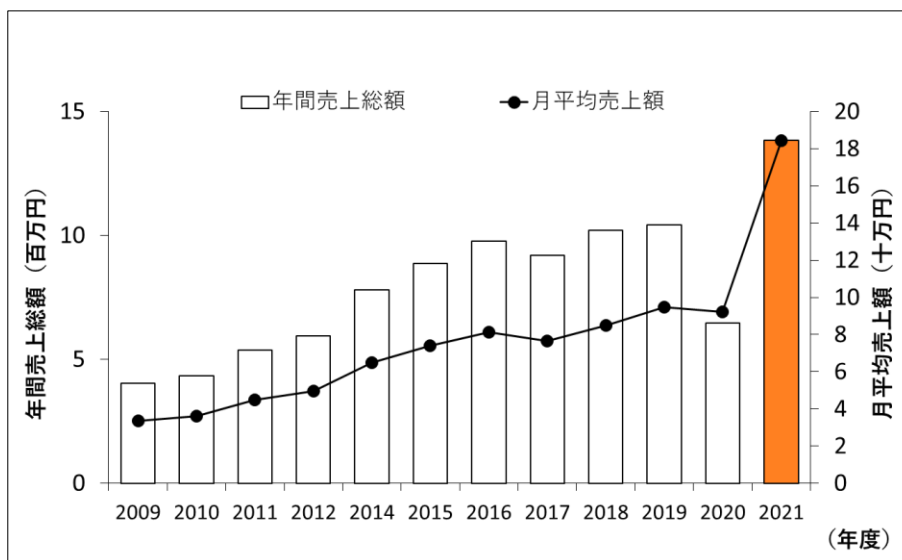


図 3. 各年度における年間売上総額と月平均売上額の推移

月別売上でみても、開園中の全期間で過去最大の売り上げとなり、開園中の前年度比は 1.3～2.5 倍でした（図 4）。また夏休み期間の繁忙期以上に 11 月の売り上げが高く 215 万円を超え、月の売上として歴代最高額となりました。これはコロナ感染症拡大が一時収束し、外出・観光意欲の高まりがあった時期でした。また新商品の発売も 11 月に集中していたため、高い購買意欲を逃さずに販売できた成果であると考えられます。

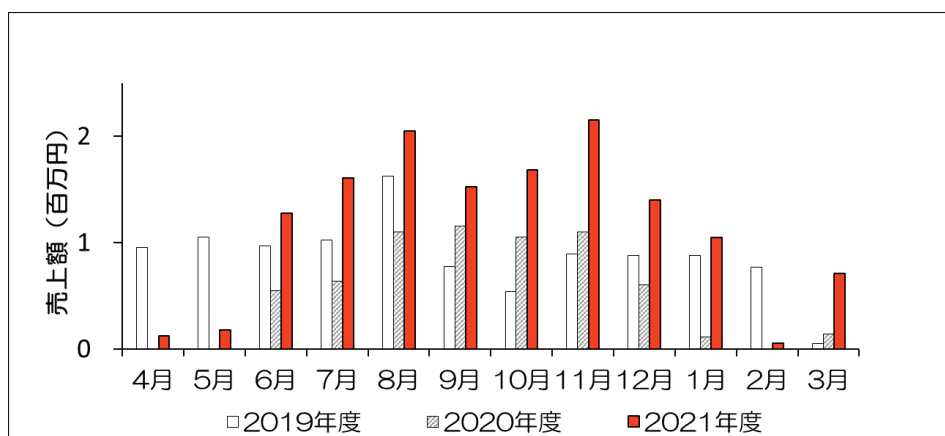


図 4. 月別売上額の推移

本年度の一購入者あたりの平均購入額（客単価）は 818 円であり、前年度より低下しましたが、コロナ禍以前の 2019 年度と比べると 100 円以上高かったです（図 5）。また、1 購入者当たりの平均購入数は 2.6 個で昨年と同等でした。

客単価が前年度より低下したのは、紙パックジュースの販売を始めたため、90円～120円の低価格なジュースのみの購入者が含まれるようになったことが要因だと考えられます。

客単価がコロナ禍以前より高まった要因としては、今年度も価格設定の高いオリジナル新商品を数多く発売したこと、その売れ筋がよかったこと等が要因の一つだと考えられます。

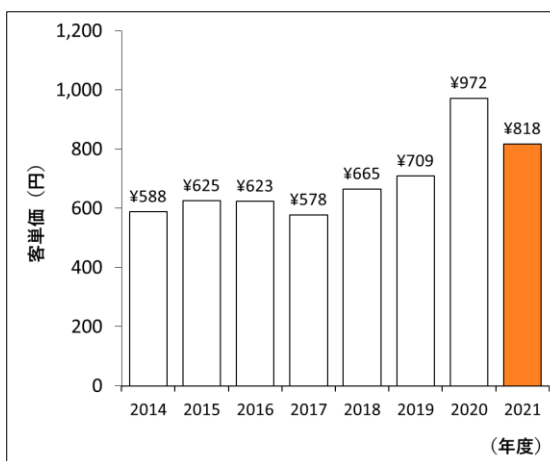


図 5. 各年度における客単価の推移

### (3) 売上の内訳

食品売上は、新たに飲料を販売開始したことにより、約 256 万円と昨年度より 3.7 倍増加し、約 4.5 か月の休園期間や、開園中でも園内飲食禁止期間があったこと、また飲食スペース縮小などがあったにも関わらず、コロナ禍以前と同等の売り上げとなりました（図6）。オリジナル商品の売上は昨年度と同様に増加傾向があり、約 236 万円でした。本年度は 25 種のオリジナル商品を新発売しており、継続的にオリジナリティのある商品を販売できていること、ヒット商品を生み出していることが売り上げ増加につながったと考えられます。

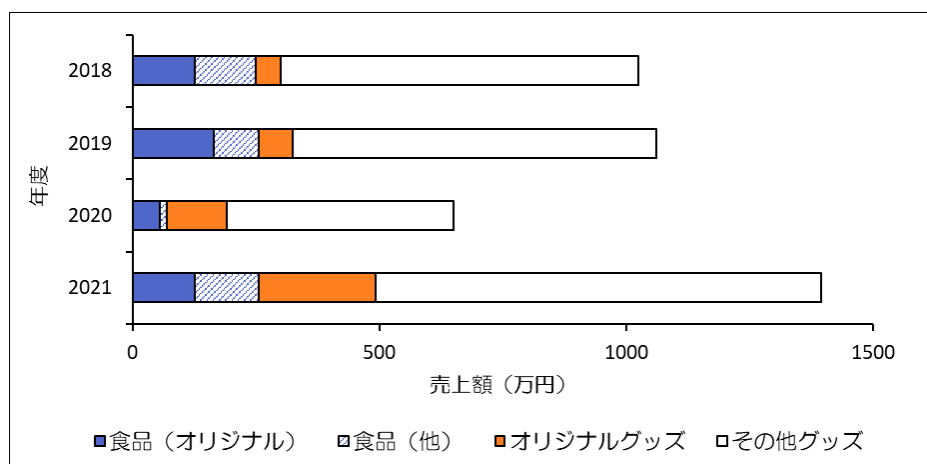


図 6. 各年度の年間売上額における内訳

各商品カテゴリにおける売り上げの内訳をみると、ぬいぐるみの売上額が約 288 万円ともっとも多く、そのうちの約 12%が新規取扱商品によるものでした（図7）。またオリジナルかつ新商品の多いマスクや、T シャツ・トートバッグなどの商品が売上上位に入っており、開発した商品が充分ヒットしたことが分かります。

全体で見ると、本年度の売上の約 17%がオリジナル新商品や新規取扱商品によるものであり、新規取り扱いに力を入れたことが成功したと考えられます。

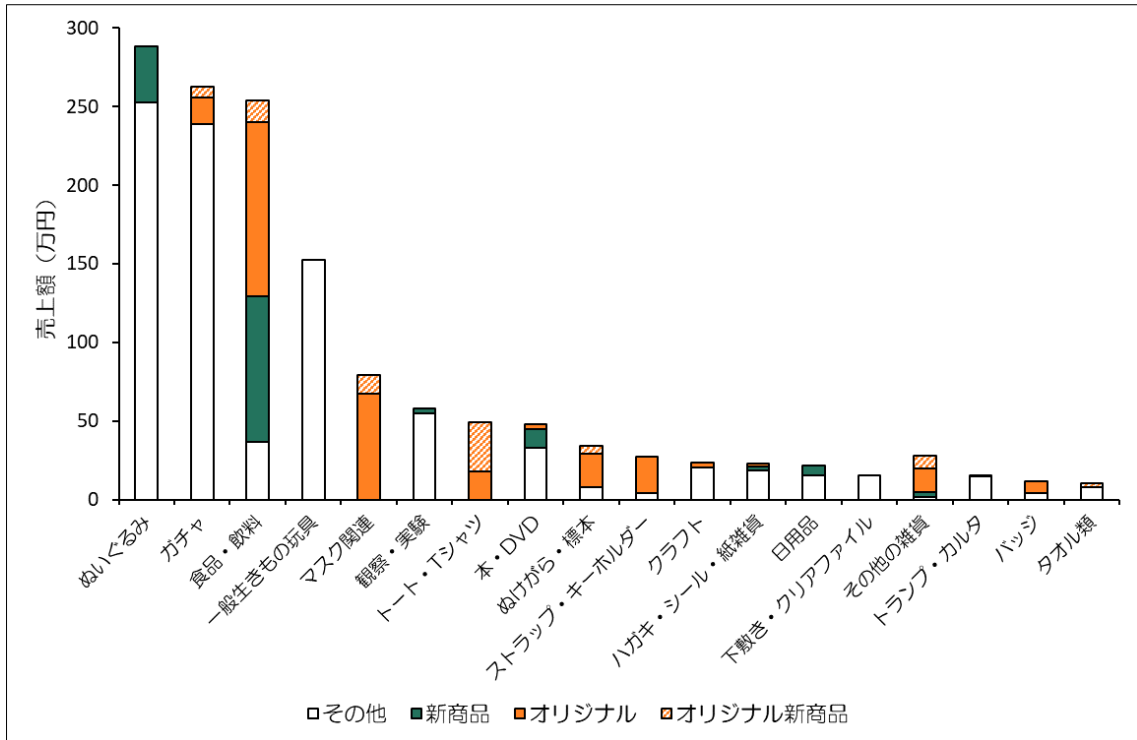


図7. 各商品カテゴリにおける売上の内訳

(4) キャッシュレス導入状況

今年度よりPOSシステムをAirレジに変更し、Airペイを導入することでミュージアムショップでのキャッシュレス化を果たしました。

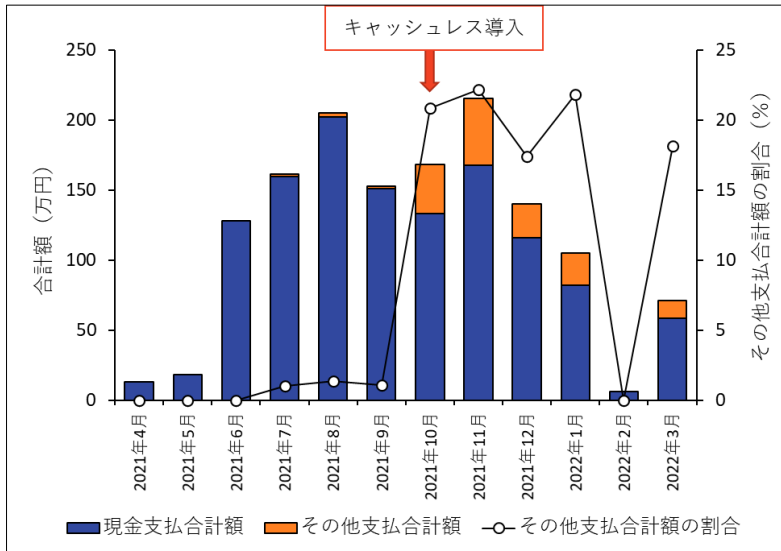


図8. 月ごとの支払額合計額の推移

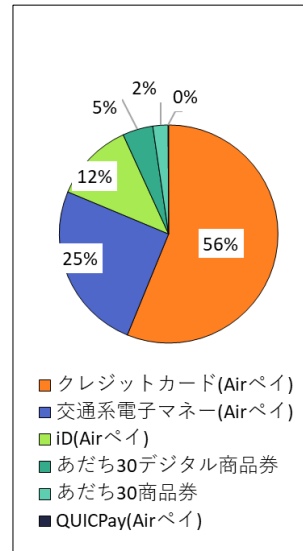


図9. その他支払合計額の内訳

月ごとの「現金支払合計額」と現金以外の「その他支払合計額」の推移をみると、Airペイによるキャッシュレス決済を導入した10月以降、常にキャッシュレスによる支払いがあり、その割合は売上合計額に関わらず約20%前後と安定しています(図8)。前年度のキャッシュレス希望調査では購入者の約2.1%からキャッシュレス決済の希望の



声がありましたが、実際はそれ以上の利用がありました。

現金以外のその他支払い合計額の内訳をみると、クレジットカードが50%以上と最も多く、次に交通系電子マネー、iDが続いています(図9)。また、PayPayによるQR決済を求める声が多数あるため、来年度はPayPayも導入し、キャッシュレス化が進む昨今のあらゆるニーズに応えていきたいと思います。

## (5) オンラインショップ

### ①利用状況・売上実績

感染症拡大に伴う休園を受け、生物園オンラインショップを2021年4月9日に開設しました。

今年度の購入者数は231人、商品売上合計額は750,243円でした。店舗に比べ、売上は18分の1以下と低めですが、客単価は3,248円と店舗の約4倍と高いです。

販売商品は主に、生物園のオリジナル商品や、生物園で見ることができる生きもののグッズ、また店舗で販売している区内企業の商品等を取り扱っています。加えて生物園応援グッズとしてオンライン限定のTシャツとマスクを販売開始しました。これらの商品の今年度の商品売上合計額は244,500円とオンライン売上の中で最も高かったです。さらに休園中はオンラインショップに生物園を応援する声が多数届きました(表1)。多くの方に生物園が地元施設として大事にされ、また学習施設として関心を持たれていることが分かりました。

表1. お客様の声

長く休園されているということで、わずかでも応援ができればと思います。頑張ってください
解除になったらまた遊びに行きたいと毎日子供が話しています。頑張ってください!
今は東京に行くには少し心配なので、応援するためにグッズをどんどん増やしていただきたいと思います。
臨時休業が延長されてしまい残念ですね。開園されるのを楽しみに待っています!
コロナ禍で厳しい状況が続いているかとは思いますが、頑張ってください。
コロナが落ち着きましたら子どもを連れて遊びに行かせて頂きます。
足立区生物園さんを知れたのが遅く、コロナのためまだ何うことができていないですが、いつもSNS等で可愛いお写真や動画を楽しませていただいています! この情勢が落ち着いたらぜひ足を運ばせていただきたいと思います

月別の売り上げをみると、開設した4月が最高額で、次いで5月、7月、11月が高くなっています(図10)。これは新聞・TVなどでの広報や、SNSでの大きな拡散があった時期と重なっています。

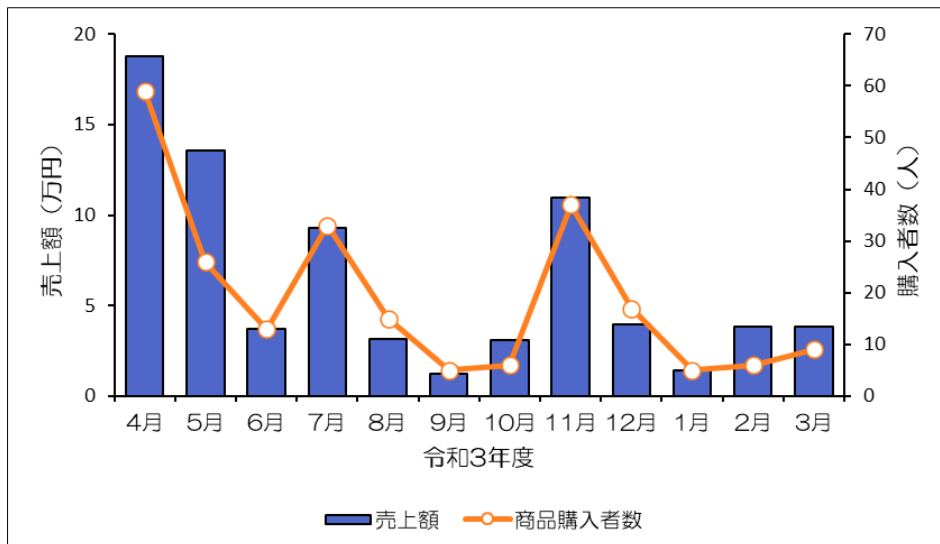


図 10. オンラインショップにおける月ごとの売上と購入者数

## ②購入者アンケート結果

よりよい運営や商品開発のため、オンラインショップでの商品購入時に任意でアンケートに答えて頂きました。

購入者の性別は約半数以上が女性で、年齢層は 30～40 代が最も多く、小さな子どもをもつ母親層からの人気もありました (図 11, 12)。また、20、50、60 代もそれぞれ 10%ほどの利用者があり、新聞や TV、SNS の広報によって幅広い世代に認知されたことが分かります。

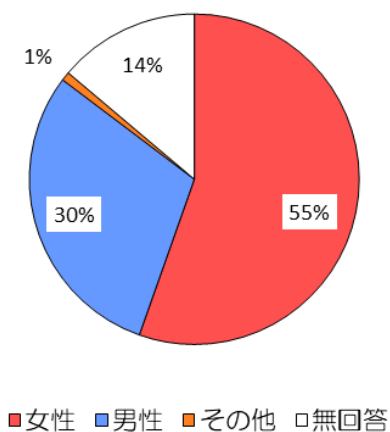


図 11. 購入者の性別

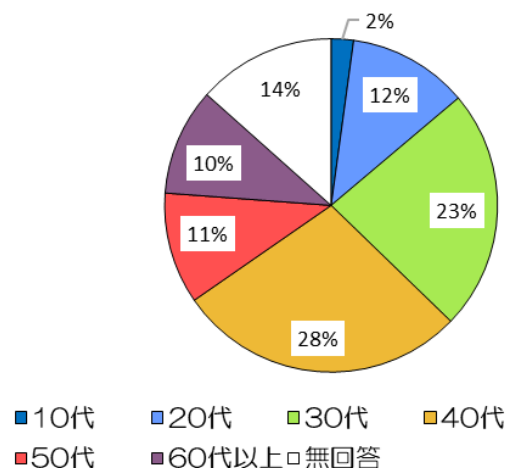
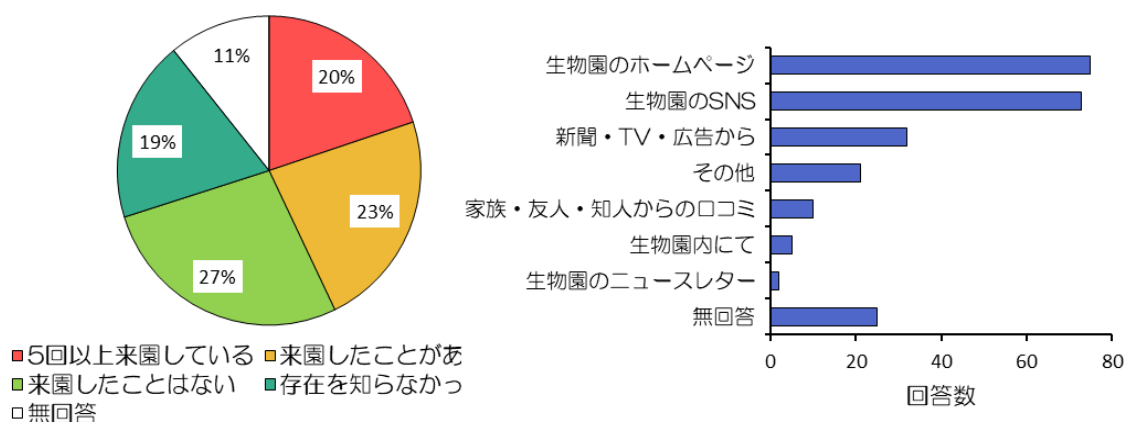


図 12. 購入者の年齢

購入者の来園経歴をみると、5回以上来園したことがある、来園したことがあると答えた人は合わせて 43%、一方来園したことがない、存在を知らなかったと答えた人は合わせて 46%とほぼ互角でした (図 13)。また、生物園オンラインショップを知ったきっかけ

け（複数回答可）は、HP と SNS からが最も多く、次いで新聞や TV となりました（図 14）。これらのことから、生物園を知らない人に、SNS や新聞・TV などでの商品の広報を通じて生物園の認知を広げられていることが分かります。



今後開発してほしい商品については、衣類やタオル、バッグ類等の要望が多くありました。また、チンチラや昆虫のグッズの開発を望む声が多く寄せられています。

アンケート結果を活かして、より多くの人に利用いただけるようなオンラインショップの運営に努めたいと思います。

## (6) 商品展開

ミュージアムショップは単なる「お土産屋さん」ではなく、生物園での体験や感動をアフターフォローできるようなグッズを提供することを目指しています。

### ①新規取引先

令和3年度に取り扱った商品は64企業663種で、**4法人と2個人**が新たに取引先として加わりました（表2）。

表2. 令和3年度 新規取引先一覧

取引先名	取り扱い商品
山本乳業株式会社	紙パックジュース類
合同会社 3.14	チンチラマスク
シフォンタイム合同会社	モルモルシフォンケーキ
repicbook 株式会社	昆虫館はスゴイ！
有尾社	両生類・爬虫類専門雑誌 Caudata
船岡直子	注染手拭い

山本乳業株式会社は生物園 2 階で長年アンパンマンジュースを販売していた会社で、今年度よりショップ内で販売する取引となりました。合同会社 3.14 は動物園などのオリジナル商品を手掛けているデザイン会社で、生物園のチンチラをモチーフにしたマスクを共同で製作いたしました（図 15）。



図 15. チンチラマスク

足立区内にあるシフォンケーキ専門店「シフォンタイム」とは、モルモルシフォンケーキを開発しました。シフォンケーキのふわふわしっとり感・季節の素材で色柄が変わる特徴から、モルモットをメインモチーフとし、中身によってモルモットの色柄も変わるユニークなパッケージシールを生物園スタッフがデザインしました（図 16）。repick book 株式会社からは、生物園スタッフ 2 名も執筆した新刊「昆虫館はスゴイ！」を卸しています。また有尾社からも生物園スタッフが執筆した記事が載っている雑誌「Caudata」を卸しています。足立区内の作家である船岡尚子さんからは、オオサンショウウオがモチーフの注染手拭を販売しています。



図 16. モルモルシフォンケーキ

②オリジナル新商品

本年度は企業との連携商品を 14 種、スタッフ制作の商品を 11 種の計 25 種の新商品を販売しました（表 3）。

表 3. 令和 3 年度 オリジナル新商品

・企業との連携新商品

企業名	商品名
K-Dash Design & ONION PRINT	生物園のモフモフ T シャツ
	まだらやどくがえる T シャツ
	生物園応援 T シャツ ステンドグラス蝶
	生物園応援 T シャツ ごきりん
	期間限定生物園応援 T シャツ 陸水空完全制覇 ケラ
	期間限定生物園応援 T シャツ ナナフシ
	生物園応援いきものマスク 2枚セット
	企画展限定いきものマスク ハンターな虫たち展&毒のある生きもの展
	企画展限定いきものマスク 金魚展
合同会社 3.14	生物園限定チンチラマスク
社会福祉法人あいのわ福祉会 足立あかしあ園	生きものタオル
有限会社クラ工業	蓄光でさなぎが光る！オオゴマダラトートバッグ
ニットキュア株式会社	生物園の羊毛糸～たっぷりバージョン～
シフォンタイム合同会社	モルモルシフォンケーキ

・スタッフ制作の新商品

販売月	商品名
2021 年 4 月	生物園応援グッズ 限定オリジナルカード&缶バッジ 2個セット
2021 年 4 月	ラベンダーサシェバッグ
2021 年 6 月	ハナカマキリのぬけがら
2021 年 6 月	ピラルクのうろこ
2021 年 6 月	ハンターな虫たち展限定シール（ガチャ）
2021 年 9 月	モルモルステッカー（ガチャ）
2021 年 9 月	金魚展 2021 限定シール（ガチャ）
2021 年 10 月	モフモフあいどる缶バッジ～生物園の体温（ぬくもり）のある生きものたち～（ガチャ）
2021 年 10 月	モルモルステッカー2（ガチャ）
2021 年 11 月	鳥の羽根
2021 年 11 月	かくれんぼ展オリジナルシール（ガチャ）

特に今年度は足立区内企業の K-Dash Design & ONION PRINT とのコラボ商品として様々な T シャツ商品を製作しました。オンライン限定の T シャツを 4 種、店舗でも新

たに2種のTシャツを販売し、Tシャツ商品の売上げがこれまでに比べ大幅に増加しました。「生物園のモフモフTシャツ」は生物園スタッフがデザインを手がけ、生きものたちのぬくもりを感じられるような温かみが子どもから大人まで人気となっています(図17)。

チンチラなどの生物園での人気動物の新商品が増えたことで、より広い客層への購買意欲へつながりました。



図 17. 生物園のモフモフTシャツ

また、新たにぬけがら商品として「ピラルクのうろこ」「ハナカマキリのぬけがら」「鳥の羽根」を販売しました。貴重な生物園の飼育生物から製作したオリジナル商品はここでしか買えないため、生きものに興味を持って生物園を訪れている客層に人気となっています。

また、企画展に合わせて作成したシールガチャ等のスタッフ手作り商品も好評でした。かくれんぼ展オリジナルシールは、実際の展示に使用しているイラストを用い、生きものの隠れ方がよくわかります(図18)。他のシールも単なる遊びとしてのシールではなく、企画展での学びを持ち帰ることができるグッズになるよう心掛けて製作しました。本年度のシールガチャは1500個以上を売上げており、100円という価格の安さと生物園に行った記念となるオリジナリティが人気であると考えられます。



図 18. かくれんぼ展オリジナルシール

いずれもオリジナリティのあるグッズの売上が好調であり、今後も定期的な新商品開発に力をいれることが重要です。

### ③足立区内施設との連携販売

足立区内施設での連携を深め、より多くの人たちにオリジナリティあふれる商品を届けられるよう、他施設の商品の連携販売を始めました。

足立区生物園では都市農業公園のオリジナルお煎餅とオリジナル手ぬぐいを販売（図19）、一方、都市農業公園では生物園オリジナルのチンチラマスクやリフレクター、チョウの観察シートを販売開始しました。

離れた施設同士の連携販売を充実させることで、お互いの施設の認知を広めていきたいと思えます。



図 19. 生物園での都市農業公園オリジナル商品販売

### (7) 年間売上ランキング

令和3年度に販売した商品のうち、総売上額の高い50品目をリスト化しました(表4)。50品目中15品目が生物園オリジナルグッズ、また8品目は本年度の新品目でした。これは、ショップスタッフが利用者のニーズをしっかりと把握し、商品の開発につながっている成果であると考えます。

表4. 令和3年度 年間売上ランキング ベスト50

順位	令和3年度	販売金額(円)	販売数(個)	総売上額(万円)	オリジナル商品	お土産研究会	食品	新品目
1	ガチャ商品	200~500	7,428	210				
2	ジュース	90~120	8,977	90				○
3	生きものパン	200	4,215	84	○	○	○	
4	いきものマスク キッズ	540	978	53	○	○		
5	プチボトル(詰め放題)	350	1,195	42				
6	クッキー	180	1,943	35			○	
7	昆虫4Dパズル	600	559	34				
8	化石 ガチャ	300	944	28				
9	立体昆虫図鑑	880	291	26				
10	飼育観察シリーズ	1300	183	24				
11	海の仲間たちシリーズ	150	1,442	22				
12	生物園100円ガチャ	100	1,657	17	○			○
13	SD ウサギ ぬいぐるみ	660	231	15				
14	mini beans ぬいぐるみ	440	350	15				
15	モルモルシフォンケーキ	240~260	575	14	○	○	○	○
16	ヤドクガエルTシャツ	1950~	68	14	○	○		○
17	モフモフTシャツ	2480~	53	14	○	○		○
18	いきものマスク 大人	580	239	14	○	○		
19	Little Beans ぬいぐるみ	530	243	13				
20	カンガルー ぬいぐるみ	1650	71	12				
21	ムニユST ぬいぐるみ	440	262	12				
22	SD モルモット ぬいぐるみ	660	173	11				
23	チンチラマスク	990	115	11	○	○		○
24	森のむしぬいぐるみ	1100	99	11				
25	KCぬいぐるみ	500~	143	11				
26	マリン4DパズルDX	600	161	10				
27	アクアフレンズソックス	440	220	10				
28	リフレクター	350	267	10	○	○		
29	ハビぬいぐるみ	2200	47	9				
30	日本の生きもの図鑑各種	1320	69	9				
31	いきものたるま	1320	69	9	○	○		
32	STぬいぐるみ	440~	167	9				
33	ヒョウモントカゲモドキ ぬいぐるみ	3080	29	9				
34	リボブロック	1320	67	9		○		
35	昆虫キーホルダー	590	148	9				
36	ケツメリクガメのたまご	240	357	9	○	○	○	
37	ハビ殻	990~	33	9	○			
38	リス ぬいぐるみ	1430	57	8				
39	いきものあわせ	1870~	43	8				
40	ハンドブック(虫)	1540~	45	8				
41	透明骨格標本	970~	35	7				
42	オオゴマダラのさなぎ殻	400	187	7	○			
43	おせんべい	140	284	7	○		○	
44	生物園200円 ガチャ	200	363	7	○			○
45	MGぬいぐるみ	275~	88	7				
46	フォトストラップ	200	356	7				
47	ムニユお手玉	330	213	7				
48	アニマニアぶる	1080	65	7				
49	昆虫館はスゴイ!	1760	41	7				○
50	アニマニア MG	1080	64	7				



### 3. サービス向上の取り組み

引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、通常提供している多くの利用者サービスを中止せざるを得ませんでした。しかしながら、コロナ渦の中、如何に生物園を安心安全に利用していただけるかを考え、できることをひとつずつ積み上げていくことが、サービス向上につながると考え、取り組んできました。

#### (1) インターネットの活用

##### ①ソーシャルネットワークサービス（SNS）の活用

今年度もコロナ禍の対策として直接的に来園者を増加させる取り組みが難しい中、引き続き自宅でも楽しめる SNS コンテンツの充実を図りました。その一つとして、Instagram のアカウントの新規開設があります。哺乳類を中心とした投稿で統一感を演出し、新規のファンを獲得できたと考えられます。また、令和2年度に開設したYouTube についても、ライブ配信などに取り組むことで、前年度と比較して多くの投稿数を結果として記録し、多数のチャンネル登録者に恵まれました。

→詳細は P.53～P.56 をご参照ください。

##### ②オンラインショップの新規開設

来園せずとも生物園オリジナルグッズ等を購入できるよう、今年度4月9日17時よりオンラインショップを新規に開設しました。ショッピングカートシステムはヤマトフィナンシャル株式会社の「らくうるカートお気軽プラン」、クレジット等の決済システムは「ヤマトWEB コレクト」を契約しました。

→詳細はP.20～22 をご参照ください。

##### ③リモートによる団体対応

新型コロナウイルス感染症対策のため、来園せずとも授業で生物園を活用できるようリモートによる団体対応や実習対応を行いました。さらに Dreamnight at the Zoo 生物園オンラインのプログラム対応も行いました。内容によって適切なサービス（Zoom、YouTube）も検討しました。

→詳細はP.42～P.43、P.36～P.37 をご参照ください。

#### (2) 無料招待券等の配布

親子支援課ひとり親家庭支援担当では、児童育成手当を受給しているひとり親家庭へ体験・経験機会の提供及び、ひとり親家庭同士の交流を促すことを目的に様々な体験事業を実施しています。生物園では「無料体験チケット（無料招待券）」を発行するという形で協力させていただきました。

また、ふるさと納税の返礼品としてや、区内外の様々なイベントに対し、無料招待券や年間パスポート引換券を提供することで、生物園の利用機会拡大を図るとともに、足立区及び生物園のプロモーションとしての効果が期待できると考えています。

無料招待券等の提供実績一覧

招待券提供事業	担当部署	発行枚数	有効内容
ふるさと納税 (あだち虹色寄附制度)	協働・協創推進課		1枚につき有料入園者1名まで無料
足立区親子支援「豆の木」 生物園無料体験チケット	親子支援課ひとり親 家庭支援担当	76	大人券:1枚につき大人1名無料
		56	小人券:1枚につき小人1名無料
令和2年度イクメン・イクジイ フォトコンテスト	男女共同参画推進係	21	1枚につき有料入園者2名まで無料
アニメ「天地創造デザイン部」 コラボレーション	エイベックス	5	1枚につき有料入園者4名まで無料
第10回あだちワンダフルCM グランプリ	報道広報課	4	大人券:1枚につき大人1名の年間パスポート
		2	小人券:1枚につき小人1名の年間パスポート
寄付の方		1	1枚につき有料入園者4名まで無料
中央図書館		64	1枚につき有料入園者1名まで無料
【足立区×バイオーム】 あだち生きもの図鑑をつくらう!	環境政策課	10	大人券:1枚につき大人1名の年間パスポート
		10	小人券:1枚につき小人1名の年間パスポート
第44回わんぱく相撲 墨田区大会参加記念	わんぱく相撲墨田区 大会実行委員会	250	1枚につき小人1名無料
光の祭典2021 デジタルイルミネーション	観光交流協会	10	1枚につき有料入園者4名まで無料

(3) 園内サイン・展示改修

昨年度の来園者増加を見越した展示改修を引き続き進めています。作業チームで洗い出した現状と課題から今年度具体的に進めた作業は、園内の案内サインの更新や新規作成、種名板の更新、展示パネルの更新などを行いました。次年度以降も利用促進の一環として順次、展示の改修を進めていきたいと考えています。

→詳細はP.45～P.47 をご参照ください。

(4) つくばエクスプレス各駅へのニュースレター設置

昨年より運行を開始した社会実験バス「ブンブン号」のPR活動の一環として、生物園のニュースレターを12月号からつくばエクスプレス全20駅に設置していただいています。部数は各駅40部(秋葉原駅のみ140部)、合計で900部です。今後、社会実験バスが本格運行に移行するまでの期間は継続していく予定です。

## (5) 新型コロナウイルス感染症拡大防止対策

「足立区新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドライン」に準じつつ、生物園では利便性と安全性を両立できるよう、状況に合わせた感染症対策を実施しました。

### ・授乳室

乳児連れも多く来園される施設のため、開園期間の利用は中止しませんでした。感染症対策として一度に使用できるのは1組のみ、使用後は必ずスタッフが消毒作業を行うようにしました。



授乳室表示

### ・図書コーナー

絵本や図鑑の閲覧を希望される来園者のため、図書コーナーを開放しました。感染状況や園内の混雑を考え平日のみとし、パーテーションや手消毒用アルコールの設置、利用は一度に2組までとしました。



図書コーナー

### ・車イス、ベビーカー

園内での貸し出しを希望される来園者のため、車イスは都度消毒を行いながら再開しました。一方のベビーカーは利用者が口に含んでしまうリスクや素材などを検討し、引き続き中止しています。

### ・プログラム

プログラムの中止判断は、緊急事態宣言の発令など世の中の状況を確認しながら、必要があれば周辺の小学校へヒアリングも行いながら進めました。また、実施する際には定員を減らしたり、参加前の検温や消毒の徹底を図るなど様々な対策を取りました。

## Ⅱ 展示解説業務

### 1. 展示解説実施および対応実績

生物園・元洲江公園を活用し、様々なプログラムを実施しました。自主事業では生物園のテーマ「ふれあい・いのち・共生」を踏まえた内容にすることを心掛けました。来園者がその場で気軽に参加できる「ふれあいプログラム」、生きものに関心や興味を持った方を対象に人数を制限して実施する「導入型プログラム」、導入型プログラムよりも踏み込んだ内容で少人数を対象にじっくり進める「発展型プログラム」を行いました。

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、一部プログラム、出張授業、職場体験、ボランティアなどを中止しました。また、一部プログラム、インターン実習、展示など実施できた事業に関しても、感染症対策のため受け入れの制限や内容の変更を行いました。

令和3年度イベント開催数など

番号	事業	回数	応募者数	参加者数	備考
1	当日募集	1100		20,291	
2	事前募集	22	38	687	
3	団体対応	5	0	170	} 団体対応
4	出張授業	3	0	189	
5	総合学習	15	0	31	
6	施設連携	7	0	275	対応者数
7	ボランティア	199	0	526	
8	特別展	5	0	0	
9	企画展	13	0	0	
	合計	1369	38	22,169	
	<b>事務事業評価の指標該当事業</b>	<b>1,339</b>	<b>38</b>	<b>21,504</b>	

令和3年度当日募集イベント開催数

番号	名称	回数	応募者数	参加者数	備考
	当日募集				
1	ちびっこプログラム	16		203	毎週水曜日
2	金魚すくい	4		1,548	
3	チョウを放そう	147		1,851	毎日
4	哺乳類のショー	10		229	毎月第二・第四土曜日
5	テッポウウオのごはん	149		1,932	毎日
6	サメのごはん	46		979	毎週火・木曜日
7	ピラルクのごはん	52		1,063	毎週火・木・土曜日
8	金魚のごはん	24		651	毎週日曜日
9	哺乳類・鳥類のごはん	107		1,638	毎日
10	チンチラのごはん	89		976	毎日
11	ネコのごはん	21		137	毎週水・金曜日
12	ヤギさんぽ	24		248	毎週火・木曜日
13	昆虫のごはん	123		1,308	毎日
14	ミツバチの飼育	3		62	毎週日曜日(雨天、冬季を除く)
15	ヘビのごはん	7		138	毎月第一・第三土曜日
16	リクガメのごはん	139		2,256	毎日
17	うんちで紙すき	1		50	
18	チリメンジャコから生きものを探そう	2		116	
19	はじめての飼育！ダンゴムシ	3		62	
20	ヒツジの毛でボール作り	6		174	
21	公園の自然物でフォトフレーム作り	2		54	
22	生きものを触ってみよう！	6		59	捕りにいこう展連動プログラム
23	生きものガイド	13		113	毎月第二・四土曜日
24	まーしー園長のガイドツアー	6		66	毎月第一土曜日
25	うらがわ探検ツアー	6		59	毎月第二日曜日
26	チョウの飼育体験	5		41	毎月第三日曜日
27	季節の見どころ	6		92	毎月第四日曜日
28	昆虫を育てよう！カマキリ	1		2	
29	昼のホタル観賞会	18		2,720	
30	顕微鏡で見てみよう！小さな生きもの	1		10	
31	スマホでできる！生きもの撮影テクニック	1		5	
32	発掘！生きもの博士～小学生クイズラリー～	1		80	
33	元洲江公園へ生きもの捕りに行こう！	3		14	捕りにいこう展連動プログラム
34	虫の音鑑賞会	1		64	鳴く虫night
35	スズムシ飼育教室	1		10	鳴く虫night
36	冒険あそび	56		1,281	
	小計	1100		20,291	

令和3年度事前募集イベント開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	事前募集				
1	生きものにクリスマスプレゼント!	1	86	22	
2	カブトムシを育てよう!	2	36	22	
3	ホテルのタベ	4	559	460	
4	Dreamnight at the zoo 2021 生物園	1	28	28	
5	家族で釣り教室	1	117	24	
6	セミの羽化観察会	2	137	29	
7	昆虫標本教室(カブトムシ)	1	26	12	
8	生きものの展示を作ろう	1	13	6	
9	標本教室「セミ」	1	10	10	
10	夜のカエル観察会	1	55	15	
11	鱗粉転写～チョウの翅を見てみよう～	1	46	10	
12	学校では教えてくれない!プランクトンのディープな世界～海編～	1	6	5	
13	家族でつり教室	1	114	18	
14	骨格標本作り	1	14	9	
15	解剖! サカナの研究会	1	12	5	
16	解剖! イカの研究会	1	5	5	
17	大人の飼育員体験	1	21	7	
	小 計	22	38	687	

令和3年度団体対応開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	団体対応				
1	生きものについて学ぼう(オンライン)	1		81	
2	町探検	1		7	
3	町探検(質問状)	2		59	
4	校庭や公園の自然を知ろう(オンライン)	1		23	
	小 計	5	0	170	

令和3年度出張授業開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
	出張授業				
1	秋の生きもの探し	3		189	
	小 計	3	0	189	

令和3年度総合学習開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	総合学習				
1	職場体験	2		4	対応者数
2	職場訪問	1		2	対応者数
3	インターン	10		12	対応者数
4	学芸員実習	2		13	対応者数
	小 計	15	0	31	

令和3年度ボランティア登録人数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	ボランティア				
1	昆虫飼育ボランティア	184		454	
2	公園花壇ボランティア	10		66	
3	プレーリーダー	5		6	
	小 計	199	0	526	

令和3年度施設連携開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	施設連携				
1	足立区中央図書館「出張プログラム」	1		65	
2	足立区中央図書館「出張展示」	1		120	
3	生涯学習センター 「桜の大敵！赤×黒のカミキリ虫 その脅威と生態」	1		10	
4	あだち再生館 「絶滅危惧種のチョウを守る ～足立区生物園の挑戦～」	1		7	
5	生涯学習センター「初めての飼育ダンゴムシ」	1		10	
6	都市農業「昆虫の標本づくりに挑戦」	1		6	
7	川口市立科学館「「ウンコづくり」」	1		57	
	小 計	7	0	275	

令和3年度特別展・企画展開催数

	名 称	回 数	応募者数	参加者数	備 考
番号	特別展				
1	毒の生きもの展	1			生きもの研究室
2	生きもの捕りに行こう！展	1			生きもの研究室
3	金魚展	1			生きもの研究室
4	かくれんぼ展	1			生きもの研究室
5	生きる骨(コツ)展	1			生きもの研究室
	企画展				
1	迫りくるクビアカツヤカミキリの脅威	1			むしむしコーナー
2	ハンターな虫たち展	1			むしむしコーナー
3	鳴く虫展	1			むしむしコーナー
4	ゴキブリ展	1			むしむしコーナー
5	絶滅危惧の昆虫展	1			むしむしコーナー
6	チョウを探しに出かけよう	1			チョウの飼育室
7	ツシマウラボシジミの保全活動	1			チョウの飼育室
8	挑戦！チョウの標本！	1			チョウの飼育室
9	食欲の秋！チョウの大好物は何だ！？	1			チョウの飼育室
10	チョウのファッションチェック～幼虫編～	1			チョウの飼育室
11	チョウのファッションチェック～成虫編～	1			チョウの飼育室
12	冬のチョウ	1			チョウの飼育室
13	害蟲展	1			休憩コーナー
	小計	18			

これらの展示解説業務の他にも、来園者からの生きものに関する質問や相談を受け、その場で柔軟に解説対応をするレンジャートークを行いました。今年度は感染症対策をした上で、生きもの研究室における解説員の常駐も徐々に再開しました。引き続き園内巡回時の対応も継続し、本年度は23,945回、63,905人に対応しました。

レンジャートークの年間対応数

(単位:回・人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
回数	0	0	2,215	2,732	3,568	3,052	3,302	3,886	2,430	1,255	0	1,505	23,945
大人	0	0	2,310	2,656	5,939	2,993	3,816	4,149	2,397	1,192	0	1,292	26,744
小人	0	0	3,706	4,551	3,273	5,088	5,510	6,477	4,049	2,002	0	2,505	37,161
対応人数	0	0	6,016	7,207	9,212	8,081	9,326	10,626	6,446	3,194	0	3,797	63,905



## 2. 夜間特別開園の実施

今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、夜間特別開園は実施していません。

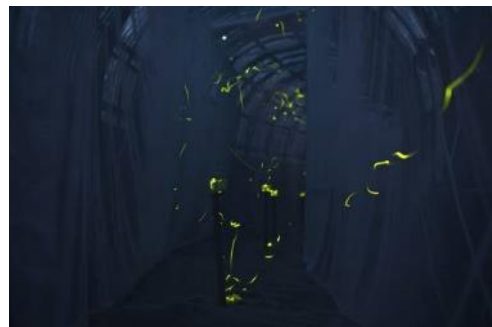
## 3. 参加型プログラムの実施

### (1) 特別イベント

年に数回、大きなテーマを定めた特別イベントを行いました。テーマに合ったプログラムをまとめて行うことで、様々な年齢層、対象の方が生物園を楽しめるよう工夫しました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、計画していた「さくらフェスタ」「わんフェス」は実施しませんでした。

内容	実施日	対応人数（人）			
		大人	小人	合計	
ホタルのタベ	6月3日～6日	287	173	460	
鳴く虫night!	虫の音鑑賞会	9月5日	33	31	64
	スズムシ飼育教室	9月5日	1	9	10
Dreamnight at the zoo 2021 生物園	3月19日～	14	14	28	
	計	335	227	562	

「ホタルのタベ」は事前申し込み制にて開催し、夜間特別開園は実施しませんでした。昆虫ドーム内ではスタッフの誘導により常時参加者同士の間隔を確保し、歩きながら飛び交うホタルを觀賞していただきました。また、ホタルにちなんだ展示を併設し、ホタルの光を楽しむだけでなく、その生態や足立区の歴史との関係を学んでいただきました。



ホタルのタベ

「鳴く虫 night!」では鳴く虫の音をテーマとし、鳴く虫の実際の鳴き声を聴くことができる鑑賞会やスズムシの飼育教室を開催しました。出会いの広場では鳴く虫の形態や生態について紹介し、庭園では鳴く虫を配置し来園者の方に実際の虫の音を体感していただきました。



鳴く虫展示

「Dreamnight at the zoo 2021」では、障がいをお持ちの方やその家族の方がオンラインでも生物園の生きものに関わっている気持ちになれるよう、「さわる」「きく」「かぐ」ことに注目したオンラインプログラムを作成しました。足立区立中央図書館に協力を依頼し、作成した「触って体感できるオリジナル絵本」や、「においを体験できる生きものの素材」を郵送にて届け、それらと足立区立中央図書館の方によるオリジナル絵本

の読み聞かせ動画の配信、動画サイトを利用した生きものの音の配信を組み合わせることにより、新型コロナウイルス感染拡大防止と両立したプログラムとしました。



絵本の読み聞かせ動画

## (2) ふれあいプログラム

ふれあいプログラムは来園者が生きものに触れたり、餌やりを見たりすることができるプログラムです。このように直接的にさわる、見るなどの体験は、未就学児のような低い年齢層の来園者にも、効果的に興味や関心を引き出すことができます。

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、哺乳類のふれあいは中止、餌やりなども十分な距離を取って見られるように定員を設けました。

### ふれあいプログラム内容一覧

内容	実施日	実施回数 (回)	対応人数 (人)		
			大人	小人	合計
ちびっこプログラム	毎週水曜日	16	97	106	203
金魚すくい	9月19日、20日、10月30日、31日	4	776	772	1,548
チョウを放そう	毎日	147	997	854	1,851
哺乳類のショー	毎月第二・第四土曜日	10	133	96	229
テッポウウオのごはん	毎日	149	1,091	841	1,932
サメのごはん	毎週火・木曜日	46	508	471	979
ピラルクのごはん	毎週火・木・土曜日	52	590	473	1,063
金魚のごはん	毎週日曜日	24	388	263	651
哺乳類・鳥類のごはん	毎日	107	1,003	635	1,638
テンチラのごはん	毎日	89	542	434	976
ネコのごはん	毎週水・金曜日	21	76	61	137
ヤギさんぽ	毎週火・木曜日	24	130	118	248
昆虫のごはん	毎日	123	638	670	1,308
ミツバチの飼育	毎週日曜日(雨天、冬季を除く)	3	31	31	62
へびのごはん	毎月第一・第三土曜日	7	68	70	138
リクガメのごはん	毎日	139	1,271	985	2,256
生きものにクリスマスプレゼント!	12月19日	1	9	13	22
うんちで紙すき	4月11日	1	22	28	50
チリメンジャコから生きものを探そう	5月29日、1月16日	2	53	63	116
はじめての飼育!ダンゴムシ	4月18日、5月3日、23日	3	29	33	62
ヒツジの毛でボール作り	5月2日、4日、15日、16日、1月15日、23日	6	65	109	174
公園の自然物でフォトフレーム作り	4月4日、25日	2	24	30	54
生きものを触ってみよう!	「捕りにいこう展期間」	6	10	49	59
計		982	8,551	7,205	15,756

本年度は23種類のふれあいプログラムを計982回15,756人に行いました。ちびっこプログラムでは親子で楽しく生きものに関わるきっかけの場となるよう、生きものモチーフのクラフトや公園の素材から宝物を探す体験など未就学児が参加しやすい工夫をしました。

### (3) 導入型プログラム

導入型プログラムは生きものに関心や興味を持った方を対象に実施しています。本年度は年間で計 63 回実施し 3,224 人に対応を行いました。

導入型プログラム対応数一覧

内容	実施日	実施回数 (日数)	対応人数 (人)			年間定員 (人)	参加率
			大人	小人	合計		
生きものガイド	毎月第二・四土曜日	13	45	68	113	130	87%
まーしー園長のガイドツアー	毎月第一土曜日	6	33	33	66	72	92%
うらがわ探検ツアー	毎月第二日曜日	6	25	34	59	60	98%
チョウの飼育体験	毎月第三日曜日	5	0	41	41	40	103%
季節の見どころ	毎月第四日曜日	6	46	46	92	90	102%
昆虫を育てよう！カマキリ	5月30日	1	0	2	2	12	17%
屋のホタル観賞会	6月27日～7月4日、12月4日～1月5日	18	1,371	1,349	2,720	2,700	101%
カトムシを育てよう！	7月22日、25日	2	0	22	22	20	110%
顕微鏡で見てみよう！小さな生きもの	8月29日	1	0	10	10	12	83%
スマホでできる！生きもの撮影テクニック	11月23日	1	5	0	5	5	100%
発掘！生きもの博士～小学生クイズラリー～	1月10日	1	0	80	80	100	80%
元洲江公園へ生きもの捕りに行こう！	「捕りに行こう展期間」	3	2	12	14	15	93%
計		63	1,527	1,697	3,224	3,256	99%

生きものガイドやうらがわ探検ツアーなどの定期的実施するプログラムは毎回テーマを変えているため、参加するたびに新しい発見や楽しみがあります。

不定期に行われるものでは「発掘！生きもの博士～小学生クイズラリー～」を実施しました。館内を回りながらクイズに回答することで、生きものへの理解を深めることを目的としています。生物園内全域を使い、生きもの種類も幅広く出題したことで、参加者が集中して観察する様子が見受けられました。過去のクイズプログラムよりも難易度を高く設定したため、高学年も真剣に取り組んでいました。問題を解き終わった参加者には答え合わせ用紙と参加賞のシールを渡しました。クイズ終了後も園内を回り観察している参加者が多く、生きものへの理解を深めるといった目的が達成できたと感じます。

### (4) 発展型プログラム

発展型プログラムは導入型プログラムよりも深く生きものや自然について学び、自然との共生や自分以外の生きものとの関わり方について考えることができる内容です。そのため、少人数に対して時間をかけて行うことが多いです。

本年度は年間で計 14 回実施し 155 人に対応しました。年間の総応募率は目標であった 120%を上回る 389%でした。

発展型プログラム対応数一覧

内容	実施日	実施回数	対応人数 (人)			定員(人)	参加率	応募人数(人)	応募率
			大人	小人	合計				
家族で釣り教室	5月9日	1	13	11	24	20	120%	117	585%
セミの羽化観察会	7月31日・8月1日	2	14	15	29	20	145%	137	685%
昆虫標本教室(カトムシ)	8月9日	1	0	12	12	10	120%	26	260%
生きもの展示を作ろう	8月7日	1	0	6	6	6	100%	13	217%
標本教室「セミ」	8月14日	1	0	10	10	10	100%	10	100%
夜のカエル観察会	8月21日	1	7	8	15	16	94%	55	344%
鱗粉転写～チョウの翅を見てみよう～	8月8日	1	0	10	10	12	83%	46	383%
学校では教えてくれない！ プランクトンのディープな世界～海編	9月26日	1	0	5	5	6	83%	6	100%
家族でつり教室	10月24日	1	9	9	18	20	90%	114	570%
骨格標本作り	12月26日	1	0	9	9	10	90%	14	140%
解剖！サカナの研究会	2月27日	1	0	5	5	6	83%	12	200%
解剖！イカの研究会	3月21日	1	2	3	5	6	83%	5	83%
大人の飼育員体験	3月27日	1	5	2	7	6	117%	21	350%
計		14	50	105	155	148	105%	576	389%

「夜のカエル観察会」では、カエルの生態の観察を通して、身近な自然環境の重要性に気づくことを目的にプログラムを実施しました。参加者は夕方に集まり、観察する予定のカエルについての説明を受け、カエルの糞の調査を行った後、庭園にて野生のカエルの行動の観察や、個体数の調査を行いました。アンケートには「カエルのとくちょうや食べる物生そく場所などをしてカエルの生き方はおもしろいと思いました。」「自然を大事に視点と角度を変えて見ることを学ばせていただき有り難うございました。」といった記述があり、参加者たちが身近な自然環境を普段と違った視点から観察していた様子が伺えました。

「解剖！イカの研究会」は中学生以上を対象に実施しました。解剖観察を通してイカが生きていくために身につけた体の工夫を知り、生きものの生存戦略や形態に興味を持つことで、観察意識を高めることが目的のプログラムです。参加者はイカの生態について解説を聞いた後に解剖を行いました。人の体のつくりと比較しながら解剖を進めることで、1つ1つの臓器がもつ役割への理解が深まったようです。アンケートには「墨汁とイカ墨を比べて実験をしたのが楽しかった。」「この解剖のように他の生きものもやってみたいと思いました。」といった記述がありました。中学生も参加しており、今後の理科の授業に向けて、解剖に関する知識や意識を身につけることもできたと思います。



解剖！イカの研究会

「大人の飼育員体験」では生物園の社会的役割を伝えることで、自然に関わることに興味を持ち、自分の身の回りのできる活動（生物多様性保全のための活動など）を考えるきっかけを作ることを目的に実施しました。7人が参加し、サカナコース、哺乳類コース、昆虫コース、爬虫類両生類コースに分かれて実施しました。各チームでは生物園がレクリエーションの場としてだけでなく、教育や希少な生きものの保全を行う場でもあることを飼育業務を通じて丁寧に伝えていきました。アンケートには「生物多様性を知るきっかけになったし、今後も感心を持って取り組めることをやっていきたいなと思いました」、「大量のえさの準備などたくさんの仕事をこなしているのはすごいと思いました。また、違法に飼育されていた生物がたくさんいることが心にのこりました」という記載があり、参加者にとっても生物園にとっても生きものの未来を考えることができる人を増やす有意義なプログラムになったと思います。

#### 4. ボランティア活動

本年度も生物園の活動を助けるボランティア活動を行いました。生物飼育の補助を行う「昆虫飼育ボランティア」と公園の草花の管理を行う「公園花壇ボランティア」の2つのボランティアを運営しました。ぼうけんあそびのプレーリーダーは、令和4年度の運営を目指し、募集と講習、研修を行いました。来園者への解説対応を行う「生きものふれあいボランティア」、専門学校生や高校生による「学生ボランティア」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止しました。

##### (1) 昆虫飼育ボランティア

昆虫飼育ボランティアは、展示昆虫、餌用昆虫の飼育や、餌用植物などの管理を行うボランティアです。活動はボランティア登録者が任意の日付と時間を選び活動を行う通常の活動と、昆虫ドームなどの展示施設の整備を行う定期的な活動があります。また参加者向けの講習会なども行いました。

昆虫飼育ボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間
通常活動	回数	15回	0	8回	24回	21回	19回	28回	28回	15回	17回	0回	5回	180回
	参加人数	44人	0	17人	51人	31人	28人	53人	59人	47人	28人	0人	6人	364人
講座など	内容	説明会	チョウ飼育・安全管理											
	参加人数	20人	30人											90人
計														454人
備考	4/25～6/20 活動休止											1/26～3/21 活用休止		

本年度は43人の登録がありました。感染症流行により活動休止期間もありましたが、年間184回、のべ454人の参加がありました。主な活動は、飼育補助や消耗品の作成。植替えや害虫駆除など屋外作業も実施しました。また、講習会を実施し、飼育補助の技術を高めるための飼育講座を行いました。通常活動に加えてこれらの講習会を行うことで、活動意欲の向上につなげることができました。

感染症対策のため、密にならない人数での活動実施(各作業場所を1人ずつ)とし、講習会もオンラインで行いました。

##### (2) 公園花壇ボランティア

公園花壇ボランティアは、元洲江公園内の花壇や草木管理を行うボランティアです。毎月第二木曜日を活動日としており、花壇の植え替えや除草など、草花の維持管理に貢献していただきました。本年度は9人の登録があり、年間12回の実施を予定していました。しかし、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置による不要不急の外出自粛(5月、2月)を受けた結果、年間10回の実施・延べ人数66人の参加となりました。

公園花壇ボランティア活動一覧

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	
通常活動			0回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	1回	0回	1回	9回	
	参加人数		0人	8人	1人	7人	5人	9人	8人	7人	7人	0人	5人	57人	
講座など	内容	説明会												1回	
	参加人数	9人												9人	
													計	66人	
備考		4/25～6/20 活動休止										1/26～3/21 活用休止			

今年度の新しい取組みとして、20 m<sup>2</sup>程度の小さな面積ではありますが、「ボランティア花壇」の運用を開始しました。ここでは、元湊江公園で見ることができなかった季節を代表する花種である、ヒマワリ・コスモス・菜の花を種から育てる花壇に設定しました。季節のサイクルを感じさせる新しい花壇の誕生に、多くの利用者からお褒めの言葉をいただいております。また、ヒマワリの種や菜の花の間引き菜などを生物園の飼育動物の飼糧にすることで、モットーと掲げる「生きものとの共生を目指す花壇作り」を達成しております。

今年度はコロナ禍の中で可能な範囲でのボランティア活動に留まりましたが、限りある活動の中においても公園の魅力向上に大きく貢献していただきました。次年度は「ボランティア花壇」を増設することで、さらなる公園の魅力向上を図ると共に、お花を育てる楽しみをボランティアのみなさんと一緒に一般来園者の方々に向けて伝えていきたいと考えます。

(3) プレーリーダー

プレーリーダーは、「ぼうけんあそび」の際に参加者を見守ったり、共に遊んだりすることで、参加者の心の成長を後押ししていく存在です。活動はプレーリーダー登録者が任意の日付を選んで行います。月に1回以上の参加が条件です。

		1月	2月	3月	年間	
通常活動	回数	0回	0回	3回	3回	
	参加人数	0人	0人	4人	4人	
講座など	内容	説明会/講習会		説明会/講習会	2回	
	参加人数	1人		1人	2人	
					計	6人
備考		1/22～3/21 活動休止				

本年度は説明会兼講習会と活動の研修を行いました。講習会では生物園スタッフによる安全管理に関する話と東京未来大学の横畑先生による遊びに関する話を聞いていただきました。現在2人の方が活動の研修中で、年間5回の実施・延べ人数6人の参加となりました。来年度より本格的に活動をしていく予定です。

## 5. 団体対応

生物園には幼稚園、小・中学校などの教育施設はもちろん、デイサービスなどの介護施設、一般団体など年間を通してたくさんの団体利用がありますが本年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、団体利用は中止としリモート対応を中心に実施しました。また、それ以外の団体対応として、園外へ出張して行う出張授業や、中学校・専門学校、大学への実習対応も行いました。

### (1) 団体プログラム

園内でのプログラム対応を行った団体は、のべ4団体、計147人でした。感染症対策のため、リモート対応が中心となり、生きものの質問や生物園の紹介など、電話やFAXによる質問状やオンライン授業で回答しました。

団体プログラム活動一覧

プログラム内容	回数 (回)	対応人数 (人)		
		大人	小人	合計
生きものについて学ぼう(オンライン)	1	3	78	81
町探検	1	1	6	7
町探検(質問状)	2	1	58	59
計	4	5	142	147

### (2) 出張授業

本年度も小学校を対象とした出張授業を行いました。結果、小学校3校に実施し対応人数は計189人でした。実施したプログラムは1年生や2年生生活科の授業に合わせた「生きもの探し」で、感染症対策のため屋外での実施としました。

出張授業活動一覧

実施日	団体名	プログラム内容	回数 (回)	対応人数 (人)		
				大人	小人	合計
10月14日	西新井第二小学校	秋の公園で生きものを見つけよう!	1	4	42	46
10月12日	足立区立長門小学校	校庭の生きもの探し	1	4	40	44
11月19日	伊興小学校	きせつとなかよし 秋	1	6	93	99
合計 3団体			3	14	175	189

### (3) 教職員向け講座

小学校の教員を対象とした講座を用意しました。本年度は「文京区立小学校理科部会」の教員を対象としたオンラインプログラム「校庭や公園の自然を知ろう」を実施しました。事前に教員から、校庭や公園の周りで見られる自然や生きものについて知りたいとの要望を受けたことから、校庭や公園で見られる代表的な生きものの観察ポイントや自然環境とのつながり、理科授業で生かせる内容についてお伝えしました。

教員向け講座活動一覧

プログラム内容	回数 (回)	対応人数 (人)		
		大人	小人	合計
校庭や公園の自然を知ろう(オンライン)	1	23	0	23
計	1	23	0	23

(4) 実習対応

本年度は職場体験・訪問、インターン、学芸員実習と4種類の対応を行いました。

① 職場体験

感染対策のため申し込みは3校と少なく、うち1校は中止となりました。解説業務や飼育作業などの体験を通し、将来設計に対する選択の幅が広がり、新たな気づきが得られたように思います。

職場体験対応一覧

実施対象	体験開始日	期間 (日)	対応人数 (人)	
			対応人数	のべ対応人数
第六中学校	6月29日	2	2	4
都立足立西高校	11月10日	3	2	6
計		5	4	10

② 職場訪問

職場訪問は1校2人に対応を行いました。感染症対策のためリモートで実施しました。飼育生物数や種数、生物園設立の経緯、仕事へのやりがいなどの質問がありました。

職場訪問対応一覧

実施対象	実施日	対応人数 (人)
東京都立大島高校(オンライン)	7月28日	2
計		2

③ インターン

インターンは専門学校や大学など10回12人、のべ193人に対応を行いました。生物学や飼育を専門にする学生に対し、キャリアアップのため実践的な飼育や解説体験を行いました。感染症対策のため原則一人一人ずつの受け入れとしました。



インターン対応一覧

実施対象	体験開始日	期間 (日)	対応人数 (人)	
			対応人数	のべ対応人数
大宮国際動物専門学校	10月1日	5	1	5
東京コミュニケーションアート専門学校	10月1日	15	1	15
東京コミュニケーションアート専門学校	10月6日	15	1	15
埼玉動物海洋専門学校	10月6日	12	1	12
東京動物専門学校	10月21日	30	3	90
東京コミュニケーションアート専門学校	11月20日	14	1	14
日本ペット&アニマル専門学校	11月20日	14	1	14
玉川大学	11月21日	10	1	10
日本ペット&アニマル専門学校	12月7日	11	1	11
大宮国際動物専門学校	12月13日	7	1	7
計			12	193

④ 学芸員実習

学芸員実習は大学での学芸員資格を取得するために必要な実習で、2回13人、のべ76人に対応を行いました。感染症対策のため、博物館に必要な展示やプログラム作成に関する講習をオンライン対応で実施しました。生物飼育実習に関しては一校のみ対応しました。

学芸員実習対応一覧

実施対象	体験開始日	期間 (日)	対応人数 (人)	
			対応人数	のべ対応人数
帝京科学大学	8月23日	6	6	36
東京農業大学	8月23日	6	2	12
日本大学	8月23日	6	1	6
明治大学	8月23日	6	1	6
日本獣医生命科学大学	8月23日	6	1	6
北里大学	8月23日	6	1	6
北里大学	12月7日	4	1	4
計			13	76

## 6. 展示による解説

### (1) 園内表示

昨年度に引き続き、屋外の種名板を更新しました。屋外では雨や日光による色落ちを考慮し、UV 対応のラミネートを使用しています。さらに屋内よりも広めの展示場となっていることから、種名板を大きくすることで遠目からでもわかりやすくなる工夫をしました。

また、園内各所にある案内サインを更新しました。ベースカラーは各展示のコンセプトを元にしてあります。アイコンは主線をなくし色数を減らすことでシンプルに見やすくすることに努めました。さらに案内サインが混在していた場所は必要最低限の数に抑えることで情報量を整理し、案内が不足していた箇所に案内サインを追加しました。



追加 案内サイン



更新前 案内サイン

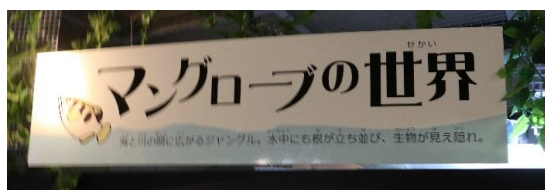


更新後 案内サイン

### (2) 常設展

園内各所にあるタイトルパネルのデザインを更新しました。展示ごとのコンセプトに合わせた色をベースにし、展示イメージに合った生きものなどのアイコンを採用しています。また、ベースとなる色やアイコンを案内サインと統一することで、利便性の向上に努めました。さらに案内サインのみだった展示場にタイトルパネルを追加することでそのコンセプトや雰囲気は伝わるよう努めました。

観察展示室内のパネルは、暗い中でもデザインがわかりやすいよう、白をベースにしたデザインとなっています。また、展示ごとの環境をデザインすることで、視覚的に水槽内の雰囲気を体験できるようにしています。



更新前 観察展示室タイトル



更新後 観察展示室タイトル

### (3) 特別展・企画展

来園者にいつ来ても新鮮な内容で楽しめるように定期的に入れ替える展示を園内各所で行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のための休園により、特別展 1 回と企画展 2 回が中止となりました。

#### ① 特別展

特別イベントや特別な生体展示と合わせて開催される展示で、本年度は 5 回開催しました。全ての特別展が生きもの研究室全体を使った比較的大規模な展示です。

本年度は、新規展示として「かくれんぼ展」を開催しました。展示中はハンズオン展示に力を入れました。特に「かくれんぼ展」の「かくれてみよう」では、生きものの隠れる動きを体感できるよう、展示室内各所に隠れる場所を設置しました。



「かくれんぼ展」

#### 令和 3 年度特別展開催実績一覧

タイトル	開始	終了	展示場所
毒の生きもの	6月1日	7月4日	1階 生きもの研究室
生きもの捕りに行こう！	7月7日	9月5日	
金魚	9月9日	10月24日	
かくれんぼ	10月27日	1月10日	
生きる骨	3月23日	3月31日	

#### ② 企画展

企画展は比較的小規模な展示で、本年度は 13 回の企画展を園内各所で行いました。本年度はコロナ対策として規模を縮小しました。しかし新規展示として、むしむしコーナーでは「絶滅危惧の昆虫展」、チョウの飼育室では「挑戦！チョウの標本！展」を開催しました。





「絶滅危惧の昆虫展」



「挑戦！チョウの標本！展」

令和3年度企画展開催実績一覧

	タイトル	開始	終了	展示場所
	迫りくるクビアカツヤカミキリの脅威	6月1日	7月11日	2F むしむしコーナー
	ハンターな虫たち	7月14日	8月31日	
	鳴く虫	9月3日	10月3日	
	ゴキブリ	10月6日	1月10日	
	絶滅危惧の昆虫	3月23日	3月31日	
	チョウを探しに出かけよう	6月1日	7月4日	1F チョウの飼育室前
	ツシマウラボシシジミの保全活動	6月1日	10月3日	
	挑戦！チョウの標本！	7月8日	8月31日	
	食欲の秋！チョウの大好物は何だ！？	9月1日	11月14日	
	チョウのファッションチェック～幼虫編～	10月5日	12月28日	
	チョウのファッションチェック～成虫編～	11月16日	3月31日	
	冬のチョウ	1月2日	3月31日	
	害虫展	9月7日	9月26日	

## 7. 印刷物による解説

### (1) セルフガイド

セルフガイドは生物園の展示をより楽しめるような生きものなどに関する情報や家庭でできるプログラムや生きもの飼育についてまとめた配付物です。A4 白黒三つ折で、手軽に持ち帰ることができるようになっています。

2021年度		配布数												合計
No	セルフガイドタイトル	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
02	しいきシリーズ① カブトムシ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
05	流水の天使クリオネ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
06	標本をつくろう！カブトムシ編	0	0	7	12	14	0	0	0	0	0	0	0	33
08	標本をつくろう！チョウ編	0	0	45	14	0	0	0	0	0	0	0	0	59
10	ハチミツとミツバチ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	干潟の生き物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
12	ミクロの世界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	ホテルのふしぎ	0	0	169	73	0	0	0	0	72	68	0	0	382
14	うんちのひみつ	0	0	31	9	0	0	0	0	0	0	0	0	40
15	アリの世界	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	水生昆虫大研究	0	0	235	45	0	0	0	0	0	0	0	0	280
17	チョウのうんこ染めに挑戦	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
18	鳴く虫のはなし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19	カエルがわかる	0	0	402	38	0	0	0	0	0	0	0	0	440
20	虫の冬ごし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21	東京の生物多様性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
22	歯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
23	生きもの伝説ウソ?!ホント?!	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
24	セミの見わけ	0	0	0	20	0	0	0	0	0	0	0	0	20
25	ダンゴムシ	0	0	46	0	0	0	4	0	0	0	0	5	55
26	生きものっていい漢字！	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
27	イモムシのエサさがし	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
28	むしとりをしよう！	0	0	0	182	148	0	0	0	0	0	0	0	330
29	金魚を飼う	0	0	174	72	0	0	0	0	0	0	0	0	246
30	とぶ生きもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	カマキリ	0	5	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	9
32	ナミアゲハを飼う	0	23	212	88	0	0	0	0	0	0	0	0	323
33	虫たちの巣	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	池で釣りを楽しもう	0	0	35	45	0	0	0	0	0	0	0	0	80
35	夜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	ゴキブリいろいろ★	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
37	うたのなかの生きもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
38	カタツムリ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
39	熱帯と亜熱帯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
40	バッタを飼う	0	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	4
41	公園の野鳥	0	0	61	0	0	0	0	0	0	0	0	0	61
42	知ろう遊ぼう荒川	0	0	238	37	0	0	0	0	0	0	0	0	275
43	ザリガニ	0	0	163	52	0	0	0	0	0	0	0	0	215
44	群れの生きもの	0	0	138	72	0	0	0	0	0	0	0	0	210
45	へび	0	0	354	188	0	0	0	0	0	0	0	0	542
46	海のはらっぱ～アマモ～	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	20	20
47	生きもの跡探し	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	20	20
	合計	0	28	2310	947	162	0	12	0	72	68	0	5	3604

本年度はセルフガイドを 3,604 部配布しました。感染症対策のための臨時休園期間があったことに加え、用紙の経費削減及び、接触による感染症の拡大を考慮し、設置箇所・配布数を必要最低限に絞ったため、昨年度よりも配布数が大幅に減っています。2 種新規作成し、既存のセルフガイドを見直して 1 種リニューアルを行いました。

新規作成は足立区から一番近い海東京湾に残されたアマモ場を知るきっかけ作りと生物園のアマモの世界水槽をより楽しんでいただけるよう「海のはらっぱ～アマモ～」と、プログラムとしても人気のある「生きもの跡探し」をテーマとし、冊子を持って実際に跡探しをしてみたいくなるような内容にまとめました。リニューアルを行ったのは「鳴く虫のはなし」で、情報の整理・イラストの充実・動画の QR を掲載し、より読みやすく、理解しやすいものになりました。

## (2) ニュースレター

ニュースレターは A4 両面フルカラーの印刷物で、表面は生物園の展示やプログラムなどのイベント案内を中心とした広報媒体ですが、裏面には解説的な内容を掲載しています。広報媒体に解説的な内容を織り込むことにより、ニュースレターをより読みたくなるようにしました。

裏面の内容にはそのときに見ごろの生きものについて紹介した「生きものみどころ情報」、スタッフの目線で生きものや自然の楽しみ方を紹介する「解説員のひとりごと」、クイズやゲームなどのお楽しみ要素を生物園風に作成した「ちょっとひといき」の計 3 コラムを掲載しました。

6 月号は再開園の目途が立っていなかったこともあり、紙媒体での発行を中止していますが、生物園の HP 上では今まで通り閲覧できています。8 月号は裏面の掲載情報の削減として「ひとりごと」の掲載を中止しました。3 月号は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、生物園が臨時休園をしていたため休刊となりました。

### ニュースレター裏面のコラム一覧

	4月	5月	6月	7月	8月	9月
生きものみどころ情報	アヒル	ニホンアマガエル	ゲンジボタル	オオカンガルー	シロオビアゲハ	ミズクラゲ
解説員のひとりごと	春の昆虫観察のスメ	散歩と野鳥観察	雨上がりの足跡巡り	休園期間にできた宝物	掲載なし	鮮度を知らせる使者たち
ちょっとひといき	どの虫の写真？	テントウムシの点の数を数えよう！	いきものさがし	ウツボから逃げろ～！	セミの鳴き声あみだ	ぬりえ

	10月	11月	12月	1月	2月	3月
生きものみどころ情報	ウツボ	モルモット	ワライカワセミ	タカアシガニ	ハナカマキリ	休刊
解説員のひとりごと	葉っぱの上の小さな職人	ケニアでの3年間	シマヘビが教えてくれたこと	独特で魅力的なチョウの幼虫	地を走る宝石に魅了されて・・・	休刊
ちょっとひといき	おいしそうな名前の生きものを探してみよう	めいろ！ ～落ち葉をめざして～	ゲンゴロウは何を食べるかな？	かくれんぼしてるのはだれ？	オカメインコってどんなかな？	休刊

## 8. 元洲江公園における「ぼうけんあそび」事業



本事業は 2019 年 4 月より、子どもの居場所作り推進を目的に開始しました。今年度は昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定員や活動制限を設けたやり方で「ぼうけんあそび」を実施しました。

毎週水曜日の 13:30～16:00 と毎月第二、第四土曜日の 10:30～16:00 に中学生までを対象に各回 20 分、定員 5 人で実施しました。常連となった子が新しく友達を連れてくることも増え、少しずつ地域の子もたちちに認識されてきています。

子どもたちの自主性を尊重し、受付に来た際に「何をしたいか」を尋ね、できるだけ参加者全員が関わり合って遊べるよう、内容を決めていきました。遊んでいくうちに参加者同士が衝突することもありましたが、人との距離感やみんなが楽しめるあそびのルール作りなどを少しずつ学んでいる様子が見受けられました。

小学校であまり仲がよくないグループ同士が「ぼうけんあそび」にて鉢合わせした際、片方のグループは帰宅してしまいました。しかし 2 週間後、再び同じ状況になった際はお互いの距離が少し縮まり、一緒に大縄であそぶことができました。子どもたちの話をよく聞き、

信じて見守るスタッフが近くにいることが、子どもたちの心に変化をおこした出来事でした。

### ぼうけんあそび実施一覧

	水曜			第二・第四土曜		
	実施回数	中止回数(理由)	参加者数※	実施回数	中止回数(理由)	参加者数※
4月	4回		66人	2回		81人
5月	4回		115人	3回		61人
6月	5回		124人	2回		103人
7月	4回		103人	2回		95人
8月	3回	1回(コロナ対策)	79人	1回	1回(コロナ対策)	4人
9月	0回	5回(コロナ対策)	0人	0回	2回(コロナ対策)	0人
10月	4回		38人	2回		47人
11月	4回		37人	2回		47人
12月	4回		46人	2回		28人
1月	3回	1回(コロナ対策)	91人	2回		49人
2月	0回	4回(コロナ対策)	0人	0回	2回(コロナ対策)	0人
3月	2回	3回(コロナ対策)	50人	1回	1回(コロナ対策)	17人
計	実施回数		中止回数	参加人数		
	56回		20回	1281人		

※対象が小学生以下のため、付き添いの保護者はカウントせず

また、参加者名簿から各参加者の参加回数や複数回参加している参加者の数などをカウントし、リピート率とリピーター率を算出しました。今年度のリピート率は57.4%、リピーター率は36.8%で、共に昨年度の実績を大きく上回る結果となりました。

これは、元渚江公園における「ぼうけんあそび」が子どもたちの居場所として定着している一つの指標と考えられます。現在は、新型コロナウイルス感染症の影響で、多くの制約の中での活動となっていますが、確実に地域の子どもたちにとって必要な場となっていると考えます。

### ぼうけんあそび リピート率およびリピーター率の実績

全参加回数 (のべ参加者数)	リピート回数	実参加者数	リピーター数
1281	735	551	203
リピート率 (リピート回数/全参加回数)		リピーター率 (リピーター数/参加者数)	
57.4%		36.8%	

※リピート回数:参加回数-初回

※リピーター数:複数回参加した人の数

### ぼうけんあそび リピート率およびリピーター率の変化

リピート率 (リピート回数/全参加回数)			リピーター率 (リピーター数/実参加者数)		
令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
5.1%	29.2%	57.4%	5.0%	16.4%	36.8%

### Ⅲ 広報活動

#### 1. メディア対応と掲載・放映の実績

##### (1) メディアへの情報配信

コロナ禍以前は毎月実施していた「各月のプログラム情報」の定期配信、並びに大型イベントやショップの新商品発売についてのプレスリリースは臨時休園が続く中において、年度当初想定していたようには実施ができませんでした。

今年度の情報発信記録は以下の通りで、配信先は令和4年3月31日で現在17件です。

令和3年度 情報発信記録

配信日	リリース内容
4月13日	生物園オンラインショップ開設のお知らせ
8月3日	9月のプログラム情報
9月1日	10月のプログラム情報
10月1日	11月のプログラム情報
11月1日	12月のプログラム情報
12月1日	1月のプログラム情報
1月1日	2月のプログラム情報
3月11日	Dreamnight at the Zoo 2021生物園オンラインを開催

令和3年度 情報定期配信先一覧

NO	配信先名
1	ジェイコム足立
2	朝日新聞とうきょうマリオン
3	読売新聞 江東支局
4	東京新聞ショッパー さいたま支社
5	足立区観光交流協会
6	足立朝日
7	足立よみうり
8	足立経済新聞
9	株式会社 ぱど
10	読売新聞 シティライフ
11	竹ノ塚地域学習センター
12	保塚地域学習センター
13	サンケイリビング新聞社 東京本部
14	株式会社かみゆ(日経DUAL)
15	足立区福祉部親子支援課一人親家庭支援担当
16	サンケイリビング新聞社 東葛本部
17	あだち百景

##### (2) 掲載・放映実績

本年度は、103件のメディア掲載・放映がありました。臨時休園などもあり、積極的なイベント情報などが行えませんでした。SNSを通じて生きものの様子を発信することで大手新聞社やTVの人気番組などに度々取り上げていただきました。媒体については、以下の表にてご報告させていただきます。



令和3年度 区分掲載・放映実績

	R1	R2	R3	R4	R5
情報誌	91	56	56		
新聞	25	18	18		
WEB	29	12	16		
TV	20	18	13		
その他	6	2	0		
	171	106	103		

■令和3年度 情報誌実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
あだち広報	2	2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	23
保塚地域学習センター「コミュニケーション」	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
竹の塚地域学習センター「たけのこ」	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12
中央本町地域学習センター「オアシス」	.	.	.	.	.	.	.	.	1	1	.	.	2
国立公園	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
日造協ニュース2021.9.10号	.	.	.	.	.	1	.	.	.	.	.	.	1
あんふあん東京版	.	.	.	.	.	.	1	.	.	.	.	.	1
るるぶkidsこどもの知的好奇心がぐんぐん育つ～	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1	.	.	1
親子で発見！シールずかんde動物園ガイド	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1	1
あだち花小旅	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1	1
TX沿線ウォーキングマップ「ARUKU」	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1	1
合計	4	5	3	4	4	5	5	4	5	6	4	7	56

■令和3年度 新聞実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
東京新聞	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
足立朝日	.	1	1	1	1	1	1	1	1	1	.	.	9
朝日学生新聞	.	1	.	.	.	.	1	.	.	.	.	.	2
読売新聞シティライフ	.	.	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	1
足立よみうり	.	.	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	1
産経新聞東京版	.	.	.	.	.	.	.	1	.	.	.	.	1
朝日新聞東京版	.	.	.	.	.	.	.	2	.	.	.	.	2
朝日新聞全国版	.	.	.	.	.	.	.	1	.	.	.	.	1
合計	0	3	1	3	1	1	2	5	1	1	0	0	18

■令和3年度 WEB 実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
足立経済新聞	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
kodomoe	.	.	2	2	2	.	.	.	.	.	.	.	6
るるぶkids	.	.	.	1	.	.	.	.	.	.	1	.	2
いいトコ発見！TX沿線オンラインクイズラリー第2弾	.	.	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	1
白い砂のアクアトープWEB	.	.	.	.	.	1	.	.	.	.	.	.	1
いこーよ！	.	.	.	.	.	.	.	1	1	.	.	.	2
Japan View	.	.	.	.	.	.	.	.	1	.	.	.	1
光の祭典オンライン	.	.	.	.	.	.	.	.	1	.	.	.	1
いこーよ！	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1	.	.	1
おっとっと特設サイト	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	0
合計	1	0	2	4	2	1	0	1	3	0	2	0	16

■令和3年度 TV 実績

メディア名	月												合計
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
TV朝日「スッキリ」	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
TBS TV「Nスタ」	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
NHK「ニュースウォッチ9」	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
日本テレビ「Zip!」	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
フジテレビ「ミスターサンデー」	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
J-COM「つながるニュース」	.	.	1	.	.	.	.	.	1	.	.	.	2
J-COM「ねづちい散歩10周年記念総集編」	.	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
フジテレビ「めざまし8」	.	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1
NHK「投稿！DO画」	.	.	.	1	.	.	.	.	.	.	.	.	1
TOKYO MX「news TOKYO FLAG」	.	.	.	.	1	.	.	.	.	.	.	.	1
フジテレビ「有吉君の正直散歩」	.	.	.	.	.	.	1	.	.	.	.	.	1
テレビ東京「今年生まれた動物園の赤ちゃん全部見る」	.	.	.	.	.	.	.	1	.	.	.	.	1
ぶらり途中下車の旅	.	.	.	.	.	.	.	.	1	.	.	.	1
NHK「昆虫すこいぜ！」	.	.	.	.	.	.	.	.	.	1	.	.	1
合計	2	3	3	1	1	0	2	1	1	0	0	0	13

## 2. インターネットによる情報発信

### (1) ホームページのアクセス数

今年度のホームページアクセス総数は、300,557件と昨年に比べ88,948件増加しました（昨年アクセス総数：211,609件）。

令和2年度はセキュリティ強化のためのURL変更に伴い、アクセス数が大きく減少していましたが、令和3年度は平成26年からの指定管理業務の中で最大のアクセス数となりました。特に11月は令和2年度と比較すると2倍近いアクセス数があり、10月末から続いていた「有吉君の正直散歩」や「ぶらり途中下車の旅」などの大型メディアへの露出によるところが大きいと考えられます。

### 令和3年度 HP 更新実績

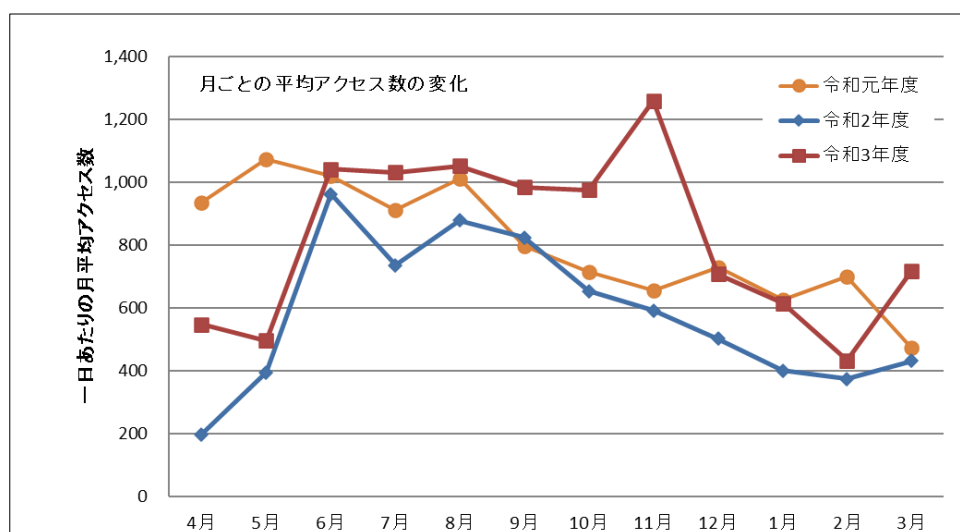
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計	
1-1 アイキャッチ画像	2	1	0	0	2	1	0	2	0	0	0	1	9	月1回
1-2 開園情報	0	1	1	2	1	1	1	1	1	0	0	1		Twitterで告知
1-3 生物園からのお知らせ	6	1	6	4	6	0	2	2	6	5	2	2	42	随時
1-4 Facebook	5	7	3	4	8	2	3	3	5	4	4	5	53	週2回
1-5 Twitter													0	毎日
2-1 施設案内												1	1	年1回内容確認
3-1 フライバシーポリシー												1	1	年1回内容確認
3-2 年間報告書				0									0	年1回
2-2 園内マップ												1	1	年1回内容確認
2-3 プログラム情報	2	2	1	1	5	5	1	1	1	1	0	3	23	月1回
2-4 生物園の生きもの	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	3	月1回
2-5 よみもの													0	
3-3 ニュースレター	1	1	1	1	1	2	1	1	1	2	0	1	13	月1回
3-4 解説員のひとりごと	2	1	1	0	0	2	1	1	1	0	0	1	10	月1回
3-5 調査・研究・受賞	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	2	随時
2-6 交通案内												1	1	年1回内容確認
2-7 団体のお客様へ												1	1	年1回内容確認
2-8 元洲江公園の情報												1	1	年1回内容確認
2-9 お問い合わせ												1	1	年1回内容確認
3-6 よくある質問												1	1	年1回内容確認
3-7 電話での問い合わせ												1	1	年1回内容確認
3-8 メールでの問い合わせ												1	1	年1回内容確認
2-10 プレスリリース													0	随時
2-11 リンク												1	1	年1回内容確認
2-12 指定管理者												1	1	年1回内容確認
1-6 特設サイト	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	随時
月ごとの合計	19	14	14	13	24	14	10	11	15	12	6	26	168	

※セル内数字は更新回数

### 月ごとのアクセス数推移

	月の日数	令和元年度		令和2年度		令和3年度	
		月の累計	1日当たり	月の累計	1日当たり	月の累計	1日当たり
4月	30	28,011	934	5,948	198	16,429	548
5月	31	33,279	1,074	12,249	395	15,370	496
6月	30	30,575	1,019	28,858	962	31,222	1,041
7月	31	28,263	912	22,796	735	31,975	1,031
8月	31	31,341	1,011	27,214	878	32,581	1,051
9月	30	23,920	797	24,724	824	29,531	984
10月	31	22,119	714	20,252	653	30,224	975
11月	30	19,651	655	17,749	592	37,767	1,259
12月	31	22,605	729	15,556	502	21,946	708
1月	31	19,419	626	12,407	400	19,089	616
2月	28	19,631	701	10,491	375	12,146	434
3月	31	14,641	472	13,365	431	22,277	719

※数字はトップページのビュー数。



## (2) SNS の運用

本年度も感染拡大防止のために度重なる臨時休園となりました。その中において、生物園の活動と生きものの魅力を伝えるために、SNS での情報発信を強化し、以下のような取り組みを実施しました。

### ①Instagram アカウントの開設

今年度、コロナ禍の新しい取組みとして、SNS コンテンツの充実を図るために、Instagram アカウントの運用を令和3年7月29日から開始しました。今年度は「フォロワー数500人」を目標にし、投稿は哺乳類を中心とした内容で統一感を心掛けました。年間の合計投稿数は96回（内ライブ配信3回）で、フォロワー数は563人となりました。

## 令和3年度 Instagram 投稿数とフォロワー数の推移

	投稿数	ライブ配信	フォロワー数	フォロワー増減
4月				
5月				
6月				
7月	7月29日にアカウント開設			
8月	6	0	26	
9月	20	0	278	+ 252
10月	13	0	326	+ 48
11月	5	0	383	+ 57
12月	9	0	420	+ 37
1月	16	1	453	+ 33
2月	20	2	508	+ 55
3月	4	0	552	+ 44
合計	93	3		

## ②YouTube チャンネルの実績






「足立区生物園 YouTube チャンネル」は、コロナ禍においてもご自宅で生物園をお楽しみいただくために、令和2年度より開設しました。今年度の実績は、49本（投稿32本、プレミアム公開8本、ライブ配信9回）の動画投稿を行い、チャンネル登録者数は2,178人で前年と比較して1,486人増加しました。

### チャンネルアナリティクス

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
動画投稿数	—	33回	49回		
視聴回数	—	27,415	166,944		
総再生時間	—	908	11,989		
チャンネル登録者数	—	692	2,178		
インプレッション	—	226,848	1,955,717		

※チャンネル開設は令和2年5月17日

### 令和3年度の人気動画

	動画タイトル	公開日	平均視聴時間/収録時間	視聴回数
1	 モルモットの1日	2021/4/20	3:02/5:49	33,614
2	 モルモットを飼う前に	2021/4/6	2:11/3:43	26,282
3	 モルモットの出産	2021/8/3	3:24/6:29	10,337
4	 モルモットのもぐもぐタイム	2021/4/11	21:16/12:002	9,767
5	 【1日密着①】飼育員のお仕事をまるごとお見せします！「哺乳類チーム編」	2020/10/23	3:41/3:30	5,788

### ③Twitter アカウントの実績

H29年9月6日にアカウント作成し、同年11月から本格運用を開始したTwitterですが、「瞬間的な生物園の魅力を伝える」ツールとして、飼育員ならではの視点でPRに活用すると共に、入園制限を設けての開園時には、入園可能な整理券番号を伝える手段としても用いました。コロナ禍において臨時休園が続く全国の動物園水族館において、Twitterは外とつながるとても有効なツールとなりました。令和3年度の実績は投稿数727回でフォロワー数は6198人となり、年間で1,965人増加しました。

令和3年度のTwitter投稿実績

	投稿数	インプレッション数	フォロワー数	フォロワー増減
4月	84	370,282	4,233	+ 69
5月	74	1,090,460	4,302	+ 240
6月	68	586,942	4,542	+ 237
7月	74	504,641	4,779	+ 303
8月	49	400,281	5,082	+ 192
9月	54	407,422	5,274	+ 289
10月	51	298,799	5,563	+ 118
11月	55	271,519	5,681	+ 120
12月	79	339,066	5,801	+ 53
1月	60	425,721	5,854	+ 198
2月	39	208,940	6,052	+ 76
3月	40	197,412	6,128	+ 70
合計	<b>727</b>	<b>5,101,485</b>	<b>6,198</b>	<b>+ 1,965</b>

### ④Facebook アカウントの運用

平成28年5月から運用を開始したFacebookですが、読者の「知的好奇心をくすぐるコラム」をテーマに運用を続けました。今年度は臨時休園のお知らせを含む53の記事を投稿し、中でも7月に投稿した【ガムシの幼虫飼育】についての記事は1,686リーチとなり人気の記事でした。続いて、4月の【生物園オンラインショップ開設】(1,573リーチ)、【2022年度昆虫飼育ボランティア募集!】(1,485リーチ)などが沢山の方に届いた記事となっています。令和3年3月31日現在、フォロワー数は1,248人です。

## 3. ポスター・チラシ等による情報発信

### (1) ポスター

昨年度までの平時においては、期間展示情報/プログラム情報/イベント情報などを、生物園入口・元洲江公園入口掲示板(各2枚)/園内(基本1枚、必要に応じ2枚)/生物園建物壁面(2枚)/竹ノ塚駅前看板(2枚)/アトリウム(1枚)へポスターとして掲

示していました。しかし、今年度は新型コロナウイルスによる「臨時休園/再開園のお知らせ」や、「新しい生活様式」における公園の利用などについてのポスターを通年で掲載する形となりました。開園時のイベント告知については、広域から来園を促すような形ではなく、毎月制作している「各月のプログラム」や「展示ポスター」などを園内に掲出するにとどまりました。また、四季折々の写真を使用したアトリウムのポスター背景（年10回更新）については、予算の都合上貼り換えを実施せず、通年で使用できるものとして金魚の大水槽の写真を採用しました。



展示ポスター（かくれんぼ展）

## (2) ニュースレター

毎月制作している、イベントや展示など生物園のPRに関する情報を載せたニュースレターですが、今年度は臨時休園期間中の6月号と3月号は発行せず、紙での印刷は合計で10回となりました。印刷したニュースレターについては、例年通り区内の施設や生物園の受付などで配布する他、近隣の小学校10校（淵江第一小、淵江小、保木間小、東栗原小、加平小、中島根小、平野小、花保小、花畑小、竹の塚小）で自主配布を行う他、東保木間町会と南保木間町会の回覧板で各家庭に毎月配布をして頂きました（東保木間町会77部、南保木間町会35部）。

また、12月号よりつくばエクスプレス沿線の全20駅に、ニュースレターを各40部（秋葉原は100部）配架していただく運びとなりました。これは、六町～桑袋団地間を走り、元淵江公園前にバス停が新たに設置された社会実験バス（ブンブン号）の運行を共に盛り上げることを目的としています。

### 令和3年度ニュースレター発行実績

発行日	種類	サイズ/仕様	部数	配布状況
4月10日	ニュースレター5月号	A4/両面カラー	8,000	
5月15日	ニュースレター6月号			印刷せずHPでの掲載のみ
6月3日	ニュースレター7月号	A4/両面カラー	8,000	
7月4日	ニュースレター8月号	A4/両面カラー	8,000	
8月2日	ニュースレター9月号	A4/両面カラー	8,000	
9月8日	ニュースレター10月号	A4/両面カラー	8,000	
10月8日	ニュースレター11月号	A4/両面カラー	8,000	
10月28日	ニュースレター12月号	A4/両面カラー	8,000	
12月7日	ニュースレター1月号	A4/両面カラー	8,000	
1月5日	ニュースレター2月号	A4/両面カラー	8,000	
	ニュースレター3月号			ニュースレター3月号は発行無し
3月2日	ニュースレター4月号	A4/両面カラー	8,000	



ニュースレター9月号（紙印刷あり）

### （3）チラシ

チラシについては、主に大型イベント（わんフェス、ホテルのタベ）や、事前募集である発展型プログラムを区内施設や園内で PR するために活用するツールです。今年度は、大型イベントの中止や感染症対策をした上で安全にプログラムを行うために、定員を大きく絞りました。その為チラシの発行は実施しませんでした。

### （4）中吊り広告

東武線における中吊り広告については、指定管理者の提案にもある通り、広域に渡り PR をする重要なツールです。しかし、今年度は感染症拡大状況を鑑みて、大規模な PR によって生まれる人流を避けるため、中吊り広告は実施しませんでした。

## 4. その他の情報発信

### （1）幼稚園・保育園・その他児童施設や介護施設への FAX 配信

平成30年度から実施していた、毎月幼稚園や保育園、介護施設などに FAX にて送信していた「生物園みどころ情報 FAX」（対象 273 事業所）ですが、コロナ禍において、団体を誘致することが困難なため、今年度は実施しませんでした。

### 第三章 生物飼育業務

#### I 生物飼育業務

##### 1. 令和3年度の飼育状況

###### (1) 昆虫類



今年度、足立区生物園の昆虫類の飼育は、チョウ類、水生昆虫類、陸生昆虫類の3つの区分で管理を行いました。また、チョウ類の管理は分類学上ではチョウ目のみとなるため、科（および亜科）による区分で飼育管理を行いました。なお、分類学上は昆虫ではありませんが、餌用生体としてカタツムリなどについても飼育管理を行いました。

年間飼育種数は187種54,401匹（チョウ類71種9,006匹、水生ホタル2種1,550匹、陸生ホタル1種10匹、ホタルを除く水生昆虫類23種2,614匹、餌用ミジンコ、1種10,000、ホタル餌用貝類6種約3,300匹、バッタ目18種18,321匹、陸生甲虫類19種6,538匹、その他の46種約3,062匹）でした。また、希少種の保全活動として、環境省や対馬市、長崎バイオパーク、箕面公園昆虫館、伊丹市昆虫館の連携の下、ツシマウラボシシジミやフサヒゲルリカミキリの生息域外保全について取り組みました。

###### (2) 両生・爬虫類



今年度、足立区生物園の両生爬虫類の飼育では、年間53種136匹（両生類：21種66匹、爬虫類：32種70匹）の飼育管理を行いました。また、希少種の保全活動として、千葉県二ホンイシガメ保護対策協議会と協力し、千葉県産の二ホンイシガメの生息域外保全について取り組みました。

###### (3) 水族

水族班が飼育管理を行う種は分類学上において多岐に渡るため、綱レベルでの区分とし飼育管理を行いました。水族の年間飼育種数は174種2,443匹（うち魚類は軟骨魚類綱：2種2匹、条鰭綱：96種1,678匹）でした。また、展示生物以外にもアマモやシオグサなどの水生植物や藻類を飼育水槽内で育て、景観や飼育環境の改善を図りました。

	綱	目数	種数	頭数
1	鉢虫綱	2	2	59
2	花虫綱	5	16	83
3	腹足綱	2	8	165
4	多毛綱	2	2	2
5	カブトガニ綱	1	1	2
6	軟甲綱	2	27	157
7	ヒトデ綱	2	6	127
8	クモヒトデ綱	1	4	120
9	ウニ綱	1	1	1
10	ナマコ綱	1	9	47
11	軟骨魚類綱	2	2	2
12	条鰭綱	12	96	1678
	合計	33	174	2443

###### (4) 鳥類・哺乳類



今年度、足立区生物園の鳥類哺乳類の飼育では、年間18種111匹（鳥類：7種27羽、哺乳類：11種84頭）の飼育管理を行いました。

また、希少種保全の活動としてアマミトグネズミの域外保全を行いました。生物園は「飼育下繁殖支援施設」として余剰個体を受け入れ、科学的知見の集積を行う施設として協力しています。



## 2. 各飼育区分の飼育種および活用実績リスト

### (1) チョウ類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
アゲハチョウ科	ナミアゲハ	194	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	クロアゲハ	98	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	シロオビアゲハ	355	有	大温室	飼育個体のみ	
	ナガサキアゲハ	201	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	キアゲハ	3	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	カラスアゲハ	7	有	大温室	屋外採集個体を含む	
	アオスジアゲハ	46	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	ジャコウアゲハ	384	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
	モンキアゲハ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ	
タテハチョウ科	マダラ チョウ 亜科	オオゴマダラ	436	有	大温室	飼育個体のみ
		リュウキュウアサギマダラ	453	有	大温室	飼育個体のみ
		スジグロカバマダラ	77	有	大温室	飼育個体のみ
		ヒメアサギマダラ	250	有	大温室	飼育個体のみ
		マルバネリマダラ	1	有	大温室	飼育個体のみ
		アサギマダラ	217	有	大温室	飼育個体のみ
		ツマムラサキマダラ	338	有	大温室	飼育個体のみ
		タテハ チョウ 亜科	ツماغロヒョウモン	207	有	大温室・昆虫ドーム
	コムスジ		316	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	エルタテハ		1	有	大温室	屋外採集個体のみ
	キタテハ		2	有	大温室	屋外採集個体のみ
	アカタテハ		1	有	大温室	屋外採集個体のみ
	イシガケチョウ		617	有	大温室	飼育個体のみ
	タテハモドキ		514	有	大温室	飼育個体のみ
	ヤエヤマムラサキ		1	有	大温室	屋外採集個体のみ
	アサマイチモンジ		7	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	イチモンジチョウ		22	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	リュウキュウムラサキ		32	有	大温室	飼育個体のみ
	コノハチョウ		27	有	大温室	屋外採集個体のみ
	サカハチチョウ		3	有	大温室	屋外採集個体を含む
	ゴマダラチョウ		2	有	大温室	屋外採集個体のみ
	テングチョウ		5	有	大温室	屋外採集個体のみ
	ジャノメ チョウ 亜科	スミナガシ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
		カバタテハ	718	有	大温室	飼育個体のみ
		リュウキュウヒメジャノメ	294	有	大温室	飼育個体のみ
		サトキマダラヒカゲ	61	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
		クロコノマチョウ	156	有	大温室	屋外採集個体を含む
		クロヒカゲ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ
		ヒカゲチョウ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
		ヒメウラナミジャノメ	351	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	コジャノメ	2	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ	
	シロチョウ科	モンシロチョウ	423	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
		スジグロシロチョウ	33	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
ツマキチョウ		4	有	大温室	屋外採集個体のみ	
モンキチョウ		8	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
キタキチョウ		578	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む	
クロテンシロチョウ		482	有	大温室	飼育個体のみ	
ツマベニチョウ		253	有	大温室	飼育個体のみ	

シジミチョウ科	ムラサキシジミ	2	有	大温室	屋外採集個体のみ
	ムラサキツバメ	2	有	大温室	屋外採集個体のみ
	ツバメシジミ	4	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	ベニシジミ	13	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ウラナミシジミ	8	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ヤマトシジミ	23	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ルリシジミ	2	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
	ウラギンシジミ	16	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ツシマウラボシシジミ	469	有	大温室	飼育個体のみ
セセリチョウ科	チャバネセセリ	3	有	大温室	飼育個体のみ
	コチャバネセセリ	12	有	大温室	飼育個体のみ
	ダイモウセセリ	17	有	大温室	屋外採集個体を含む
	イチモンジセセリ	3	有	大温室	屋外採集個体のみ
スズメガ科	セスジスズメ	4	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ウンモンズズメ	66	有	大温室・昆虫ドーム	飼育個体のみ
	ホシホウジャク	55	有	大温室	屋外採集個体を含む
	コスズメ	20	有	昆虫ドーム	飼育個体のみ
	ホシヒメホウジャク	47	有	大温室	屋外採集個体を含む
	モモスズメ	4	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	ベニスズメ	4	有	大温室・昆虫ドーム	屋外採集個体を含む
	キロスズメ	1	有	昆虫ドーム	屋外採集個体のみ
ヤガ科	アケビコノハ	2	有	昆虫ドーム	飼育個体のみ
	イラクサギンウワバ	1	有	大温室	屋外採集個体のみ
ヤママユガ科	ヤママユガ	44	有	昆虫ドーム	飼育個体のみ
総種数	71				
総個体数	9,006				

(2) 水生昆虫類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
コウチュウ目	ゲンジボタル	702	有	ホテルのタベ	
	ハイケボタル	848	有	屋のホテル観賞会	羽化成虫(夏:403頭、冬:445頭)
	オオシマドボタル	10	有	毒の生き物展	幼虫
	オキナワオオミズスマシ	8	有	常設展	
	オオミズスマシ	40	有	常設展	
	クロゲンゴロウ	40	有	常設展	
	コガタノゲンゴロウ	20			
	ゲンゴロウ	40	有	常設展	
	ヒメフチトリゲンゴロウ	40	有	常設展	
	シマゲンゴロウ	50	有	常設展	
	ヒメゲンゴロウ	10	有	常設展	
	ハイイロゲンゴロウ	20	有	常設展	
	ガムシ	20	有	常設展	
カメムシ目	タガメ	40	有	常設展	
	コオイムシ	60	有	常設展	
	タイコウチ	2	有	かくれんぼ展	
	ミズカマキリ	8	有	常設展、かくれんぼ展	
	アメンボ	6	有	生きもの捕りに行こう展	
	マツモムシ	80	有	常設展、昆虫ドーム	

トンボ目	アジイトトンボ	20	有	昆虫ドーム		
	クロイトトンボ	20	有	昆虫ドーム		
	ギンヤンマ	10	有	常設展	幼虫	
	クロスジギンヤンマ	30	有	常設展	幼虫	
	シオカラトンボ	50			幼虫、水生昆虫餌用	
双翅目	セスジユスリカ	1,000			水生昆虫の餌として(数は概算)	
	アカイエカ	1,000				
双殻目	ミジンコ	10,000				
吸腔目	カワニナ科	カワニナ	1,000	有	ホタルのタペ	水生ホタル類幼虫の餌として(数は概算)
原始紐舌目	タニシ科	タニシ	1,000	有	ホタルのタペ	
有肺目	ヒラマキガイ科	インドヒラマキガイ	1,000			
	サカマキガイ科	モノアラガイ	100			
		ヒメモノアラガイ	100			
		サカマキガイ	100			
総種数	33					
総個体数	17,474					

(3) 陸生昆虫類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト

分類	名	個体数	展示歴	展示名	備考
ゴキブリ目	コワモンゴキブリ	120	有		
	クロゴキブリ	100	有	ゴキブリ展	
	ウルシゴキブリ	80	有		
	ヤマトゴキブリ	50	有	ゴキブリ展	
	チュウトウゴキブリ	300			エサ用として飼育
	チャパネゴキブリ	500	有	ゴキブリ展	
	ヒメマルゴキブリ	100	有	ゴキブリ展	
	ヤエヤマオオゴキブリ	50	有	ゴキブリ展	
	サツマゴキブリ	80	有	ゴキブリ展	
	ヤエヤママダラゴキブリ	30	有	ゴキブリ展	
	ルリゴキブリ	6	有	ゴキブリ展	
	ギガンテウスメンガタゴキブリ	100	有	ゴキブリ展	
	アルゼンチンモリゴキブリ	200	有		エサ用として飼育
	グロースポットゴキブリ	80	有		
	ポーセリンゴキブリ	80	有		
	インシグニスマダガスカルゴキブリ	60	有		
	ヤヴァニカマダガスカルゴキブリ	250	有	ゴキブリ展	
	オブロンゴノータマダガスカルゴキブリ	90	有	熱帯・亜熱帯の昆虫	
	ヴァンウエレベキマダガスカルゴキブリ	30	有		
	グリーンバナナゴキブリ	80	有	ゴキブリ展	
ヨロイモグラゴキブリ	2	有		個体数は幼虫数	
ドミノゴキブリ	80	有			
ハチナゴキブリ	100	有	ゴキブリ展		
カマキリ目	オオカマキリ	22	有	ハンターな虫たち展	
	ハラビロカマキリ	0	有	昆虫ドーム	
	メダマカレハカマキリ	22	有	かくれんぼ展	
	ハナカマキリ	13	有	熱帯・亜熱帯の昆虫	
ナナフシ目	コバナナフシ	60	有		
	ツダナナフシ	50	有	熱帯・亜熱帯の昆虫	
	ヤエヤマトガリナナフシ	90	有	熱帯・亜熱帯の昆虫	

バッタ目	ヒガシキリギリス	4	有	昆虫ドーム	
	クビキリギリス	5	有	昆虫ドーム	
	ケラ	9	有	生きもの捕りに行こう	
	ハタケノウマオイ	1	有		
	ハヤシノウマオイ	1	有	鳴く虫展	
	クツムシ	20	有	鳴く虫展	
	エンマコオロギ	40	有	鳴く虫展	
	マツムシ	17	有	鳴く虫展	
	スズムシ	100	有	鳴く虫展	
	カンタン	12	有	鳴く虫展	
	フタホシコオロギ	6000	有	鳴く虫展	エサ用として飼育
	ヨーロッパイエコオロギ	12000			エサ用として飼育
	ヤエヤマクチキコオロギ	15	有		
	オンブバッタ	0	有	昆虫ドーム	昆虫ドームのみ
	ショウリョウバッタ	0	有	昆虫ドーム	昆虫ドームのみ
	イリオモテモリバッタ	90	有	かくれんぼ展	
	ツチイナゴ	3	有	昆虫ドーム	
	トノサマバッタ	4	有	昆虫ドーム	
	カメムシ目	シロモンオオサシガメ	110	有	熱帯・亜熱帯の昆虫
コウチュウ目	ハンミョウ	25	有	ハンターな虫たち展	
	ヒメマイマイカブリ	7	有	ハンターな虫たち展	
	アオオサムシ	1	有	生きもの捕りに行こう	
	クロオサムシ	3	有	生きもの捕りに行こう	
	ヨツボシオオゴミムシ	1	有	ハンターな虫たち展	
	ノギリクワガタ	3	有	昆虫ドーム	
	コクワガタ	2	有	昆虫ドーム	
	ヒラタクワガタ	1	有		
	オオクワガタ	1	有		
	チビクワガタ	160	有		
	ニシイロクワガタ	3	有	熱帯・亜熱帯の昆虫	
	ギラファノギリクワガタ	7	有	熱帯・亜熱帯の昆虫	
	カブトムシ	7	有	昆虫ドーム	
	ヘラクレスオオカブト	2	有	熱帯・亜熱帯の昆虫	
	チャイロコメノゴミムシダマシ	6000			エサ用として飼育
	ツヤケシオオゴミムシダマシ	170			エサ用として飼育
	クビアカツヤカミキリ	20	有		特定外来生物（使用許可申
	フサヒゲルリカミキリ	55			生息域外保全モデル事業（幼虫数）
	クロカタゾウムシ	70	有	熱帯・亜熱帯の昆虫	
ハエ目	トリニドショウジョウバエ	72※			※ボトル数
	イエバエ	16※			※ボトル数
ハチ目	クロオオアリ	1※	有	ハンターな虫たち展	※群数
	ムネアカオオアリ	1※	有		※群数
	セイヨウミツバチ	1※	有		※群数
サソリ目	ヤエヤマサソリ	0	有		
	ダイオウサソリ	4	有	ハンターな虫たち展	
サソリモドキ目	タイワンサソリモドキ	1	有		
オオムカデ目	アオズムカデ	2			
クモ目	メキシカンピンクタランチュラ	1	有	ハンターな虫たち展	
	メキシカンレッドニータランチュ	1	有		
	ローズヘアータランチュラ	1			
ワラジムシ目	オカダンゴムシ	100	有		
有肺目	アオミオカタニシ	1			
	ヒダリマキマイマイ	16	有		一部エサ用として飼育
総種数	83				
総個体数	27,921				

(4) 両生・爬虫類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
無尾目	モリアオガエル	1			
	シュレーゲルアオガエル	1			
	トウキョウダルマガエル	2	有	常設展	
	ニホンアマガエル	4	有	常設展、捕りに行こう展	
	ツチガエル	4			幼生
	ヌマガエル	1			
	ヒキガエル	2	有	常設展、出張生物園	
	アフリカツメガエル	9	有	常設展	
	マダラヤドクガエル	7	有	常設展、毒のいきもの展	
	キオビヤドクガエル	1			
	ベルツノガエル	1		常設展	
	ヤエヤマヒメアマガエル	1			
	カジカガエル	2			
有尾目	ニホンアカガエル	4	有		
	アカハライモリ	7	有	常設展、毒のいきもの展	
	メキシコトラフサンショウウオ	4	有	常設展	繁殖個体(F1:1個体)
	オオサンショウウオ	1	有	常設展	
	トウキョウサンショウウオ	1			
	トウホクサンショウウオ	1			
	クロサンショウウオ	11	有	かくれんぼ展	
	マーブルサラマンダー	1	有	常設展	

カメ目	キバラガメ	1				
	クサガメ	3				
	ニホンスッポン	1				
	スッポンモドキ	1	有	常設展	生体交換を検討	
	ヤエヤマシガメ	2	有	常設展		
	セマルハコガメ	1	有	常設展		
	テリメンナガクビガメ	1		常設展		
	ニューギニアカブトガメ	1	有	常設展		
	カロリナハコガメ	2				
	インドホシガメ	2	有	常設展		
	ヒョウモンリクガメ	1				
	ケツメリクガメ	2	有	常設展		
	アカアシガメ	4	有	常設展		
	パンケーキリクガメ	2	有	常設展		
	ニホンイシガメ×クサガメ	3				
	ニホンイシガメ	19	有	常設展	うち生息域外保全個体15匹	
	ニシキマゲクビガメ	2	有	常設展		
有鱗目	トカゲ亜目	ミンダナオミズオトカゲ	1	有	常設展	
		ヒョウモントカゲモドキ	4			
		サキシマキノボリトカゲ	1	有	常設展	
		ヒガシニホントカゲ	1			
		ミドリニシキヘビ	1	有		
	ヘビ亜目	ヒバカリ	1	有	プログラム	
		コースタルカーベットニシキヘビ	2	有	常設展	
		ボールニシキヘビ	2			
		ペーレンニシキヘビ	1	有	常設展	
		カリフォルニアキングヘビ	1	有	プログラム	
		カムリヘビ	1	有	プログラム	
		アオダイショウ	3	有	プログラム	
		<i>Pantherophis</i> 属不明種(ネズミヘビ)	1			旧称:ナミヘビ科不明種
		サキシママダラ	1	有	プログラム	
		ナンダ	1			生体交換を検討
総種数	53					
総個体数	136					

(5) 水族の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考
<b>軟骨魚類綱</b>					
ネコザメ目	ネコザメ	1	有	常設展	
	メジロザメ目	ドチザメ	1	有	常設展
<b>条鰭綱</b>					
ガー目	スポットテッドガー	5	有	常設展	
	ピラルクー	2	有	常設展	
アロワナ目	シルバーアロワナ	8	有	常設展	
	アジアアロワナ	1	有	常設展	紅尾金龍
ウナギ目	ウツボ	2	有	常設展	
	トラウツボ	1	有	常設展	
	ハワイウツボ	1	有	常設展	
	チンアナゴ	6	有	常設展	
	ニホンウナギ	1			

コイ目	ギンブナ	3	有	常設展	
	キンギョ	1000	有	常設展・金魚展	品種58種類含む
	レッドフィンバルブ	5	有	常設展	
	ゴールデンマハシール	1	有	常設展	
	レッドマハシール	6	有	常設展	
	ブルーフィンカーブ	8	有	常設展	
	ハンバラバルブ	2	有	常設展	
	コイ	2	有	常設展	
	ガラ・ルファ	68	有		
	ブラックシャーク	1	有	常設展	
	イエローフィンバルブ	3	有	常設展	
	タモロコ	25	有	常設展	
	ジャイアントダニオ	30	有		
	モツゴ	47	有	常設展	
	オイカワ	5	有	常設展	
タイリクバラタナゴ	27	有	常設展		
ドジョウ	11	有	常設展		
カラシン目	ガステロベレクス・レヴィス	9	有	生きものの展示を作ろう	
	ラミノーズテトラ	26	有	生きものの展示を作ろう	
	インバイクテイスケリー	14	有	生きものの展示を作ろう	
	ネオンテトラ	18	有	生きものの展示を作ろう	
ナマズ目	ピラニア・ナッター	10	有	常設展	
	ハラジエルドニー	5	有	かくれんぼ展	
	トランスルーセントグラスキャットフィッシュ	10	有	生きる骨展	
	ナマズ	1	有	常設展	
	カイヤン	2			
	ゴンズイ	5	有	毒の生きもの展	
	ジャウー	1	有	常設展	
	バンジョーキャット	5	有	かくれんぼ展	
	コリダス・アエネウス	2	有	生きものの展示を作ろう	
	コリダス・アエネウス アルビノ	2			
	コリダス・アクアトウス	1			
	コリダス・パレアトウス	2	有	生きものの展示を作ろう	
	コリダス・パンダ	2	有	生きものの展示を作ろう	
	コリダス・ステルバイ	1			
	アグアブレコ	2	有	かくれんぼ展	
ロリカリア科の1種	5	有	かくれんぼ展		
オトシングルス	10	有	生きものの展示を作ろう		
トゲウオ目	サギフエ	10	有	常設展	
	ポッドベリーシーホース	5			
カダヤシ目	ヨウジウオ	1	有	常設展	
	グッピー	18	有		
ダツ目	ヒメダカ	3			宇宙メダカ含む
スズキ目	カサゴ	3	有	常設展	
	ユメカサゴ	2	有	常設展	
	オニオコゼ	1	有	毒の生きもの展、かくれんぼ展	
	クエ	1	有	常設展	
	アカハタ	1	有	常設展	
	キンギョハナダイ	4	有	常設展	
	アマミイシモチ	1	有	常設展	
	マンジュウイシモチ	5	有	常設展	
	フエダイ	1			
	ヨスジフエダイ	1			
	ヒメフエダイ	1			
	ヒメツバメウオ	12	有	常設展	
	テッポウウオ属の複数種	7	有	常設展	流通名:テッポウウオ
	シュードトロフェウス・ロンパロドイ	22	有		流通名:ゴールデンゼブラシクリッド、スノーホワイトシクリッド
	ネオランプロログス・プリチャージ	45	有		
	クダゴンベ	2	有	常設展	
	カクレクマノミ	2	有	常設展	
	デバスズメダイ	1	有	常設展	
	ルリスズメダイ	1	有	常設展	
	ミスジリュウキュウスズメダイ	3	有	常設展	
	リボンスズメダイ	9	有	常設展	
	ギンユゴイ	3	有	常設展	
	カゴカキダイ	7	有	常設展	
	メジナ	2			
	ギンボ	4			
	フサギンボ	2	有	常設展	
	ニジギンボ	9	有	常設展	
	ヒメハゼ	1	有	常設展	
	ニクハゼ	3	有	常設展	
	ミナミトビハゼ	7	有	常設展	
	トウヨシノボリ	12	有	常設展	
	ヌマチチブ	3	有	常設展	
ハタテハゼ	2	有	常設展		
ヒフキアイゴ	1	有	常設展		
ナンヨウハギ	2	有	常設展		
カレイ目	ヌマガレイ	6	有	常設展	
	イシガレイ	2			
	マコガレイ	1			
フグ目	アミメハギ	18	有	常設展	
	カワハギ	3	有	常設展	
	ミドリフグ	17	有	常設展	
	アベニーパファー	5	有		
総種数	96				
総個体数	1,678				

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
<b>鉢虫綱</b>						
	旗口クラゲ目	ミスクラゲ	50	有	常設展	
	根口クラゲ目	サカサクラゲ属の一種	9	有	毒の生きもの展	
<b>花虫綱</b>						
イソギンチャク目	ヤドカリイソギンチャク	1	有	常設展		
	ウメボシイソギンチャク	3	有			
ホネナシサンゴ目	ミドリイソギンチャク	1	有			
	サンゴイソギンチャク	2	有	常設展		
	Discosoma属の一種	30	有	常設展	ディスココーラル	
	Discosoma属の一種	17	有	常設展	ヘアリーディスク	
イシサンゴ目	チヂミウスコモンサンゴ	2	有	常設展		
	サオトメシコロサンゴ	1	有	常設展		
	ナガレハナサンゴ	1	有	常設展		
	コハナガタサンゴ	1	有	常設展		
	ハナガタサンゴ	1	有	常設展		
	ヒュウサンゴ(オオバナサンゴ)	3	有	常設展		
スナギンチャク目	マメスナギンチャク属の一種	3	有	常設展		
ウミトサカ目	チヂミトサカ属の一種	7	有	常設展		
	ウミアザミ属の一種	5	有	常設展		
	ムラサキハナツタ	5	有	常設展		
<b>腹足綱</b>						
吸殻目	マガキガイ	5	有	常設展		
	ボウシュウボラ	10	有			
	アラムシロ	8	有	常設展		
	シマハマツボ	100	有	常設展		
	ハツユキダカラガイ	1	有			
	ホシキヌタ	2	有			
	キバウミミナ	13	有	常設展		
頭楯目	フトウガイ	26	有	常設展		
<b>多毛綱</b>						
イソメ目	イワムシ	1	有	常設展		
スピオ目	ミスヒキゴカイ	1	有	常設展		
<b>カブトガニ綱</b>						
カブトガニ目	アメリカカブトガニ	2	有	常設展		
<b>軟甲綱</b>						
等脚目	オオグソクムシ	15	有	常設展		
十脚目	ユビナガスジエビ	7	有	常設展		
	アメリカザリガニ	32	有	常設展、生きもの捕りに行		
	ホンダオニヤドカリ	1	有			
	ツマジロサンゴヤドカリ	1	有	常設展		
	ウスイロサンゴヤドカリ	2	有			
	ベニワモンヤドカリ	1	有			
	ツメナガヨコバサミ	13	有	常設展		
	イソヨコバサミ	9	有			
	イシダタミヤドカリ	4	有			
	テナガツノヤドカリ	2	有			
	ユビナガホンヤドカリ	17	有	常設展、生きもの捕りに行		
	ヨモキホンヤドカリ	9	有	常設展		
	ホンヤドカリ	2	有			
	ヨコヤホンヤドカリ	1	有	常設展		
	ジンゴロウヤドカリ	1	有	常設展		
	イガグリガニ	1	有	常設展		
	タカアシガニ	6	有	常設展		
	イソクスカニ	5	有	かくれんぼ展		
	ヒラアシクモガニ	1	有	常設展		
	スベスベマンジュウガニ	3	有	毒の生きもの展		
	アワツブオウギガニ	0				
	オウギガニ	0				
	クロベンケイガニ	8	有	常設展		
	ヒライソガニ	5	有	生きもの捕りに行こう展		
	スネナガイソガニ	1	有	常設展		
	イソガニ	5	有	生きもの捕りに行こう展		
	タカノケフサイソガニ	5	有	生きもの捕りに行こう展		
	<b>ヒトデ綱</b>					
	マヒトデ目	ヤツデヒトデ	3	有	毒の生きもの展	
	アカヒトデ目	イトマキヒトデ	17	有	常設展	
カワリイトマキヒトデ		100	有	常設展		
ニチリンヒトデ		1	有	常設展		
アカヒトデ		4	有			
アオヒトデ		2	有	常設展		
<b>クモヒトデ綱</b>						
クモヒトデ目	アカクモヒトデ	7	有			
	イソクモチクモヒトデ	100	有	常設展		
	ニホンクモヒトデ	12	有			
	アオスジクモヒトデ	1	有			
<b>ウニ綱</b>						
ガンガゼ目	アオスジガンガゼ	1	有	毒の生きもの展		
<b>ナマコ綱</b>						
桶手目	アカミシキリ	1	有	常設展		
	イソナマコ	3	有			
	ニセクロナマコ	12	有	常設展、毒の生きもの展、		
	トラフナマコ	12	有	常設展		
	フジナマコ	6	有	毒の生きもの展		
	マナマコ	5	有	常設展		
	アカナマコ	4	有	常設展		
	オキナマコ	3	有	常設展		
	アカオニナマコ	1	有	常設展		
	総種数	76				
総個体数	763					

(6) 鳥類・哺乳類の年間飼育種数・頭数および活用実績のリスト

分類	種名	現頭数	展示歴	展示名	備考	
鳥綱	カモ目	アイガモ	1	有	里山のいきもの	家畜種
		アヒル	2	有	里山のいきもの	家畜種
	オウム目	オカメインコ	19	有	オージードーム	
		アキクサインコ	0	有	オージードーム	
	キジ目	セキセイインコ	1	有	オージードーム	
		オヒキチャボ	2	有	ふれあいコーナー、里山のいきもの	
		ゴインチャボ	0	有	ふれあいコーナー、里山のいきもの	
	ブッポウソウ目	ワライカワセミ	1	有	オージードーム	2021年5月12日に福山動物園からみ1頭を収受
フクロウ目	ホンドフクロウ	1	有	里山のいきもの		
総種数		7				
総個体数		27				

分類	種名	個体数	展示歴	展示名	備考	
哺乳綱	カンガルー目	オオカンガルー	4	有	オージードーム	
		バルマワラビー	4	有	オージードーム	
	ウサギ目	カイウサギ	2	有	ふれあいコーナー	
	ネズミ目	テンジクネズミ	49	有	ふれあいコーナー	増:繁殖22、搬入4減:死亡7、搬出14
		テンチラ	12	有	観察展示室	
		シマリス	0	有	出会いの広場	
		アマミトゲネズミ	3			2021年8月6日に井の頭自然文化園からみ3頭を収受
	アフリカトガリネズミ目	ヒメハリテンレック	1	有	ふれあいコーナー	
	サル目	コモンスザル	2	有	大温室前室	
	ネコ目	ネコ	3	有	きっずルーム	家畜種:雑種
	ウシ目	ヤギ	2	有	ふれあいコーナー	家畜種:シバヤギ
		ヒツジ	2	有	ふれあいコーナー	家畜種:コリデール
	総種数		11			
総個体数		84				





## (2) ツシマウラボシシジミの生息域外保全



今年度も引き続きツシマウラボシシジミの生息域外保全を行いました。館内で累代飼育を行い、飼育で余剰となった生体は他の域外保全施設や現地へ放蝶されるほか、飼育技術研究へ協力のため、大学と研究機関に提供しました。詳細は添付「足立区生物園におけるツシマウラボシシジミの生息域外保全への取り組み」参照。

交配作業後に余剰した個体は7月と9月に大温室内にて一般公開しました。これらの取り組みについては「令和3年度ツシマウラボシシジミ保全検討連絡会議」内にて発表を行いました。また、3月12日には第2回ツシマウラボシシジミ保全シンポジウムにて生物園でのツシマウラボシシジミの取り組みを発表しました。

## (3) ホタルの飼育展示実績

今年度、水生ホタル類2種（ゲンジボタル、ハイケボタル）の観賞会において、以下の通り各種個体数を展示することができました。

### ①「ホタルの夕べ」の開催

昨年度は「ホタルの夕べ」は新型コロナウイルスの影響で中止となりましたが、今年度は開催することができました。

ソーシャルディスタンス確保のため、定員を設けて申込み制にし、少人数での開催になりました。コロナ対策として送風機による空気の循環、手すりの消毒を行いました。



#### 2021ホタルの夕べ

	6/3	6/4	6/5	6/6	計
ゲンジボタル	500	530	550	550	2,130

※合計は延べ展示数

### ②その他ホタル展示実績

ホタルの夕べの他にも、以下の期間に室内でのホタルの鑑賞会を実施し、ハイケボタルを中心とした生体を展示しました。

#### 2021夏のホタル観賞会(夏季)

	6/26	6/27	7/3	7/4	7/10	7/11	計
ゲンジボタル	70	70	30	30	0	0	200
ハイケボタル	70	70	100	100	130	130	600

#### 2021冬のホタル観賞会(年末)

	12/4	12/5	12/11	12/12	12/18	12/19	12/25	12/26	計
ハイケボタル	60	60	80	80	100	100	120	120	720

#### 2021冬のホタル観賞会(年始)

	1/2	1/3	1/4	1/5	計
ハイケボタル	130	130	130	130	520

※合計は延べ展示数

#### (4) フサヒゲルリカミキリの生息域外保全モデル事業



昨年度に引き続き、フサヒゲルリカミキリの生息域外保全モデル事業に取り組みました。環境省に許可を得て成虫を導入し、飼育を再開しました。成虫の飼育と採卵に成功し、幼虫を得ることができましたが、残念ながら休眠幼虫の段階ですべての個体が死亡し、蛹化・羽化に至ることはありませんでした。

詳細は添付資料「令和3年度足立区生物園におけるフサヒゲルリカミキリの生息域外保全への取り組み」を参照ください。

### 4. 両生爬虫類飼育展示の主な取り組み実績

#### (1) ニホンイシガメの生息域外保全



昨年度に引き続き千葉県の本州イシガメの生息域外保全を行いました。昨年度、作製した屋外飼育スペース園内へのアライグマの侵入がみられましたが、その後の出現がないことから、ニホンイシガメの屋外飼育を再開し、越冬飼育を実施しました。凍結防止のため、園内で採集した落ち葉を水場に投入し、断熱材の代わりとしました。

詳細は添付「足立区生物園におけるニホンイシガメの生息域外保全への取り組み」参照。



イシガメ屋外飼育スペース

#### (2) ミンダナオミズオオトカゲ飼育場整備

バックヤードにて飼育していたミンダナオミズオオトカゲが成長し大型化したことを受けて、飼育展示施設を整備しました。陸上部分にはミンダナオミズオオトカゲが十分に行動できるスペースがあり、遊泳が可能な水場も備えています。また、水場は通路側に透明ガラスを使用し、水中での活動が見やすいよう設計されています。水辺環境に生息し、水中でも陸上でも活発に行動するミンダナオミズオオトカゲの様子がよく観察できる施設となっています。



ミンダナオミズオオトカゲ飼育展示場

#### (3) 樹上性トカゲ飼育場準備

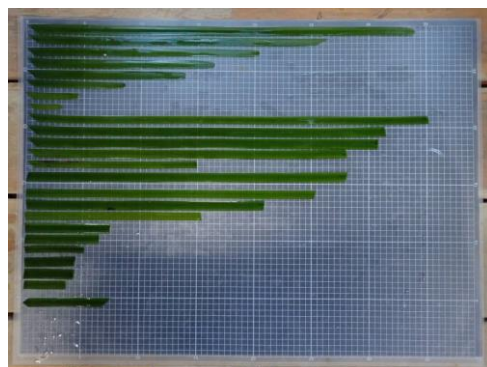
ボア・インパートルが死亡したことを受け、当該個体の飼育展示場のリニューアル準備をしました。湿潤環境に生息するトカゲ類の多様性や環境とのつながりをテーマにした展示場とするため、枝や擬草をふんだんに使用した樹上性レイアウトを作成しました。本展示場には樹上性種を中心としたトカゲ類を飼育する予定です。多種混生飼育を行う

ことで、それぞれの種が環境とどのように関わっているのか見ていただける展示となる  
ことが期待されます。飼育種については順次追加していきます。

## 5. 水族飼育展示の主な取り組み実績

### (1) アマモの生長調査

アマモは海草の仲間で様々な海洋生物の産卵場や隠れ家となることから命のゆりかごととして知られ、近年では気候変動の緩和策であるブルーカーボンの1つとして注目されています。一方で、全国の水族館で飼育に苦戦している未だ生態が解明されていない植物でもあります。水族班では2018年度にJAZA アマモ飼育施設25園館中9例目となる通年展示に成功したことを皮切りに本種の生態解明に取り組んでおり、今年度は水槽内でのアマモの成長を明らかにするため、1週間毎に葉の成長測定を行いました。得られた飼育データは今後、学会等で発表するとともに本種の飼育技術の確立に活かしていきます。



アマモの葉の測定

## 6. 鳥類・哺乳類飼育展示の主な取り組み実績

### (1) オオカンガルー・パルマワラビーの繁殖

オオカンガルー、パルマワラビーは共に JAZA Collection Plan (JCP) の JSB 種 (登録種) に指定されており、JAZA に加盟する全国の飼育園館が共同で個体情報登録を行い、個体群動態を把握する種になっています。当園では単独飼育を避け、繁殖可能個体は JAZA の繁殖計画に協力しています。

昨年度はオオカンガルーとパルマワラビーがそれぞれ1個体ずつ繁殖しました。オオカンガルーは2021年11月21日には母個体の腹の袋から仔が顔を出している姿を確認でき、のちに「イーブイ」と名付けられました。パルマワラビーは2022年1月15日に母個体の腹の袋から顔を出していることが確認され、のちに「ツナ」と名付けられました。



今年度生まれた個体

上：オオカンガルー（イーブイ）

下：パルマワラビー（ツナ）

## (2) アマミトゲネズミの生息域外保全



本年度より環境省レッドリスト/絶滅危惧IB類であるアマミトゲネズミの「飼育下繁殖支援施設」として生息域外保全の取組みを開始しました。生体は井の頭自然文化園より8月6日に雄3頭(全てF1 個体)を引き取り、順調に飼育を継続しています。本種は一般公開が認められていないため、保全活動の取組みが来園者に伝わりにくいですが、あだち広報の特集記事「生物園が絶滅危惧種を守る！」



特集にてその取組みを区民の皆様にPRしました。また、本種は、全7園館(2021年3月現在)の飼育園館からは展示公開の意向があり、今後の展示計画については環境省とJAZA、生息地である奄美大島の研究者の方々などとの間で協議が続けられています。

## (3) ワライカワセミの展示

2021年5月12日、福山市立動物園よりワライカワセミの雄個体(2019.8.2生まれ)1羽をブリーディングローンとして譲受しました。オーストラリアドームにて再開園後の6月1日より一般公開を始めました。毎週日曜日に実施している「鳥類のごはんの時間」では、好物のドジョウを採餌する様子が飼育員の解説付きで観察することができます。



ドジョウを捕食するワライカワセミ

なお、本種は肉食性の鳥類のため、すでにオーストラリアドーム内に放鳥しているオカメインコを捕食してしまう可能性があります。そこで、飼育員によりドーム内に専用鳥舎を設置し、池の再整備を行いました。

。

→  
オーストラリアドーム内に  
整備した専用鳥舎と池



## Ⅱ 公益社団法人 日本動物園水族館協会

### 1. 第 69 回日本動物園水族館協会動物園技術者研究会の開催

動物園技術者研究会とは、日本動物園水族館協会（以下、「JAZA」）が主催する研究会であり、各園館で取り組んでいる動物の飼育繁殖や治療、保全活動などの技術に関する研究発表を行う場です。

本年度は足立区生物園が開催園となり、12月14日15日に第69回動物園技術者研究会を開催しました。当初は対面とリモート併用で準備を進めていましたが、感染状況を踏まえて完全リモートでの実施となりました。

#### (1) 完全リモート会議の準備

Web 会議には有線 LAN のネットワーク環境が必要だったため、会場である桜花亭に一時的な光回線工事を行いました。さらに、web 会議システムや機材、当日サポートは、専門の業者に外注しました。

#### 委託先一覧

会社名	委託内容
東武トップツアーズ株式会社	web会議システム及び機材、設営
NTT東日本	光回線の契約及びケーブル設営
NTTコミュニケーションズ	プロバイダー(OCN)



光回線ケーブル工事



Web 会議会場設営

スムーズな進行のため、会場を使用した機材やシステムのリハーサル、各座長と発表者のリハーサルを行いました。発表者リハーサルでは、接続のテストだけでなく、画面の共有や動画の再生テストも行いました。

#### (2) 当日の運営

当日は JAZA 事務局、次回開催園である安佐動物公園スタッフの他、足立区長にも会場へお越しいただき、JAZA 総裁であられる秋篠宮殿下にもリモートでご参加いただきました。全国から 83 園 127 人の方が参加され、31 題の研究発表と 1 題の話題提供

がありました。ポスター発表は行っていません。

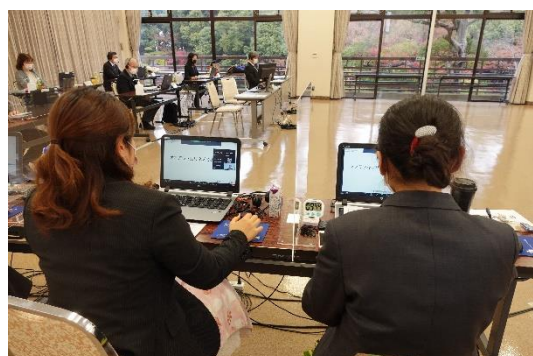
Web 会議の設営やサポートは業者へ委託し、Web 会議への入室許可、進行やタイムキープはスタッフで行いました。

### 12月14日 発表演題一覧

O-01	オオアシトガリネズミの繁殖事例	東京都多摩動物公園
O-02	超音波診断装置を用いたアメリカビーバーの早期性判別	千葉市動物公園
O-03	グレビーシマウマの妊娠期体重変動と搾乳の実施について	京都市動物園
O-04	ミナミアメリカオットセイの性ステロイドホルモン変動について	すみだ水族館
O-05	飼育下ジェンツーペンギンの精子量の年変動	名古屋港水族館
O-06	サウスサマペンギンにおける人工授精について	アドベンチャーワールド
O-07	ユーラシアカワウソの音声コミュニケーションに関する基礎研究	ふくしま海洋科学館
O-08	ニホンライチョウの母鳥による育雛の成功を目的とした飼育方法の改善	富山市ファミリーパーク
O-09	ツシマヤマネコにおける人工授精の取り組み	横浜市立よこはま動物園
O-10	文化継承としての在来家畜の飼育展示・教育普及への展開と課題	(公財)沖縄こどもの国
O-11	地域連携による地産地消を目指した動物園向け駆除動物専用処理施設の新設	豊橋総合動植物公園
O-12	アミメキリンの両後肢屈腱弛緩に対する装具を用いた治療例	広島市安佐動物公園

### 12月15日

O-13	経口合成黄体ホルモンによるペンギンの換羽誘発の試み	鴨川シーワールド
O-14	飼育下カピバラの下痢症における糞便性状スコアを用いた回顧的研究	那須どうぶつ王国
O-15	皮膚炎を呈したノマウマにおけるアマニ油添加の一症例	愛媛県立とべ動物園
O-16	アジアゾウにおける肝機能障害の一例	宮崎市フェニックス自然動物園
O-17	多発性の嚢胞を伴う片側性の腎異形成に罹患したワオキツネザルの1例	NIFREL
O-18	繰り返し疝痛を呈して死亡したグレビーシマウマの1例	盛岡市動物公園
O-19	トラの甲状腺扁平上皮癌の1例	いしかわ動物園
O-20	ヒツジの胆管癌の一例	神戸市立王子動物園
O-21	アムールヒョウの兄弟で遺伝性の股関節異常を疑った症例	旭川市旭山動物園
O-22	クオッカの導入と繁殖について	埼玉県こども動物自然公園管理事務所
O-23	グンディの導入と繁殖について	埼玉県こども動物自然公園管理事務所
O-24	インドサイの相互BLIによる移動について	横浜市立金沢動物園
O-25	グレビーシマウマの新規ペア導入とペアリングについて	横浜市立野毛山動物園
O-26	フサヒゲルリカミキリの生息域外保全活動について	足立区生物園
O-27	ミヤコカナヘビの生息域外保全 野生復帰を見据えた科学的知見の集積について	札幌市円山動物園
O-28	高齢なコモンウオンパット繁殖への試みについて	長野市茶臼山動物園
O-29	ジェフロイクモザルの採血トレーニング	日立市かみね動物園
O-30	「恩賜上野動物園エンリッチメンブック」と「エンリッチメント事例集」作成の取り組み	東京都恩賜上野動物園
O-31	JICA事業によるマダガスカルの生物多様性保全への貢献	仙台市八木山動物公園
宿題	飼育技術向上につながる人材研修	天王寺動物園
話題提供	学術論文数の変遷から見たJAZA加盟園館の研究活動	広島市安佐動物公園



発表者へ残り時間を知らせる



休憩時には YouTube を流す

## 第四章 連携業務

### I 利用促進・教育普及に関わる連携

#### 1. 区民協働活動の推進・支援

元漕江公園・生物園では周辺の地域や企業・団体と連携した施設運営を行うことで、地域に愛され利用される施設、区民参加型の共同施設を目指しています。今年度もさまざまな連携を行いました。

##### (1) 元漕江公園・生物園利用推進協議会

元漕江公園・生物園利用推進協議会は地域の利用者や企業、団体、学校と意見交換会を行い、要望や意見を汲み取り利用促進やサービス向上につなげるものです。今年度もミュージアムショップが中心となって足立区の多様な企業とともに生物園のお土産を開発する「生物園お土産研究会」、区内の教育施設の実務者と専門家による「教育利用研究会」、元漕江公園の活性化につなげるため周辺町会との「地域利用研究会」を開催しました。

##### ① お土産研究会

本年度も2回開催予定でしたが、どちらも新型コロナウイルス感染拡大に伴う休園要請を受け、生物園での実施は中止となりました。第21回お土産研究会として、企業との連携商品の販売状況や新規連携商品の紹介、オンラインショップでの売り上げ傾向等を、資料送付にてご報告しました。また新規連携商品のご提案を個別に受け入れました。

→詳細はP.22～P.26、P.76～78をご参照ください。

##### ② 教育利用研究会



本年度は感染症対策のために幼稚園・保育園、小学校、中学校の3つのグループが別々の日程で開催しました。

幼稚園・保育園では、昨年設定した活動ねらいとアンケート結果を踏まえ、ショートプログラム集を作成しました。現場に則した形にするため、委員の皆さまから意見をもらい、改良しています。

小学校では、昨年度に引き続き、腐葉土作成を続けています。完成したものは植物の育成などに活用しています。ポスター発表を行っている学校もあるので、生物園内でポスター発表の場を設けることを検討しています。

中学校では、中学生の興味関心がどこにあるのかを調査するアンケートを作成し、委員の皆様にご配布をお願いしました。アンケート結果を元に、既存プログラムの改善や新規プログラムの開発に取り組みます。



### ③ 地域連携研究会

本研究会の活動は、元漕江公園が近隣公園本来の設置意義である「近隣住民の方々から休息やレクリエーションに利用され、その地域のシンボルとなる」ような利用促進を目的としています。

令和3年度に実施した「第8回 地域連携研究会」では、コロナ禍における生物園の開園状況や、元漕江公園の東屋の改修計画などの事業報告をし、近隣にお住まいの方々に指定管理者の取り組みへの理解を推進するよう努めました。さらに、近年公共施設や商業施設などで不審者による事件が相次いでいることから、「第9回 地域連携研究会」において、合同での不審者対応訓練の実施に向けて計画を立てました。竹の塚警察署の協力で2月に実施を予定しておりましたが、残念ながら新型コロナウイルス感染症拡大に伴って中止となりました。

残念ながら、年間を通じて1回の会合となりましたが、町会長様からは、「生物園と一緒に何かをできることに対して大きなメリットを感じている」というお言葉を頂戴しております。新型コロナウイルスの感染状況は予断を許しませんが、新しい生活様式の中でより一層深い関係を築いていきたいと思っております。

## (2) 地元企業との連携

生物園ではミュージアムショップを中心に、足立区の企業と連携した商品の開発や販売イベントの実施を行っています。※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地元企業による販売イベントは休止しました。

### ① オリジナル商品開発における連携

#### 「生物園のモフモフTシャツ」

生物園で特に人気の動物がモチーフで、生きものの温かみを感じられるデザインをスタッフ作成しました。K-Dash design & ONION PRINT さんとの連携商品です。



モフモフTシャツ

#### 「まだらやどくがえるTシャツ」

生物園でも飼育している色彩豊かなマダラヤドクガエルモチーフで、デザインから製作まで全てK-Dash design & ONION PRINT さんが手がけています。ゆるいデザインが子供から大人まで人気です。



まだらやどくがえるTシャツ

#### 「生物園応援Tシャツ」

感染症拡大による長引く休園要請をうけ、2021年4月にオンラインショップを開設しました。オンライン限定商品を「生物園応援グッズ」とし、限定商品をお買い上げいただくことで生物園を応援いただけるようなグッズを、スタッフがデザインし、K-Dash design & ONION PRINT さんとの連携して作成しました。

一つはスタンドグラスでできたチョウがモチーフで、これは生物園の天井に実際に飾られているスタンドグラスのデザインを元に描きおこしました。

もう一つは、「ゴキブリ」のキャラクター「ごきりん」が散りばめられたデザインで、これは実際に生物園でゴキブリの飼育を行っているスタッフが考案・作成したキャラクターです。毎年ゴキブリ展を開催している生物園ならではのインパクトとゆるさがあります。



生物園応援 T シャツ

#### 「期間限定生物園応援 T シャツ」

4か月間の期間限定生物園応援グッズとして、マニア向けの昆虫デザインティーシャツを K-Dash design & ONION PRINT さんと連携して製作しました。

第一弾は「ケラ」がモチーフで、陸も水も空も行き来するケラの生態から、「陸水空完全制覇」のロゴと共にリアルなケラをデザインしました。



期間限定生物園応援 T シャツ

第二弾は「ナナフシ」がモチーフで、生物園で飼育している3種のナナフシ、「ヤエヤマトガリナナフシ」、「コブナナフシ」、「ツダナナフシ」の3種が背面にデザインされています。2種とも昆虫飼育スタッフがデザインを制作。



期間限定生物園応援 T シャツ

#### 「生物園応援いきものマスク 2枚セット」

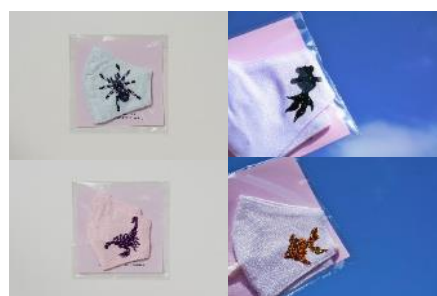
オンラインショップ限定のいきものマスクを、K-Dash design & ONION PRINT との連携して製作しました。子どもたちにも大人気のアオスジアゲハのシルエットがモチーフとなっています。生物園でも人気のキラキラプリントで、性別年齢問わず身につけられるデザインです。子供サイズ・大人サイズの組み合わせ自由の2枚組で販売しました。



生物園応援いきものマスク

#### 「企画展限定いきものマスク」

生物園の企画展に合わせて発売したいいきものマスクで K-Dash design & ONION PRINT さんとの連携商品です。ハンターな虫たち展&毒のある生きもの展では「タランチュラ」と「サソリ ピンク ver.」を、金魚展では「黒出目金」と「琉金」を期間限定で販売しました。



企画展限定いきものマスク

### 「生物園限定チンチラマスク」

生物園はチンチラの生態展示を行う数少ない施設で、チンチラ好きには有名なスポットとなっています。そんな人気者のチンチラモチーフのマスクを合同会社3.14さんにデザイン・製作いただきました。



チンチラマスク

### 「生きものタオル」

足立区の社会福祉法人あいのわ福社会足立あかしあ園さんとの連携商品です。一つ一つ心のこもった手染めのハンカチタオルで生きものが染め抜きで表現されています。



生きものタオル

### 「蓄光でさなぎが光る！オオゴマダラトートバッグ」

オオゴマダラのさなぎが黄金に輝くことになみ、さなぎだけが蓄光で光るトートバッグを有限会社クラ工業さんと連携して製作しました。昼も夜も楽しめるデザインを生物園スタッフが制作しました。



オオゴマダラトート

### 「生物園の羊毛毛糸～たっぷりバージョン～」

生物園で飼育しているヒツジの毛100%の羊毛毛糸で、ニットキュア株式会社さんとの連携商品です。ヒツジの毛の洗浄から染め、加工まで全て手作業で行われています。

色は草木染めのため、ナチュラルで温かみのある風合い。約10グラムとたっぷり入っており、毛糸小物をつくることも可能です。



生物園の羊毛毛糸  
～たっぷりバージョン～

### 「モルモルシフォンケーキ」

足立区のシフォンケーキ専門店「シフォンタイム」さんとの連携商品。ふわふわしっとりとした食感と季節の素材によって変化する多様な色柄からモルモットを連想し、生物園スタッフがパッケージを作成しました。モルモット部分は透明フィルムのため、ケーキの色柄でモルモットの柄も変わります。土日限定でバニラ・紅茶と季節の味を販売しています。



モルモルシフォンケーキ

## 2. 区内施設・イベントとの連携

生物園では区内の様々な施設やイベントと連携し、園外で実施する出張型の展示やプログラムの実施、またはスタンプラリーなどにも協力して、生物園のPR、利用促進に努めてまいりましたが、今年度も新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ほとんどのイベントが中止となりました。

### (1) 足立区主催イベントとの連携

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、例年連携を続けてきた区主催のイベントは全て中止となり、生物園としての連携実績はありませんでした。

### (2) 区内施設との連携



生涯学習センターや中央図書館、あだち再生館へのお出張講座や出張プログラムを行いました。中央図書館とは Dreamnight at the zoo 2021 オンラインにおける、オリジナル絵本のアドバイスや読み聞かせ動画でもご協力いただきました。

区内施設連携一覧

日付	内容	主催(実施場所)	参加者		協力内容
			大人	小人	
6月26日	(土) 出張生物園「プログラム」	足立区中央図書館	32	33	プログラム実施
6月27日	(日) 出張生物園「展示」	足立区中央図書館	52	68	出張展示実施
7月4日	(日) 「桜の大敵！赤×黒のカミキリ虫 その脅威と生態」	足立区生涯学習センター	10	0	プログラム実施
10月24日	(日) 「絶滅危惧種のチョウを守る！ ～足立区生物園の挑戦～」	あだち再生館	4	3	プログラム実施
3月28日	(月) 出張プログラム「初めての飼育ダンゴムシ」	足立区生涯学習センター	5	5	プログラム実施

### (3) 区内商業施設との連携

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、生物園としての連携実績はありませんでした。

### (4) 「あだち自然の遊び場」連携

あだち自然の遊び場における連携として、都市農業公園へ「昆虫の採集・標本作成(8月)」を行いました。また、互いのオリジナル商品の販売でも連携しました。

あだち自然の遊び場連携一覧

日付	内容	主催(実施場所)	参加者		協力内容
			大人	小人	
8月8日	(日) 昆虫の標本づくりに挑戦	都市農業公園	0	6	プログラム実施

### (5) 各スタンプラリーとの連携

毎年行ってきた足立区観光交流協会実施の「竹の塚マップ&スタンプラリー」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、2020年より中止。

2022年3月19日～2022年4月17日あだち花小旅ガイドブックのポスター掲示とガイドブックを配布しました。

### 3. 区外施設・イベントとの連携

今年度は新たに区外の施設とも連携しました。川口市立科学館より「ウンコ」をテーマとした特別展を開催するにあたり、資料や標本の貸し出しおよび、出張プログラムについて協力依頼を受けました。

生物園からは、過去に当園で開催した「うんち展」の解説パネル資料や様々な生物の糞標本、ヤギ、リクガメの糞の提供を行った他、生物の糞内容物を観察し、糞の模型を作るプログラムを当園解説員が川口市立科学館に出向いて実施しました。

区外施設との連携を通して生物園のPR、利用促進にも努めました。

区外施設・イベントとの連携一覧

日付	内容	主催(実施場所)	参加者		協力内容
			大人	小人	
6月26日 (土)	出張プログラム「ウンコづくり」	川口市立科学館	24	33	プログラム実施

## II 大学等との共同研究

### 1. 三つのプロジェクトに応じた共同研究

第2期目の指定管理業務において生物園の「活動の柱」として掲げた3つのプロジェクトを展開するにあたり、多くの大学や研究者に協力を仰ぎ、それぞれの活動の質を高めていくための共同研究を進めています。

進行中の共同研究一覧

プロジェクト	主な研究テーマ	協力者(敬称略)	
子どもの居場所づくり	冒険あそびの効果	東京未来大学	横畑泰希
	プレイリーダー養成方法		
ふれあい動物	動物福祉に配慮した動物とのふれあい 他	帝京科学大学	並木美砂子
	生物園における動物介在教育		木場有紀
絶滅危惧種を救う!	ツシマウラボシシジミの生態研究	大阪府立大学	平井規央
	ツシマウラボシシジミの生態研究	東京大学博物館	矢後勝也
	フサヒゲルリカミキリの飼育技術開発	伊丹市昆虫館	田中良尚

## 2. 共同研究の進捗状況

### (1) 子どもの居場所づくりプロジェクトに関する研究



#### ① 「冒険あそびを通した子どもたちの自己肯定感育成の効果測定」

- 共同研究者：東京未来大学 こども心理学部 こども心理学科 横畑泰希先生

今年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、本来の形の「冒険あそび」の開催ができていません。したがって、効果測定に必要な子どもたちの行動観察や定性的なデータ収集が行いにくく、コロナ終息がみられるまでは本共同研究は保留することとしました。

#### ② 「プレーリーダーの養成に関する方法の確立」



- 共同研究者：東京未来大学 こども心理学部 こども心理学科 横畑泰希先生

参加者が自発的に自由に遊べるようにするためには、プレーリーダーがどのように関わっていけばよいか、運営方法を検討しながら進めています。1月にはプレーリーダー養成講座として【「遊ぶ」ことについて】専門的な講座をしていただきました。目の前にいる子どもが本当に遊んでいるのか、遊んでいるように見えているだけで遊べていないのではないかという可能性も視野に入れながら、近くにいるスタッフやプレーリーダーが子どもたちの心の動きを想像しながら関わっていく大切さを学びました。今後活動が続いていくにつれて、参加者との関わり方に悩むプレーリーダーもでてくるのが予想されます。年に数回、プレーリーダーと生物園スタッフ、横畑先生を交えての座談会の場を設けるなどしてプレーリーダーが自信をもって活動していけるようにしたいと考えています。また、2～3年後を目途に手法の体系化、マニュアル化を進めていきたいと考えています。

### (2) ふれあい動物プロジェクトに関する研究



#### ① 「帝京科学大学×足立区生物園 過去の共同研究の普及啓発」

- 共同研究者：帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科 並木美砂子先生

休園期間中の2月に帝京科学大学からのご提案により、2階バタフライガーデン前のスペースを利用して、過去に実施された共同研究（「ネコとのふれあい活動における行動調査」「虫の音の癒し効果」）などの研究成果をそれぞれ1枚のポスターにまとめたものを展示しています。

#### ② 「小学1-2年（生活科）を対象とした動物介在活動の研究」



- 共同研究者：帝京科学大学 生命環境学部 アニマルサイエンス学科 並木美砂子先生  
教育人間科学部 幼児保育学科 木場有紀先生

令和4年度以降の取り組みとなりますが、小学校低学年向けに「動物介在活動に関する研究組織」を立ち上げ、大学・生物園・小学校が連動した動物介在教育のプログラム確立を目指します。令和3年度は、プロジェクトにかかわるスタッフの人選や大まかなスケジュールの確認等を行いました。

また、本プロジェクトと並行して、ふれあいコーナーの再構築のプロジェクトにつ

いて改修計画の監修を並木先生にご快諾いただいています。

(3) 絶滅危惧種を救うプロジェクトに関する研究



① 「ツシマウラボシシジミの飼育に関する技術開発」

共同研究者：東京大学総合研究博物館 矢後勝也先生

：大阪府立大学 生命環境科学研究科 生命環境科学部 平井規央先生

本種は近年個体数が激減したチョウの一種であり、2013年に野外で確認された数個体を累代して生息域内保全、生息域外保全に充ててきました。生物園では2014年春から本種の飼育を続けてきており、この間野外からの新規ファウンダーの導入は行っていません。2020年にはオガサワラシジミの飼育個体群が途絶しました。原因として近郊弱性の可能性が挙げられており、本種においても対策が求められています。

そこで、生物園で飼育している本種を3系統に分けて管理し、東京大学総合研究博物館及び、大阪府立大学と連携してDNA解析を行い、遺伝的多様性を確保するための研究に着手しました。

② 「フサヒゲルリカミキリの飼育技術開発」



共同研究者：伊丹市昆虫館 田中良尚氏

近年、フサヒゲルリカミキリは岡山県蒜山高原周辺のみ生息が確認されています。しかし、生息地においても生息域の縮小や個体数の減少が著しく危機的な状況にあります。このような状況を踏まえ、2018年より足立区生物園と伊丹市昆虫館にて「絶滅危惧昆虫類の生息域外保全モデル事業」を開始しました。

また、環境省や伊丹市昆虫館とは緊密に連携、打ち合わせを行いながら本事業を進めています。以下に本年度出席した会議等の実績を記します。

- ・第1回フサヒゲルリカミキリ飼育園館技術交流会  
令和3年6月9日(水) リモート 出席者：関根、腰塚
- ・第1回フサヒゲルリカミキリ生息域外保全モデル事業関係者会議  
令和3年6月18日(金) リモート 出席者：関根、腰塚
- ・第2回フサヒゲルリカミキリ生息域外保全モデル事業関係者会議  
令和3年7月8日(木) リモート 出席者：関根、腰塚
- ・第2回フサヒゲルリカミキリ飼育園館技術交流会  
令和3年7月26日(月)～27日(火) 伊丹市昆虫館 出席者：腰塚
- ・昆虫館と環境省の連携における生息域外保全に関する意見交換会  
令和3年12月9日(木) リモート 出席：関根、腰塚、水落、
- ・第3回フサヒゲルリカミキリ飼育園館技術交流会  
令和3年12月17日(金) リモート 出席者：関根、腰塚
- ・中国山地草原性希少昆虫保護増殖事業検討会  
令和4年2月22日(火) リモート 出席者：関根、腰塚
- ・第2回フサヒゲルリカミキリ生息域外保全モデル事業関係者会議  
令和4年3月22日(火) リモート 出席者：関根、腰塚

## 第五章 施設維持管理業務

### I 元湊江公園の維持管理業務

#### 1. 公園管理上の留意事項

本共同体は、元湊江公園の維持管理業務を遂行するにあたり、「元湊江公園・生物園管理運営業務仕様書」に基づき、以下の点に留意し、適正かつ、適切な公園の維持管理に努めました。

- 日常及び定期的な施設の点検と修繕、清掃などの保守管理を適切に行うとともに、遊具や工作物の故障、台風や降雪等、休園日・夜間においても緊急時に迅速に対応できる体制を確保すること。
- 公園内の見回りをを行い、他の公園利用者や近隣住民等の迷惑や危険となる行為については、適正かつ安全な利用を行うよう指導すること。  
(特に喫煙や犬のノーリード、バイクの乗り入れ、草地広場のボール遊びなど)
- 不審者・不審物の発見に努め、不法占拠等、不適切な利用が確認された場合は、公園管理者として撤去、退去を指導すると共に、必要に応じて区と協議し、必要な措置をとること。

#### 2. 公園維持管理業務の主な内容

##### ① 公園内清掃作業

園内は毎日、ゴミ拾い清掃や掃き清掃を適宜組み合わせで行いました。園路・広場、園地の清掃を行い、常に園内をきれいな状態に保つことに努めました。公園外周道路の落葉やゴミについても清掃範囲にふくむものとし、定期的に外周清掃を行いました。またトイレは毎日水洗いを行い、衛生面に配慮した清掃を行いました。ゴミは分別を行ったうえで所定箇所に集積し、適切に処理をしました。その他公園入口の噴水モニュメントや排水口など、適宜高圧洗浄等を行い、美観の保持に努めました。

##### ② 樹木管理

来園者の安全を最優先事項とし、枯枝の有無を日常的に点検し、発見次第速やかに撤去を行いました。樹木の剪定や刈り込み時は、樹木特性に応じて最も適切な時期と方法で行いました。高木に関しては定期的に高所作業車を使用し剪定や間引き作業などを、計画的に行いました。園内で発生した剪定枝等は定期的にチップ化して遊具広場を中心に敷き均すなど園内リサイクルに努めました。

##### ③ 病虫害防除及びカラスの巣撤去

病虫害防除にあたっては早期発見に努め、剪定防除、補殺等により行いました。定期的に点検を行ったので、薬剤を使用する必要はありませんでした。



カラスの巣を撤去する場合は、東京都に鳥獣捕獲申請を行い、鳥獣保護法を遵守し、対応しました。なるべく産卵前に行い、産卵後は注意看板を設置して被害防止措置を講じ、早期に対応しました。卵、ヒナの撤去は必要最小限に留めました。

#### ④ 植込み地及び草地管理

公園利用者の憩いと安全に配慮し、定期的に除草、草刈りを行いました。来園者が公園を快適に利用できるように、草の刈り高を少し高めに設定し、埃が立ちにくいように配慮しました。草地広場のうち、草地Aについては年 10 回程度均一に機械刈りを行い、草地Bについては、半面ずつ交互に刈込み、「いきもの原っぱ」として昆虫などが生息出来る環境づくりに努めました。半面を交互に年 10 回程度機械刈りを行いました。また草地A、B以外の草地については、年 10 回程度均一に機械刈りまたは除草を行いました。(図 1 参照)。刈草は基本的には刈放しとしましたが、状況に応じ場外処分としました。A、B以外の草地は公園利用者の利用状況やイベントに合わせた作業を行いました。



(図 1)

#### ⑤ 花壇管理

公園正面の花壇及びに庭園内プランターは、季節に応じて年間3回、草花の植付けを行いました。定期的に花柄摘みや灌水をボランティアさんと一緒に行い、景観の維持に努めました。公園正面入口花壇は、来園者の方を迎え入れるスペースとして、花の色は華やかなものを選び植え付けました。また草花の植え替え時には種名板を毎時更新し、草花の名前や特徴を来園者にお知らせしました。

#### ⑥ 遊具点検

月 1 回、定期的を目視、触診等による遊具及び工作物の点検を行い、ボルトナットの増し締め、滑り止めや緩衝材の取り付け、グリスアップ、遊具の再塗装、消耗部品の交換などを行いました。また毎日の遊具広場の清掃作業時も目視による点検を行い、安全管理を心掛けました。その他年 1 回、区が委託する専門業者による点検を行い、点検結果に従い速やかに修繕を行いました。

⑦ つり池清掃・釣り池噴水装置点検

水面のゴミや落葉等を網等で随時除去しました。鯉、鮒の死亡数、水温を毎日記録し、月報に添付し報告しました。また釣り池内に設置してある循環ポンプも適宜清掃点検を行いました。

⑧ 施設改修

・ボランティア花壇新設

多目的広場のサワラ伐採根跡地、約 20 m<sup>2</sup>を土壌改良し、レンガとロープ柵で花壇を新設しました。

・東屋改修

利用マナーが守られず、トラブルが多発していた東屋の屋根を一部撤去し、バリアフリープランターとハイウェストベンチをそれぞれ 2 基ずつ設置しました。

※元洲江公園の維持管理作業の詳細については、月報をご参照ください。ここでは、実施した作業を一覧表「令和 3 年度施設維持管理業務年間報告（元洲江公園）」でご報告させていただきます。また、共同体直営作業のうち主なものを写真でご報告することとします。

3. 令和 3 年度 施設管理業務実施報告（元洲江公園）

作業内容	実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公園維持管理	実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
公園内清掃	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
噴水モニュメント高圧洗浄	適宜				20日								
樹木剪定	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
枯枝撤去	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
落葉清掃	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
剪定枝・枯れ枝・チップ化	適宜											28日	1, 2, 3日
病虫害駆除	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜				
カラスの巣 撤去	適宜	適宜	適宜									適宜	適宜
除草	10回	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
花壇植栽・管理	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	10日植替	適宜	適宜	9日植替	適宜	適宜	適宜
遊具日常点検	12回	27日	29日	25日	21日	30日	27日	31日	26日	27日	24日	23日	28日
釣り池 清掃	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
釣り池 噴水装置清掃	適宜					3日				8日	5日		25日
公園内 補修	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
スミラブ発砲錠投与	7回	28日	23日	28日	26日	29日	26日	25日					
公園機械設備 甲府ビルサービス	1回							11, 12, 13日					
高所作業車	6回	9日	26日					13日	20日		26日		23日
公園照明巡回点検	2回				10-21日					15-20日			

計画 適宜 除草 実行 灌水 社株商の予定

#### 4. 公園維持管理作業の様子

##### ■公園内清掃作業

落葉、ゴミ、トイレなどの清掃作業 公園外周の清掃 排水口の清掃など



##### ■噴水モニュメント高圧洗浄

高圧洗浄機を使用しての洗浄作業を行った。



## ■ 樹木剪定

樹木の特徴に合わせて適期に剪定作業を行う。樹木の大きさによっては高所作業車を使用した。



## ■ 枯枝撤去

日常の巡回作業を行い、発見次第随時対応した。



■剪定枝・枯枝・チップ化

公園内で発生した剪定枝や枯枝をチップ化して公園内に敷きならす。緑のリサイクルを実行した。



■カラスの巣撤去

枯枝の点検と同じく日常点検を行い、発見次第対処した。



■ 除草

刈払機や手作業での除草作業を行った。



■ 花壇植栽・管理

年間3回の植え替え作業を実地した。日常管理として花柄摘みや灌水作業などを行い維持管理に努めた。



■遊具日常点検

毎月1回、定期遊具点検の対応を行った。



■釣り池および噴水装置清掃

釣り池内の噴水の洗浄を行った。状態を確認しながら水中ポンプを解体し清掃を行った。



■公園内 補修

日常点検を行い修繕の対応を行った。



■スミラブ発砲錠投与

デング熱対策のため4月から10月まで毎月1回、集水桝に薬剤投与を行った。



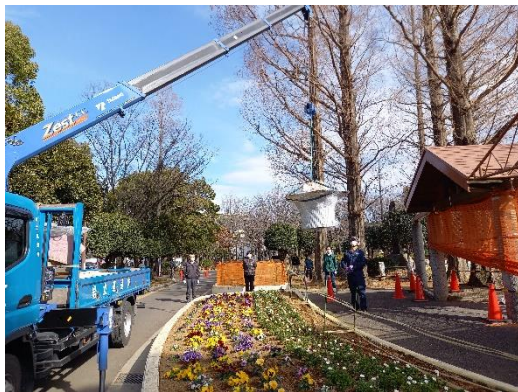


■施設改修  
ボランティア花壇を新設した。



■施設改修

東屋改修（屋根一部撤去、既存ベンチ撤去、バリアフリープランター2 基新設、ハイウェストベンチ2 基新設）を行った。



## Ⅱ 生物園の維持管理業務

### 1. 生物園維持管理業務の主な内容

#### ① 館内清掃

利用者が施設を気持ちよく利用できるよう、定期清掃、日常清掃、メンテナンスを計画的に実施し、常に館内の美化及び衛生管理に努めました。

#### ② 植物管理

各種熱帯植物や雑木、野草、水生植物等についてその特性や生態的役割について十分理解し、剪定、除草、間引等必要な作業を適宜行いました。また、来園者が生物を安全に観察しやすいように管理を行いました。

#### ③ 機械設備

日常及び定期的な施設点検を行い、施設及び工作物の適正な維持管理に努めました。毎日温度や機械数値のデータを観測し、異常の有無を早期発見出来るようにして施設の異常が発見された場合は、速やかに修繕し対応しました。

維持管理の仕様は、特記仕様書のほか東京都建設局「設備保守標準仕様書」及び「足立区維持保全業務標準仕様書」に基づき実施しました。

#### ④ 補修・修繕

日々の巡回などで発見した破損箇所は放置することなく、安全面を考慮して、共同体直営で補修、修繕を行いました。また、技術的に困難な場合は、立入禁止柵などを設け、安全を確保した後、専門業者に修繕工事の発注を行いました。

※生物園の維持管理作業の詳細については、月報をご参照ください。ここでは、実施した作業を「令和3年度施設維持管理業務実績表（生物園）」でご報告させていただきます。また、共同体直営作業および委託作業のうち、主なものを写真でご報告することとします。

## 2. 令和3年度 施設維持管理業務実施報告（生物園）

作業内容	実施回数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
館内清掃													
定期清掃	6回												
丸三興業		12日		14日				13日	25日	8日	13日		14日
大温室ガラス清掃	1回		10・17日										
フジメンテニール													
除塵	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
各所水拭き・洗剤拭き	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
ゴミ収取	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
消耗品補充	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
植物管理		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
散水	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
剪定	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
除草	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
間引き	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
補植・植替等	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜	適宜
機械設備		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
エレベーター	毎日【遠隔監視】	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
	毎月【遠隔診断】	30日	31日	30日	31日	31日	30日	31日	30日	31日	31日	28日	31日
	4回【有人点検】	19日			19日			25日			17日		
自立ビルシステム													
自動ドア	2回							13日					14日
消防用設備													
害虫防炎	2回								18日				7日
機械警備	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
セコム													
自家用電気工作物	6回【月次点検】	22日		18日		18日		18日		10日		18日	
	1回【年次点検】							18日					
関東電気保安協会	毎日【遠隔監視】	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
吸収式冷温水機(ガス焚)	2回		11日						12日				
甲府ビルサービス													
温水ボイラー	3回							28日			20日		3日
甲府ビルサービス													
湧水・排水槽	1回			4日									
甲府ビルサービス													
電話	2回				13日						31日		
足立通信工業													
自動制御設備総合点検	1回											10日	
甲府ビルサービス													
環境測定	6回		11日		16日		28日		11日		20日		3日
甲府ビルサービス													
グリストラップ	3回			7日				15日				28日	
丸三興業													
設備遠隔監視	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日	毎日
アズビル													
定期巡回点検	毎月	19日	17日	14日	12日	16日	13日	11日	8日	13日	17日	14日	14日
アズビル													
第二種 ヘッター	1回							1日					
第二種 密閉式膨張タンク	1回				2日								
ポンプ類	1回					9日							
空気調和機 AHU	2回					16日					1・2日		
ファンコンベクター 19基	2回						6~14日				11日		
エアコン 空調機 24基	2回					3・8日					6・7・19日		
排気ファン	1回										5日		
加熱冷却ユニット	2回				3・4・13日			5・16日					
ポンプ類(雑)	1回							4日					
天窓・自動	1回									7日			
フィルター洗浄	6回	5日		7~13日		3・4日		4日		2~3日		7~10日	
クーリングタワー	4回	1・2日			3・4日		10・11日		2~5日				
塩素除去装置	4回			30日			30日			31日			31日
		計画	実行										

### 3. 生物園維持管理作業の様子

#### ■各所水拭き、洗剤拭き

モップによる水拭き、洗剤を用いてのポリッシャー掛け、高圧洗浄など



#### ■除塵、清掃作業

館内、庭園内、大温室のゴミの清掃



■ ゴミ収集、消耗品補充



■ 除草

庭園や食草温室周りの除草作業



■ 灌水

大温室、庭園、食草温室の灌水作業 スプリンクラーが届かない部分の手灌水。



■剪定作業

大温室や庭園の剪定作業 閉園後や休園日に作業を行いチョウなどの昆虫に適した環境を創り出す。



■間引き、植え替え、補植

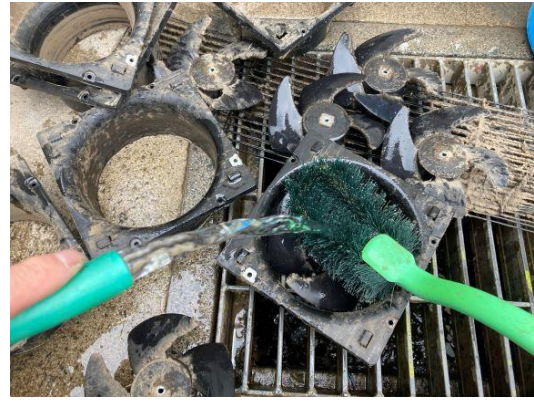
食草温室や大温室、庭園での間引き作業や植え替え、補植作業



■機械設備（定期点検・維持補修）

電気、水道、ガスなど資料状況の確認や機器類の点検清掃作業





■補修・修繕  
軽微な破損の補修、修繕作業





■機械設備（再委託業者による点検・維持補修）

ボイラー、消防機器などの有資格者点検や特殊技術を要する清掃作業

